上野城下町遺跡（第５次）発掘調査報告

～伊賀市農人町所在～

2014（平成 26）年３月

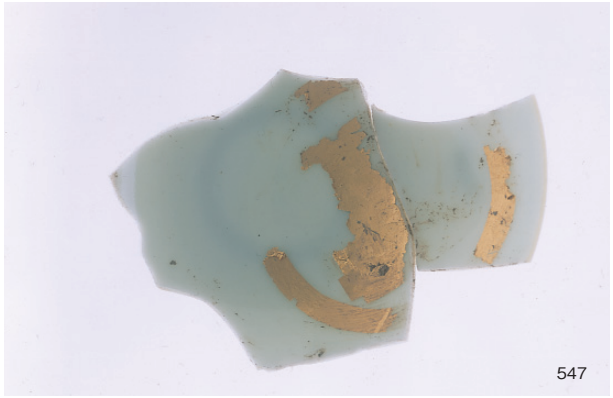
三重県埋蔵文化財センター

調査区全景（南から）

上絵付けされた椀

「いか」の刻印のある土瓶

「いか」の刻印のある急須



金箔のある小杯

例　言

1　本書は、三重県伊賀市上野農人町に所在する上野城下町遺跡の発掘調査報告書である。

2　本遺跡の発掘調査・整理の経費は平成 24・25 年度県土整備部から執行委任によって全額負担されている。

3　発掘調査は土工委託を実施し、業務の円滑化を図った。整理および報告書作成は三重県埋蔵文化財センターが行った。本調査の体制は次の通りである。

平成 24 年度
調査主体　三重県教育委員会
調査担当　三重県埋蔵文化財センター
　　調査研究 1 課　主査　萩原義彦
　　主査　谷口文隆
土工受託機関　株式会社　文化財サービス
調査期間　平成 24 年 5 月 23 日～平成 24 年 7 月 19 日
調査面積　358㎡

平成 25 年度
調査担当　三重県埋蔵文化財センター
　　調査研究 1 課　主査　萩原義彦
　　主査　谷口文隆
調査期間　平成 25 年 5 月 21 日～平成 25 年 5 月 22 日
調査面積　28㎡
整理担当　調査研究 1 課　主査　萩原義彦

4　調査にあたっては、地元の方々をはじめ、三重県県土整備部、伊賀建設事務所、伊賀市教育委員会からの協力を得た。

5　発掘調査及び本書の作成に際しては、下記の方々にご指導・ご助言を賜った。

畑中英二（滋賀県教育委員会）・藤澤良祐（愛知学院大学）・堀内秀樹（東京大学）・成田涼子（豊島区教育委員会）・水本和美（東京藝術大学）・小林秀（文化振興課県史編さん班）・福井健二・寺岡光三・市田進一

敬称略

6　当報告書の作成業務は、三重県埋蔵文化財センター調査研究 1 課が行った。本書の執筆･編集は萩原が行った。

7　当発掘調査の記録および出土遺物は、三重県埋蔵文化財センターで保管している。

凡　例

［地図類］

1　本書で使用した地図類は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図（世界測地系に準拠）及び伊賀市都市計画図（日本測地系に準拠）である。

2　挿図の方位は、世界測地系・測地成果 2000 による座標北で表している。なお地域の磁北は真北に対して 6° 40′ 西偏している。

［遺構一覧表類］

1　土層図の色調は、小山正忠・竹原秀雄著『新版標準土色帖』（1997 年版）を用いた。

2　本書で使用した遺構表示記号は下記のとおりである。

ＳＺ：谷地形　　ＳＤ：溝　　ＳＫ：土坑　　Ｐｉｔ及びＰ：柱穴・小穴

3　柱穴の「掘形」とは、柱を据えるために掘削した穴のラインを指す。

4　一覧表中の遺構番号は、発掘調査における遺構の種類・内容を問わず通し番号である。本文中において掲載した実測図は、報告番号に基づいて作成している。

5　時期については、各遺構の出土遺物等によって判断した。

6　規模については、表において長径（長さ）・短径（幅）・深さを各メートル単位で記載し、一部が調査区外に及ぶ遺構の平面規模や、深さが不明については「－」を記入した。

7　出土遺物については、遺構から出土しているものを記述した。

8　備考については、本文中において記述していない特徴等について記述した。

［遺物観察表類］

1　報告書番号は、各遺物実測図の番号に対応する。これは器種・材質如何を問わず通し番号である。ただし、これは掲載した実測個体のみであり、実測図を作成できない破片には、番号をふっていない。したがってこの番号が遺物の全てではない。

2　実測番号は、実測を行った際の番号である。出だしの３桁は用紙の番号で、後側の２桁は用紙内での実測した順序の番号である。

3　出土遺構は遺構番号で示している。遺構番号は、遺構平面図及び遺構一覧表を参考にされたい。

4　器種については、判明しているものについて記載した。なお椀については「碗」「垸」等があるが「椀」に統一している。

5　計測値について記載した口径・器高・その他は、それぞれ最大値をとっている。また、「－」は、計測できないものを表している。単位は、cm である。さらに遺物によっては、長・幅・厚・高台径・底径などを表すこともある。

6　調整・技法の特徴は、成されている調整について記述しており調整順序によるものではない。

7　素地については、粗密を記し、括弧内に小石・砂粒の有無や大小について記述する。

8　色調については、『新版　標準土色帖』（小山・竹原編 19 版　1997 年）に基づいて表記した。

9　残存については、その部位を 12 分割した際の残存度を示した。

10　備考は、その遺物における特徴的な事柄を記載している。

［写真図版］

1　写真図版は、遺構・遺物ごとでまとめた。

2　出土遺物実測図と写真図版の遺物番号は対応している。

3　遺物の写真図版は、縮尺不同である。

本文目次

Ⅰ　前言……1
　1　調査契機……1
　2　調査方法……1
　3　調査経過……1
　4　文化財保護法にかかる諸通知……2
Ⅱ　位置と歴史的環境……3
　1　地理的環境……3
　2　歴史的環境……3
Ⅲ　遺構……6
　1　検出層位……6
　2　検出遺構……6
Ⅳ　遺物……14
　1　古墳時代……14
　2　江戸時代……14
Ⅴ　まとめ……53
　1　古墳時代について……53
　2　江戸時代について……53

挿図目次

第１図　遺跡位置図
第２図　遺跡周辺地形図
第３図　調査区位置図
第４図　古墳時代平面図・Ｂ地区土層図
第５図　江戸時代平面図・Ａ地区土層図
第６図　ＳＤ９実測図
第７図　ＳＫ11実測図
第８図　出土遺物実測図（１）
第９図　出土遺物実測図（２）
第10図　出土遺物実測図（３）
第11図　出土遺物実測図（４）
第12図　出土遺物実測図（５）
第13図　出土遺物実測図（６）
第14図　出土遺物実測図（７）
第15図　出土遺物実測図（８）
第16図　出土遺物実測図（９）
第17図　出土遺物実測図（10）
第18図　出土遺物実測図（11）
第19図　出土遺物実測図（12）
第20図　出土遺物実測図（13）
第21図　出土遺物実測図（14）
第22図　出土遺物実測図（15）
第23図　出土遺物実測図（16）
第24図　出土遺物実測図（17）
第25図　出土遺物実測図（18）
第26図　出土遺物実測図（19）
第27図　出土遺物実測図（20）
第28図　出土遺物実測図（21）
第29図　出土遺物実測図（22）
第30図　出土遺物実測図（23）
第31図　出土遺物実測図（24）
第32図　出土遺物実測図（25）
第33図　出土遺物実測図（26）
第34図　出土遺物実測図（27）
第35図　出土遺物実測図（28）

表 目 次

第１表　遺構一覧表
第２表　出土遺物観察表（１）
第３表　出土遺物観察表（２）
第４表　出土遺物観察表（３）
第５表　出土遺物観察表（４）
第６表　出土遺物観察表（５）
第７表　出土遺物観察表（６）
第８表　出土遺物観察表（７）
第９表　出土遺物観察表（８）
第10表　出土遺物観察表（９）
第11表　出土遺物観察表（10）
第12表　出土遺物観察表（11）

写真図版目次

巻頭カラー図版１　調査区全景（南から）
出土遺物（409・497・516・547）
図版１　調査前風景（南から）
調査前風景（南西から）
図版２　調査区全景（北から）
調査区全景（南から）
図版３　１号墳全景（北東から）
２・３号墳全景（南東から）
図版４　ＳＫ 11 遺物出土状況（東から）
Ｂ地区調査区全景（南西から）
図版５　工事立会調査区全景（北から）
工事立会調査区全景（南から）
図版６　出土遺物（４・６～ 10・12・13・16・18・19・23・24・26・29・32・34・35・48）
図版７　出土遺物（63・81・100・104・108・109・110・112・116・118・119・121・189・202 ～ 208・214）
図版８　出土遺物（220・221・224・227・234・247・248・255）
図版９　出土遺物（256・271・273・275・278・280・304・309）
図版 10　出土遺物（312・313・314・320・321・323・327・374）
図版 11　出土遺物（377・379・397・409・412・418・436・446）
図版 12　出土遺物（358・359・450・465 ～ 468・473・475）
図版 13　出土遺物（476・479・483・486・489 ～ 491・494・497）
図版 14　出土遺物（505・511・513・516・517・523・525・530・531・533）
図版 15　出土遺物（536 ～ 538・555・557・558・560・562・563）
図版 16　出土遺物（567・568・578・580・582・588・589・583）
図版 17　出土遺物（590・591・599・600・601・604・608・620）
図版 18　出土遺物（633・645・650・651・666・668・669・675・676・678・677・679・682）
図版 19　出土遺物（683・684・688・689・714・716・718・721・724・749・750・756・766・767・771 ～ 773）
図版 20　出土遺物（775・778・806・846・852・853・867・895・924）

Ⅰ　前　言

1　調査経緯

発掘調査対象地は、三重県伊賀市上野農人町の国道25号及び国道163号の交差点である。この交差点は、非常に車輌及び通行人の往来の激しい箇所である一方非常に狭隘である。そのため、国道25号の拡幅の計画が浮上し、道路改築事業が実施されることとなった。

しかしながら、対象地は、周知の埋蔵文化財包蔵地として知られる上野城下町遺跡内である。そのため三重県埋蔵文化財センターは、平成24年度において範囲確認調査を実施した。範囲確認調査は、４ヵ所の調査坑を設定した。調査坑は、№１～４まで付した。調査坑№１から磁器椀が出土し、№２では溝が、№３・４は土坑が確認できた。そのため、国道25号の拡幅工事は、削平を伴うため同年度において発掘調査が実施されることになった。また、今回の対象地の一部は、狭小な面積であるため、工事立会による調査とすることとなった。

2　調査方法

発掘調査対象地は、国道25号を挟んで２カ所に分かれている。調査面積の大きい方をＡ地区、小さい方をＢ地区とした。調査面積はＡ地区が310.25㎡、Ｂ地区が47.75㎡、工事立会が28㎡である。総面積は、386㎡である。調査は排土の都合上、Ａ地区から開始した。表土掘削はＡ地区北側から重機によって実施した。地区設定は、北西隅から行い北から南にかけての方向に数字を付し（１・２・３・～）、西から東にかけて方向にアルファベットを付した（A・B・C・～）。各地区杭は、世界測地系座標に則って設定した。調査区内に設定された北西隅の杭は、Ｅ２からである。なお、遺物の取り上げについては北西隅の杭の地区名に拠った。また、遺構番号については、調査区Ａ・Ｂ地区、遺構の種類、内容如何にかかわらず、１から通し番号を付した。実測については、全体の平面・断面図（１／20）、個別実測図（１／10）をそれぞれ各縮尺で行った。写真撮影については、全体・個別遺構写真を４×５インチ、35㎜のフィルムにより行った。

3　調査経過

～調査日誌から～

５月23日（水）
文化財サービスとの現地協議。埋蔵文化財センター（萩原・谷口）・文化財サービス（喜多・広瀬）
５月28日・30・31（月・水・木）　Ａ地区、表土掘削。地区設定。
６月１日（金）　Ａ地区遺構カード作成。
６月４日（月）　Ｂ地区、表土掘削終了。
６月５日（火）　Ａ地区、遺構検出。Ｂ地区、地区設定。
６月６日（水）　南から近世遺構の掘削。
６月７日（木）　古墳の周溝を確認。１号墳の周溝掘削。
６月８日（金）　ＳＫ11遺物多し。出土状況の写真撮影。
６月11日（月）　古墳の周溝（２号墳）掘削。
６月12日（火）　午後から雨のため作業中止。
６月13日（水）　調査区の北側の近世遺構の掘削。
６月14日（木）　調査区北端の谷状遺構の掘削。
６月15日（金）　Ａ地区遺構掘削終了。Ｂ地区に取りかかる。
６月18日（月）　Ｂ地区の古墳の周溝掘削（１号墳）。掘削終了。台風４号が接近のため対策を講じておく。
６月19日（火）　台風のため作業中止。
６月20日（水）　台風のためフェンス崩れる。
６月21・22・25日（木・金・月）　排水作業。
６月26日（火）　Ａ・Ｂ地区遺構清掃後写真撮影。
６月27日（水）　Ａ・Ｂ両地区の個別図作成。
６月28・29日（木・金）　両地区の平面図作成。
７月２日（月）　引き続き平面図作成。
７月３・４日（火・水）　平面図にレベル入れ。
７月５・６日（木・金）　土層図作成。雨のため作業中止。
７月７日（土）　現地説明会のため、清掃。
７月８日（日）　現地説明会の開催。午前10：30から開催し、163名の参加者があった。

7月9日（月） 畦部分の古墳の周溝の掘削。
7月10日（火） 機材一式撤収。
7月17日（火） 伊賀建設事務所に現地引き渡し。
平成25年度
工事立会調査
5月21日（火） 表土掘削及び遺構掘削。
5月22日（水） 遺構写真撮影及び実測。

4　文化財保護法等による諸通知

文化財保護法（以下、法）等にかかる諸通知は、以下の通り行っている。

・三重県文化財保護条例第48条第1項に基づく周知の埋蔵文化包蔵地における土木工事等の発掘通知
平成23年11月18日付け賀建第5093号（県教育長宛）
平成23年11月21日付け教委第12－4095号（県教育長通知）
・法第99条に基づく発掘調査
平成24年5月29日付け教埋第60号（県教育長宛）
・法第100条第2項に基づく出土品の発見認定
平成24年7月24日付け教埋第149号（県教育長宛）
・遺失物法に基づく出土品の提出
平成24年7月30日付け教委第12－4407号（伊賀警察署長宛）
平成25年5月28日付け教埋第95号（県教育長宛）
・遺失物法に基づく出土品の提出
平成25年6月3日付け教委第12－4404号（伊賀警察署長宛）

Ⅱ　位置と歴史的環境

1　地理的環境

伊賀市上野城下町遺跡（1）は、近世に入って伊賀上野城跡（2）が築城され、その城下町遺跡として知られる。伊賀上野城跡及び城下町遺跡の所在する伊賀市は、三重県の北西地域を占める市である。行政区分上伊賀市は、北側を滋賀県、西側を奈良県、南側を名張市、東側を津市及び亀山市に隣接している。伊賀市のほぼ中央部は、盆地になっており、上野盆地の名称で知られている。盆地には、柘植川、服部川、木津川、名張川の河川が流れている。

また、伊賀地域は畿内地域から伊勢湾、ひいては東国に至る通過点として重要視されてきた。とりわけ畿内から伊勢地域に通じる交通路として、山城・大和から上野盆地、加太峠を越える大和街道、長野峠を越える伊賀街道、青山峠を越える初瀬街道がある。これらは、この地域が交通の要衝としての役割を担ってきた証左であろう。その中で上野城跡及び城下町遺跡は、上野盆地のほぼ中央に位置している。その中央部は、東方向から延びる台地先端部にあたり、北側には柘植川及び服部川、南側には久米川、西側には木津川が流れる。立地としては、三方を河川によって囲まれた天険の地に築かれた城郭といえる。城下町は、その城の南側の台地上を中心に発展している。台地上の標高は、151 mで台地下の標高 146 mに対して比高差が５mあり、急峻な地形である。

2　歴史的環境

この台地上において上野城及び上野城下町遺跡以前の遺跡についてあまり知られていない。僅かに知られているのが弥生時代の柿ノ木団地遺跡（3）、古墳時代の伊予之丸古墳群（4）、車坂遺跡（5）である。

そして、織豊時代に入って、天正 13（1585）年に筒井定次が大和郡山から伊賀領主となり、平楽寺跡に城を築いた。その後慶長 13(1608)年に筒井定次にかわり、築城の名手である藤堂高虎が伊賀・伊勢の領主となり、伊賀上野城を大改修している。

藤堂高虎は、伊賀上野城の本丸を西側に拡張し、高石垣を築き、上野城下町を整備している。それによって現在の伊賀市都市計画の基礎を作ったといえよう。そして明治維新まで津藩藤堂氏の支配下におかれた。

今回の発掘調査地は、こうした環境のもと、城下町絵図などを参照すると侍屋敷の一角とみられる。個人蔵の享保６（1721）年の絵図面では杉立源之丞、享保７（1722）年には、杉立九郎左衛門、享保８（1723）年には、箕浦藤兵衛、宝暦４（1754）年には、葛原半太夫となり、寛政９（1797）年には、農人（農民）との記載がある。約 70 年間のことであるが、この屋敷地の所有者は、めまぐるしく変化している。また、城下町絵図の変遷からするとこの地域は江戸時代の後期から開発が進んだと推測できよう。

【参考文献】

伊賀市『上野市史　考古編』（2005 年）

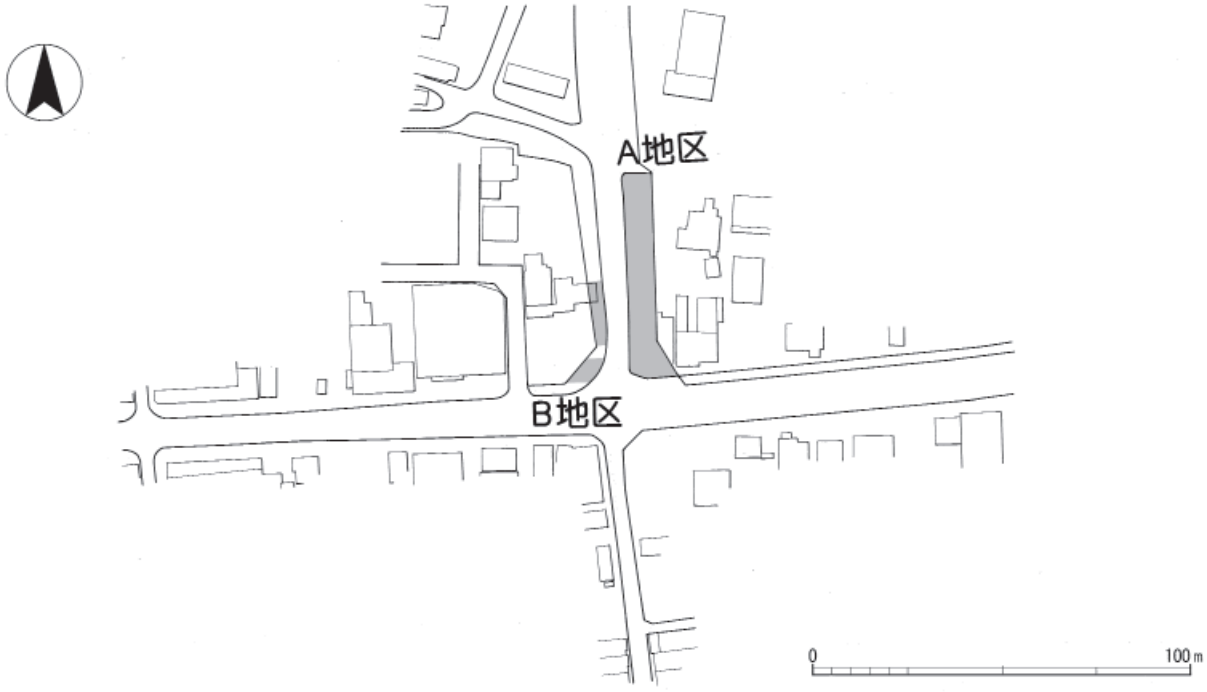
伊賀市『伊賀市史　第一巻　通史編古代・中世』（2011 年）

福井健二『絵図からみた上野城』（（財）伊賀文化産業協会　2010 年）

三重県埋蔵文化財センター『上野城下町遺跡発掘調査報告―東ノ堅町筋（第１～４次）―』（三重県埋蔵文化財報告 273　2006 年）

第1図　遺跡位置図（1／50,000）［国土地理院発行「上野」「島ヶ原」「月ヶ瀬」「伊勢路」（1／25,000）より］

第2図　遺跡周辺地形図（1：5,000）



第3図　調査区位置図（1：2,000）

Ⅲ　遺構

1　検出層位

今回の発掘調査は、調査区が現道によって分割され、A地区は南北に細長く、B地区は平面が台形状である。次にA・B地区の基本層序についてみる。

A地区は、表土層（暗オリーブ褐色砂質土層）、黒褐色砂質土層で基盤層であるにぶい黄色粘質土層に至る。遺構の検出は、基盤層上で行った。

B地区は、表土層直下0.2ｍでベースであるにぶい黄色粘質土層にあたる。

2　検出遺構

検出した遺構は、古墳時代の古墳３基、江戸時代の土坑27基、区画溝２条、ピットである。主な遺構については、以下に記述する。また、その他の遺構の詳細については、遺構一覧表を参照されたい。（第１表）

（1）古墳時代

１号墳　A・B地区南側を中心に検出した古墳である。平面形は、円形である。直径は15ｍ前後とみられる。古墳は、周溝のみで埋葬主体部は確認できなかった。周溝は幅３ｍ前後、深さ0.24～0.3mである。B地区で古墳の南側の周溝の内側に周溝と同様の溝が掘削されている。遺物は外側の周溝から須恵器杯蓋・杯身・高杯・提瓶など（１～31）が出土している。１号墳の時期は６世紀中葉とみられる。

２号墳　A地区中央付近を中心に検出した古墳である。平面形は円形である。直径は約13ｍとみられる。古墳は、周溝のみで埋葬主体部は確認できなかった。北側の周溝は幅0.9～1.5ｍ、深さ0.16ｍ、南側の周溝は幅1.6～3.3ｍ、深さ0.1～0.31ｍである。そして古墳の北側の周溝の内側に周溝と同様の溝が掘削されている。遺物は外側の周溝から須恵器杯蓋・土師器高杯・甑の取手部分（32～35）が出土している。２号墳の時期は１号墳同様に６世紀中葉とみられる。

３号墳　A地区北側を中心に検出した古墳である。平面形は、円形である。直径は約６ｍとみられる。古墳は、周溝のみ確認ができ、埋葬主体部は確認できなかった。周溝は幅0.5～1.5ｍ、深さ0.06ｍである。遺物は出土していない。

（2）江戸時代

土坑ＳＫ１　A地区南側のＦ10～Ｇ10区に位置する土坑である。東側は調査区外へと広がるが、平面形は不定形な長方形である。規模は、一辺が2.6ｍ以上、深さ0.34～0.43ｍである。遺物は陶磁器類（36～56）が出土している。遺物の時期から19世紀中葉とみられる。

土坑ＳＫ２　A地区南側のＧ11～12区に位置する土坑である。東側は調査区外に広がる。平面形は、長方形である。規模は、長辺が4.92ｍ、短辺が1.58ｍ以上、深さ0.21～0.37ｍである。遺物は陶磁器類（57～79）が出土している。時期は、18世紀後半とみられる。

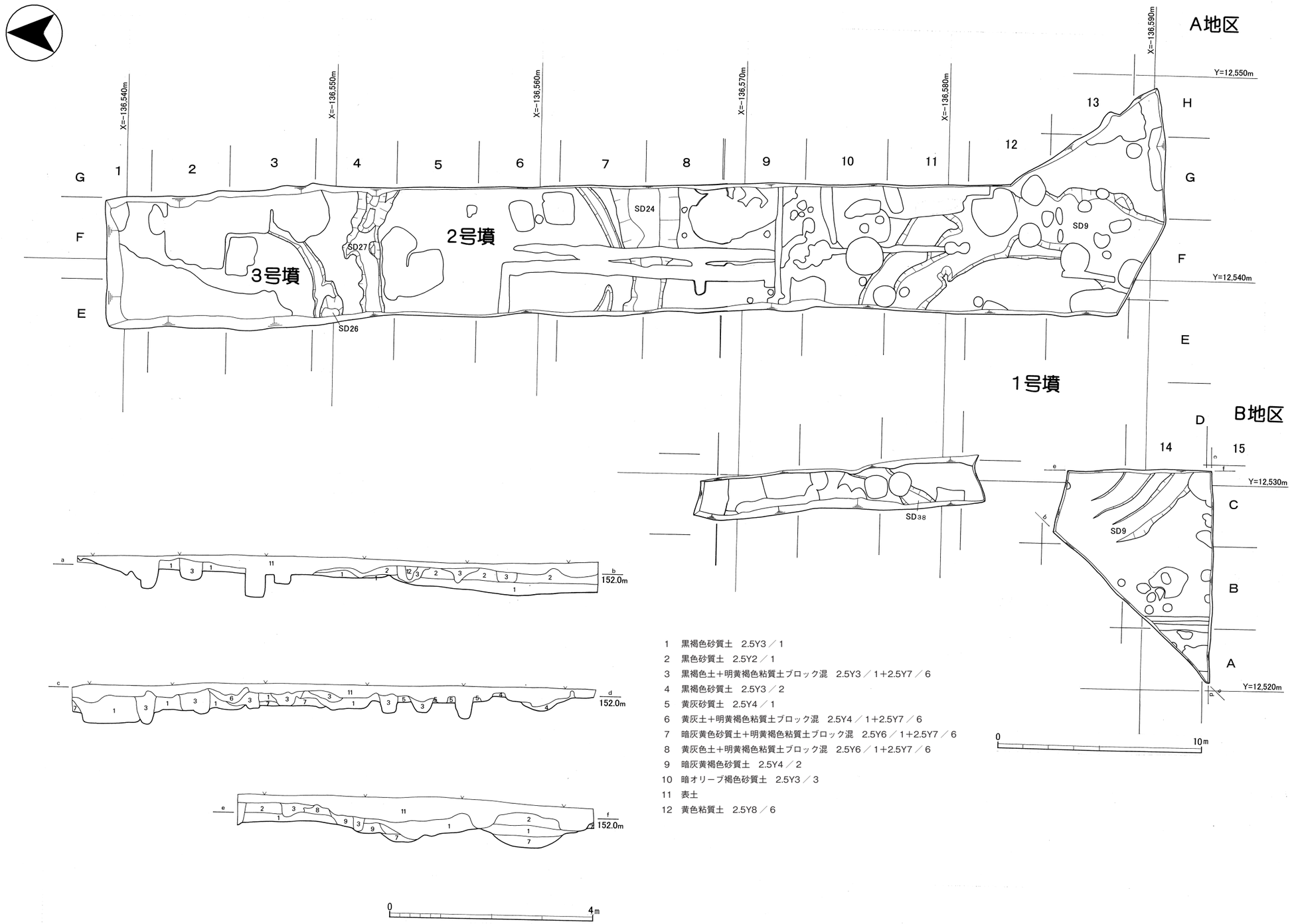
土坑ＳＫ４　A地区南側のＦ12区に位置する土坑である。平面形は、円形である。規模は、直径1.08ｍ、深さ0.07ｍである。遺物は少ない。また、遺構底面に樽形木製品の跡とみられる痕跡を留めていた。ＳＫ４と同様の円形状の土坑（ＳＫ３・５・８・12・13・17・36・37）は、多く確認されている。遺物は、土師器焙烙（84・85）が出土している。

土坑ＳＫ11　A地区南側のＦ～Ｇ11区に位置する土坑である。平面形は、楕円形である。規模は、径2.24ｍ、深さ0.09～0.15ｍである。遺物は、土師器焙烙をはじめ多くの遺物(122～189)が出土している。時期は17世紀末から18世紀後半とみられる。

土坑ＳＫ22　A地区中央付近のＦ９区に位置する土坑である。平面形は、不定形のやや長方形である。土坑の一部は、調査区外である。規模は、長径5.3ｍ、短径2.54ｍ、深さ0.35～0.5ｍである。遺物は、(215～243）が出土している。時期は、17世紀末から18世紀後半とみられる。

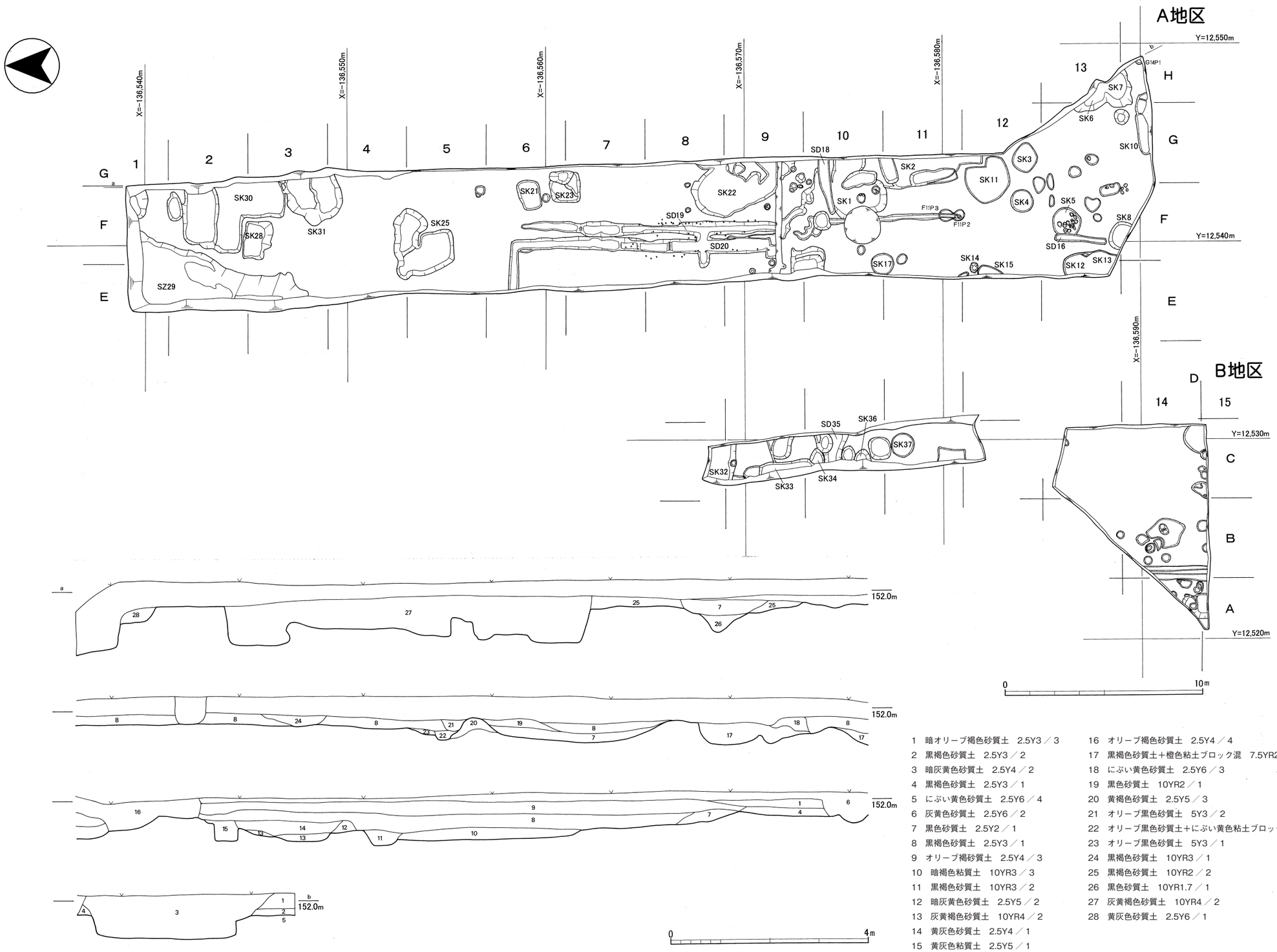
土坑ＳＫ25　A地区北よりのＦ４～Ｆ５区に位置する土坑である。検出時には、１つの土坑とみたが遺構掘削で２つの土坑の重複と判断できる。平面形は、不定形である。全体の規模は、短辺3.2ｍ、長辺3.53ｍである。遺物は、(251～282）が出土している。時期は、19世紀後半とみられる。

土坑ＳＫ30　A地区北よりのＦ３区に位置する土坑



1　黒褐色砂質土　2.5Y3／1
2　黒色砂質土　2.5Y2／1
3　黒褐色土＋明黄褐色粘質土ブロック混　2.5Y3／1＋2.5Y7／6
4　黒褐色砂質土　2.5Y3／2
5　黄灰砂質土　2.5Y4／1
6　黄灰土＋明黄褐色粘質土ブロック混　2.5Y4／1＋2.5Y7／6
7　暗灰黄色砂質土＋明黄褐色粘質土ブロック混　2.5Y6／1＋2.5Y7／6
8　黄灰色土＋明黄褐色粘質土ブロック混　2.5Y6／1＋2.5Y7／6
9　暗灰黄褐色砂質土　2.5Y4／2
10　暗オリーブ褐色砂質土　2.5Y3／3
11　表土
12　黄色粘質土　2.5Y8／6

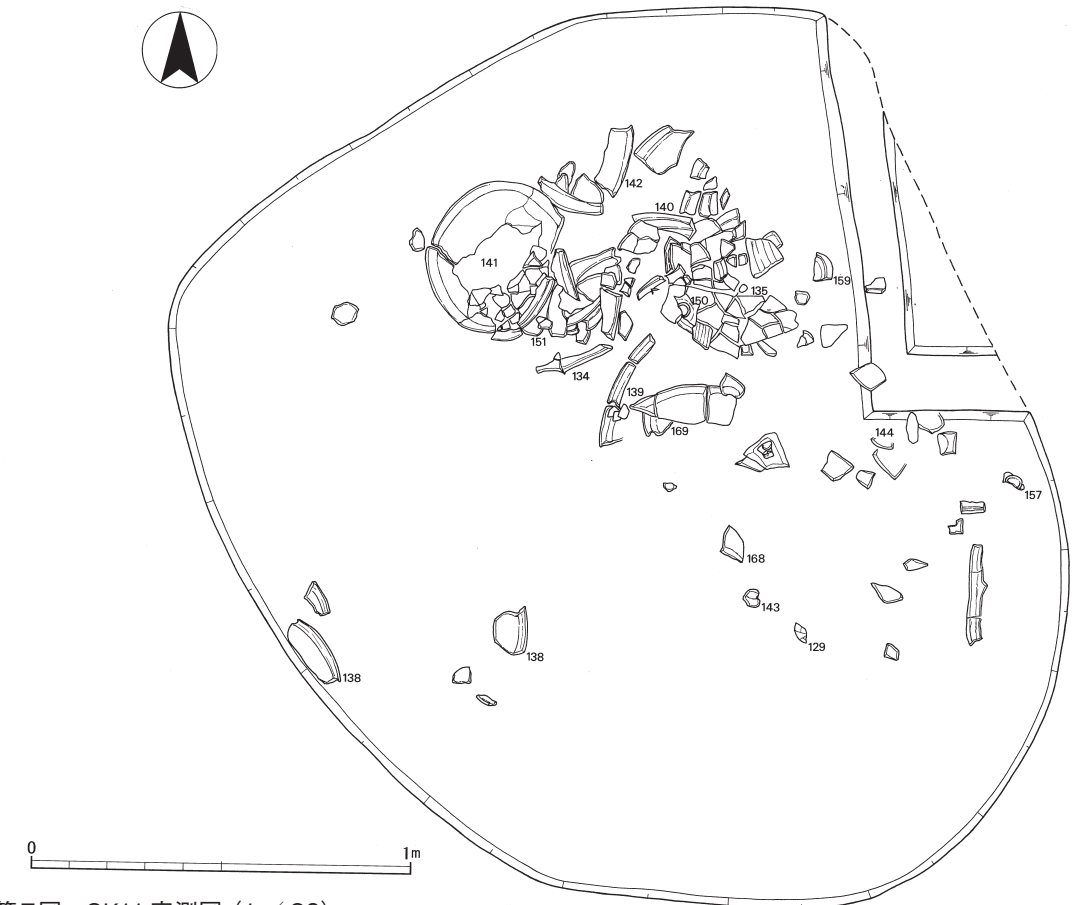
第４図　古墳時代平面図（1／100）・B 地区土層図（1／80）



1　暗オリーブ褐色砂質土　2.5Y3／3
2　黒褐色砂質土　2.5Y3／2
3　暗灰黄色砂質土　2.5Y4／2
4　黒褐色砂質土　2.5Y3／1
5　にぶい黄色砂質土　2.5Y6／4
6　灰黄色砂質土　2.5Y6／2
7　黒色砂質土　2.5Y2／1
8　黒褐色砂質土　2.5Y3／1
9　オリーブ褐砂質土　2.5Y4／3
10　暗褐色粘質土　10YR3／3
11　黒褐色砂質土　10YR3／2
12　暗灰黄色砂質土　2.5Y5／2
13　灰黄褐色砂質土　10YR4／2
14　黄灰色砂質土　2.5Y4／1
15　黄灰色粘質土　2.5Y5／1
16　オリーブ褐色砂質土　2.5Y4／4
17　黒褐色砂質土＋橙色粘土ブロック混　7.5YR2／2+7.5YR6／8
18　にぶい黄色砂質土　2.5Y6／3
19　黒色砂質土　10YR2／1
20　黄褐色砂質土　2.5Y5／3
21　オリーブ黒色砂質土　5Y3／2
22　オリーブ黒色砂質土＋にぶい黄色粘土ブロック混　5Y3／2+2.5Y6／4
23　オリーブ黒色砂質土　5Y3／1
24　黒褐色砂質土　10YR3／1
25　黒褐色砂質土　10YR2／2
26　黒色砂質土　10YR1.7／1
27　灰黄褐色砂質土　10YR4／2
28　黄灰色砂質土　2.5Y6／1

第５図　江戸時代平面図（1／100）・A 地区土層図（1／80）

第6図　SD9 実測図（B 地区）（1 ／ 20）



第7図　SK11 実測図（1 ／ 20）

である。ＳＫ 31 の隣に位置している。平面形は、方形である。長辺 2.3 m、短辺 1.8 m、である。遺物は、陶磁器類（283 ～ 420）が出土している。時期は、19 世紀中葉から後葉にかけてとみられる。土坑の性格は、粘土採掘坑の可能性も考えられる。

土坑ＳＫ 31　Ａ地区北よりのＦ３区に位置する土坑である。一部は、調査区外にのびる。平面形は、円形であろうと推測できる。直径 2.8 m、深さ 0.66 mである。遺物は、須恵器をはじめとして陶磁器類（421 ～ 604）が多く出土している。時期は、19 世紀中葉とみられる。

区画溝ＳＤ 19　Ａ地区中央付近のＦ６～９区に位置する区画溝である。区画溝ＳＤ 20 と同様に南北方向の溝である。規模は、幅 0.39 ～ 0.79 m、深さ 0.09 ～ 0.58 mである。溝内部には小穴が掘削されており、生垣の可能性も考えられる。遺物は、陶磁器類（688 ～ 722）が出土している。時期は、やや幅広いが 19 世紀代とみられる。

区画溝ＳＤ 20　Ａ地区中央付近のＦ６～９区に位置する区画溝である。ほぼ南北方向の溝である。ＳＤ 21 とほぼ平行で、途中９０°西に屈曲して掘削されている。規模は、幅 0.4 ～ 0.72 m、深さ 0.1 ～ 0.37 mである。溝内部には小穴が掘削されており、生垣の可能性も考えられる。遺物は、円筒埴輪をはじめとして陶磁器類(723 ～ 780)が出土している。時期は、19 世紀前半とみられる。

谷地形ＳＺ 29　Ａ地区北辺部のＥ２区に位置する谷地形である。台地に対してほぼ鋭角に食い込むように浸食している。埋土の状況から谷地形を埋め立てたと推測できる。遺物は陶磁器（664 ～ 673）が出土している。時期は 19 世紀代とみられる。従って 19 世紀代に埋め立てられたか、埋没していたと推測される。

遺構番号	性格	地区名	時期	特徴・形状・規模など	備考
SK1	土坑	F～G10	江戸	不定形・長辺2.6m以上、深さ0.34～0.43m	
SK2	土坑	G11他	江戸	長方形・長辺4.92m、短辺1.58m、深さ0.21～0.37m	
SK3	土坑	G12	江戸	楕円形・径1.25～1.5m、深さ0.08m	
SK4	土坑	F12	江戸	円形・径1.08m、深さ0.07m	
SK5	土坑	F13	江戸	円形・径1.5m、深さ0.11m	礫石多くみられる
SK6	土坑	F13	江戸	不定形・長径2m、短径0.7m、深さ0.42m	SK7と重複
SK7	土坑	G14他	江戸	長方形？・長辺1.8m、短辺1.4m、深さ0.45m	SK6と重複
SK8	土坑	F13	江戸	円形・径1.43m、深さ0.29m	
SD9	1号墳周溝	F11他	古墳	幅3m以上、深さ0.24～0.3m	
SK10	土坑	G14	江戸	長方形・長辺3.05m、短辺0.55m以上、深さ0.05～0.39m	
SK11	土坑	F～G12	江戸	楕円形・径2.24m、深さ0.09～0.15m	
SK12	土坑	E13	江戸	円形・径1.3m以上、深さ0.23m	
SK13	土坑	E13	江戸	円形・径1.15m以上、深さ0.16m	
SK14	土坑	E12	江戸	円形・径0.45～0.5m、深さ0.13m	埋甕
SK15	土坑	E12	江戸	長方形・長辺1.15m、短辺0.57m以上、深さ0.05m	
SD16	溝	F13	江戸	幅0.3～0.38m、深さ0.25m	SD19と一連の溝の可能性大
SK17	土坑	E10他	江戸	円形・径1.14m、深さ0.24m	
SD18	溝	F10	江戸	幅0.3～0.54m、深さ0.13～0.37m	
SD19	溝	F6～9	江戸	幅0.39～0.79m、深さ0.09～0.58m	
SD20	溝	F6～9	江戸	幅0.4～0.72m、深さ0.1～0.37m	
SK21	土坑	F6	江戸	長方形・長辺1.52m、短辺1.07m、深さ0.21m	
SK22	土坑	F9他	江戸	不定形・長辺5.3m、短辺2.54m、深さ0.35～0.5m	
SK23	土坑	F6・7	江戸	正方形・長辺1.5m、短辺1.58m、深さ0.08～0.3m	
SD24	2号墳周溝	F8他	古墳	幅1.6～3.3m、深さ0.1～0.31m	
SK25	土坑	F5	江戸	不定形・長辺3.2m、短辺3.53m、深さ0.24～0.3m	
SD26	3号墳周溝	E4	古墳	幅0.55～1.5m、深さ0.09～0.18m	
SD27	2号墳周溝	F4	古墳	幅0.9～1.5m、深さ0.18～0.45m	
SK28	土坑	F3	江戸	長方形・長辺1.84m、短辺1.33m、深さ0.07m	
SZ29	落ち込み	E2他	江戸		台地縁辺部谷地形
SK30	土坑	F3	江戸	長方形・長辺2.3m、短辺1.8m、深さ0.23～0.31m	
SK31	土坑	F3	江戸	不定円形・径2.8m、深さ0.66m	
SK32	土坑	B8	江戸以降	規模不明	
SK33	土坑	B9	江戸	長辺2.83m以上、深さ0.39m	
SK34	土坑	B10	江戸	長辺0.7m以上、深さ0.12m	
SD35	溝	B10	江戸？	幅1m以上、深さ0.26m	
SK36	土坑	B10	江戸	長辺0.8m、深さ0.17m	
SK37	土坑	B11	江戸	径1.15m、深さ0.26m	
SD38	溝	B11	古墳	幅0.9m、深さ0.14m	1号墳の周溝と考えられる

第１表　遺構一覧表

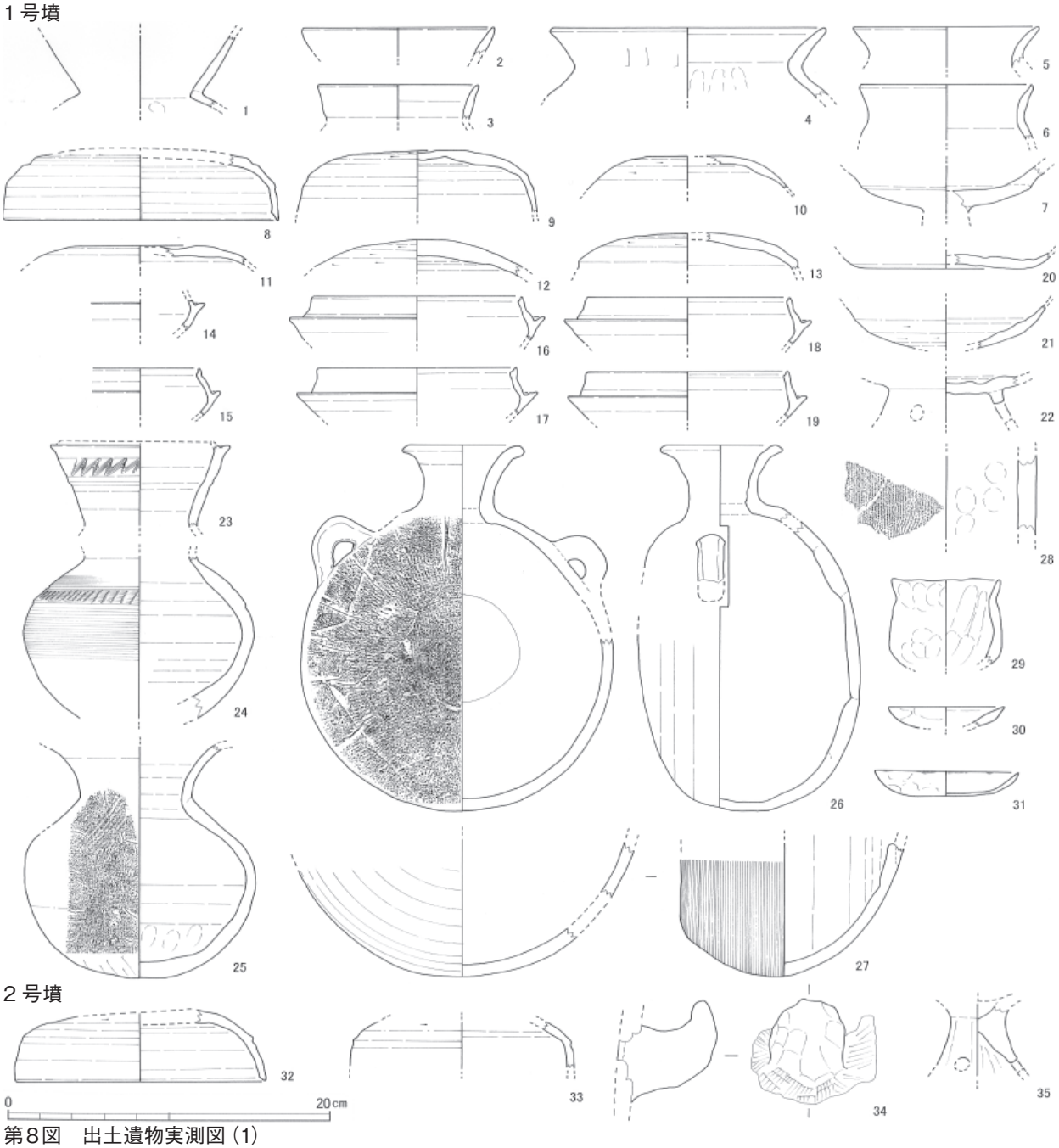
第Ⅳ章　遺物

今回の発掘調査による遺物の出土量は整理をしてコンテナバットで50箱になり、重量では、187．2kgになる。また、遺物は江戸時代後期の陶磁器類が主で、古墳時代後期の須恵器をはじめとして円筒埴輪などが僅かに出土している。また、古墳時代の遺物は、周溝と江戸時代後期の遺構から出土している。

以下に、出土遺物の特徴を主に遺構ごとに記述する。遺物の個々の詳細については、遺物観察表（第２表～第12表）を参照されたい。遺物は、第８～35図に掲載した。

1　古墳時代

１号墳出土遺物（ＳＤ９）　土師器壺（１）･甕（２～６）･高杯（７）･須恵器杯蓋（８～13）･杯身（14～20）･高杯（21～22）･壺（23～25･28）･提瓶（26･27）･ミニチュア土器（29）がある。土師器壺･甕は残存が口縁部ばかりである。須恵器も全体的に残りはよくなく提瓶のみがほぼ完存である。遺物の



第８図　出土遺物実測図（1）

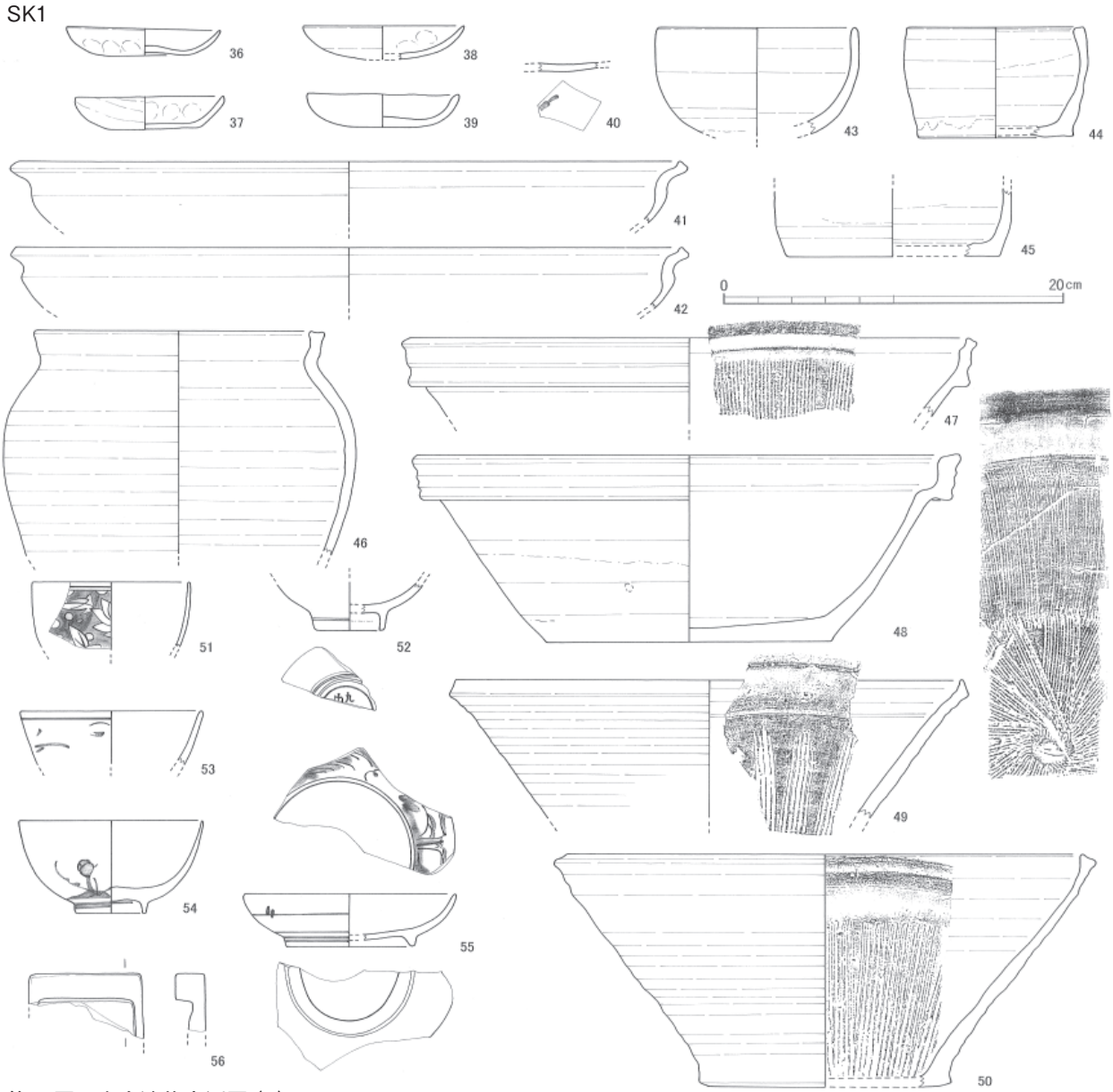
時期は、ＴＫ 10 型式併行期で６世紀中葉とみられる。

２号墳出土遺物（ＳＤ 24・27）　須恵器杯蓋（32・33）、土師器甑の取手部分（34）・高杯（35）がある。全て全体的に残りはよくない。遺物の時期は、ＴＫ 10 型式併行期で６世紀中葉とみられる。

２　江戸時代

土坑ＳＫ１出土遺物　土師器皿（36 ～ 40）・焙烙（41・42）・陶器椀（43）・甕（44・45）・壺（46）・擂鉢（47 ～ 50）・磁器椀（51 ～ 54）・皿（55）・石硯（56）がある。土師器皿は、灯明皿である。40 は、墨書がなされているが読むことはできない。土師器焙烙（41・42）は、南伊勢系土師器鍋の系譜を引くものとみられる。43 は、瀬戸・美濃の丸椀で登窯２・３小期の 17 世紀前半とみられる。残りの陶器類は、全て伊賀・信楽焼である。中でも48･49の擂鉢は信楽焼でそれぞれ 48 は 19 世紀中頃、49 は 17 世紀後半のもの。磁器は、大半が有田焼（伊万里焼）である。51 は、内山のもので唐花の文様があしらわれており、17 世紀第３四半期に位置するもの。53 は、蝶の文様で 17 世紀第２四半期のもの。54 は、外山（波佐見）のもので文様は雪輪文、18 世紀後半のもの。55 は、文様は竹と梅、17 世紀末～ 18 世紀初頭のもの。56 は、方形硯で、石材は黒色粘板岩である。

土坑ＳＫ２出土遺物　土師器皿（57）・焙烙（58・59）・陶器椀（60 ～ 62）・大皿（63）・火入（64）・鉢（65 ～ 69）・甕（70・71）・擂鉢（72）・磁器椀（73 ～ 78）・皿（79）がある。57 は灯明皿である。59 は



第９図　出土遺物実測図（2）

南伊勢系のものであろうが、58 は異なる系譜を引くものであろう。63 は波状文が口縁部内面と内面底部に巡り、非常に精緻なものである。73･74 は、小椀、73 は、18 世紀中葉～後葉のもの。74 も 18 世紀中葉～後葉のもの。75 は、文様が草花文で、17 世紀末～ 18 世紀初頭のもの。76 は 18 世紀中葉～後葉のもの。77 は､白磁椀で 18 世紀中葉～後葉のもの。78 は、文様に草が描かれる｡17 世紀末～ 18 世紀初頭のもの。

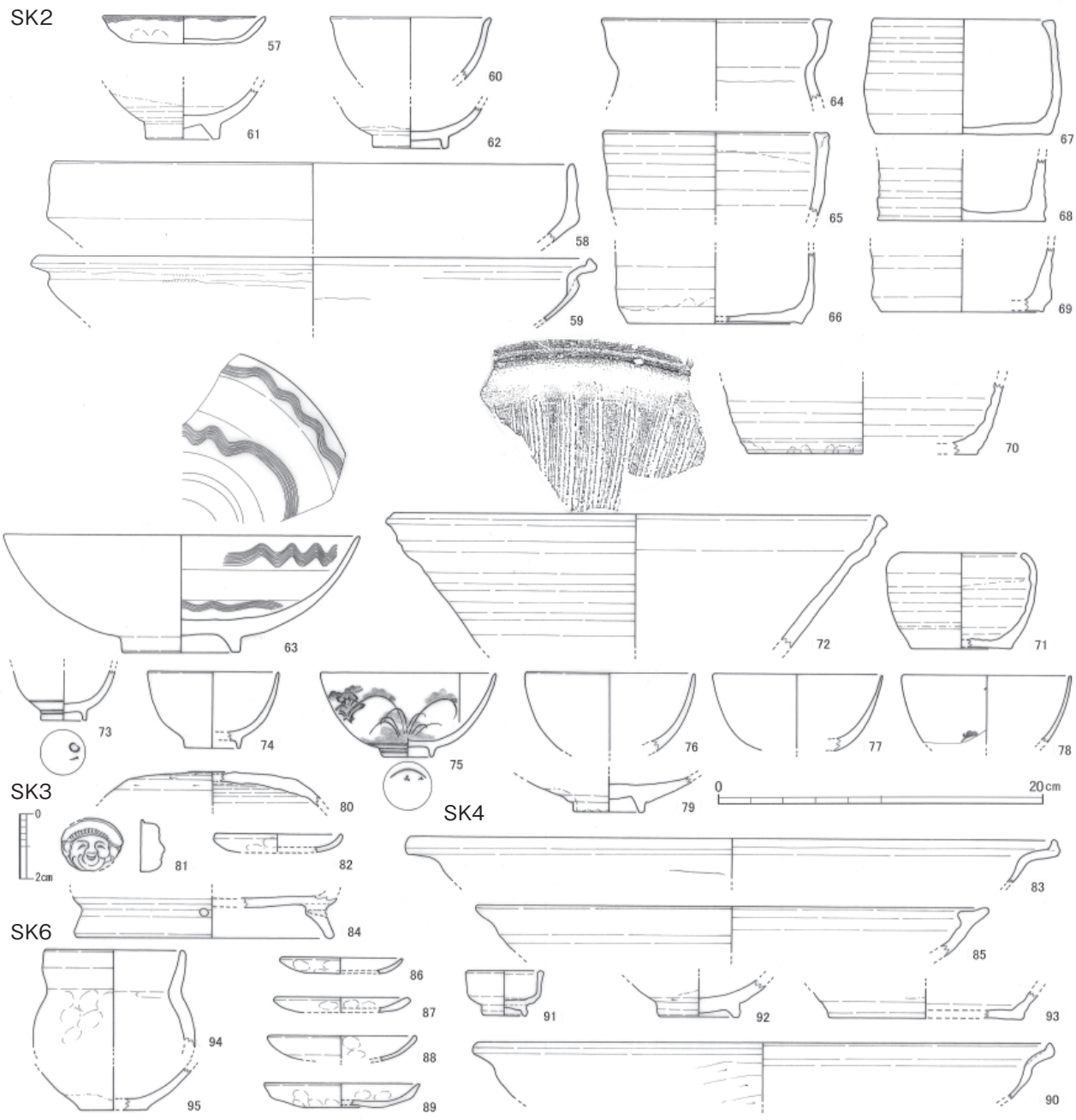
土坑ＳＫ３出土遺物　須恵器杯蓋（80）・土製品（81）がある。須恵器杯蓋は､1 号墳のものであろう。土製品は、大黒天である。首から上だけである。

土坑ＳＫ４出土遺物　土師器皿（82）･焙烙（83）･七厘（83）･陶器鉢（85）がある。82 は灯明皿､83 は、南伊勢系の焙烙、84 は、七厘の底部とみられる。

土坑ＳＫ５出土遺物　土師器皿（86 ～ 89）・焙烙（90）・陶器猪口（91）・椀（92）・甕（93）がある。土師器皿は、灯明皿である。90 は、南伊勢系のもの。91 は、伊賀焼のもの。

土坑ＳＫ６出土遺物　土師器小型丸底壺（94）・陶器壺（95）がある。94 は､1 号墳からのものであろう。

土坑ＳＫ７出土遺物　土師器焙烙（96・97）・陶器椀（98・99）・灯明受皿（100）・鉢（101・102）・擂



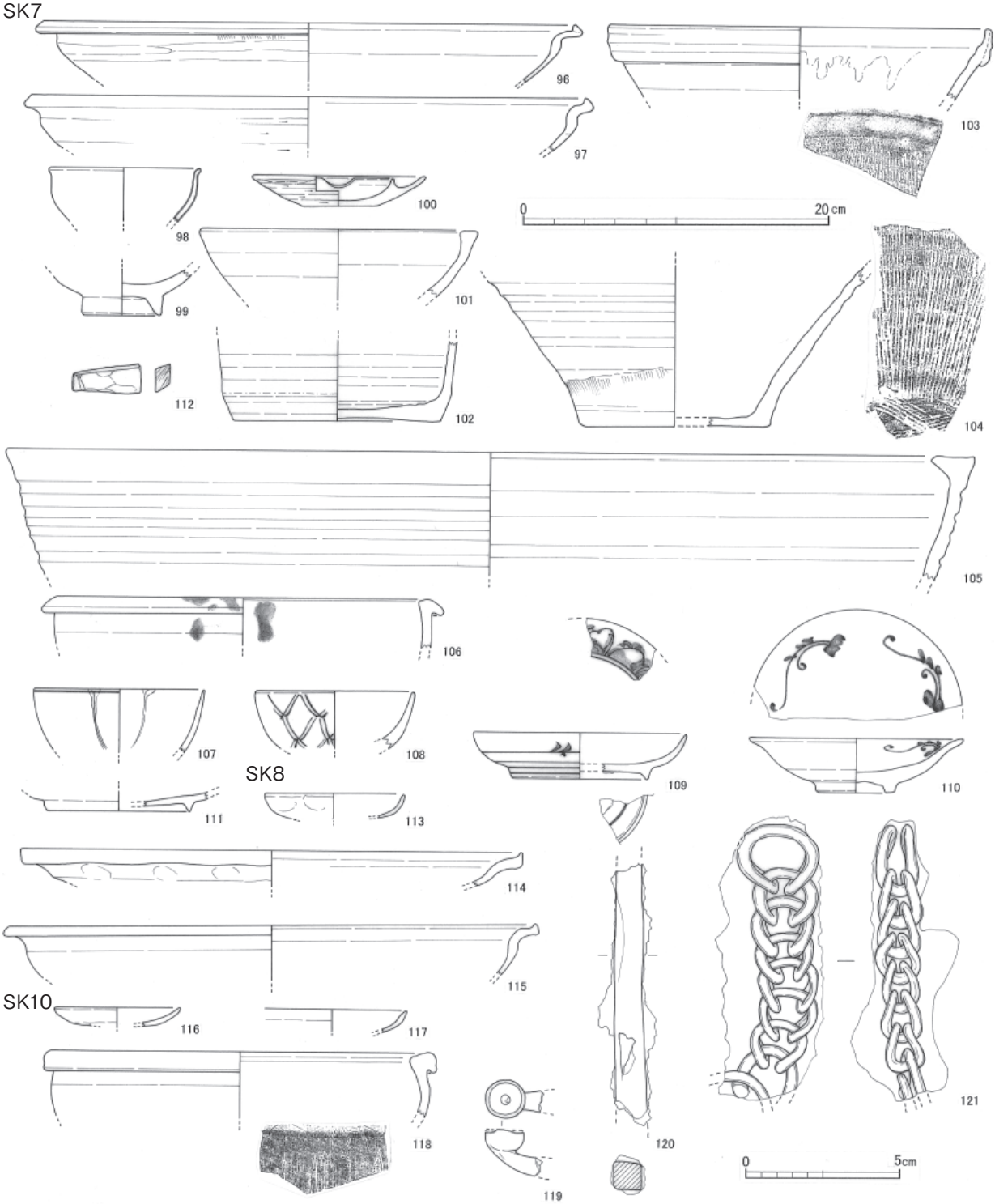
第10図　出土遺物実測図（3）（81 は 1：2）

鉢（103･104）･水甕（105）･練鉢（106）･磁器椀（107･108）・皿（109 ～ 111）・砥石（112）がある。98 は、瀬戸の天目茶椀、登窯２・３小期である。107 は、肥前で焼き継ぎ痕跡を留める。18 世紀頃。108 は、外山のもの。文様は二重網目文、18 世紀中葉～後葉にかけてのもの。109 は、17 世紀末のもので元禄期の文様。110 は、初期伊万里で 17 世紀第２四半期のもの。蔓草の文様で重ね焼きの痕跡を留める。111 は、白磁皿の底部、17 世紀第３四半期のもの。

土坑ＳＫ８出土遺物　土師器皿（113）･焙烙（114･115）がある。焙烙は、南伊勢系のもの。

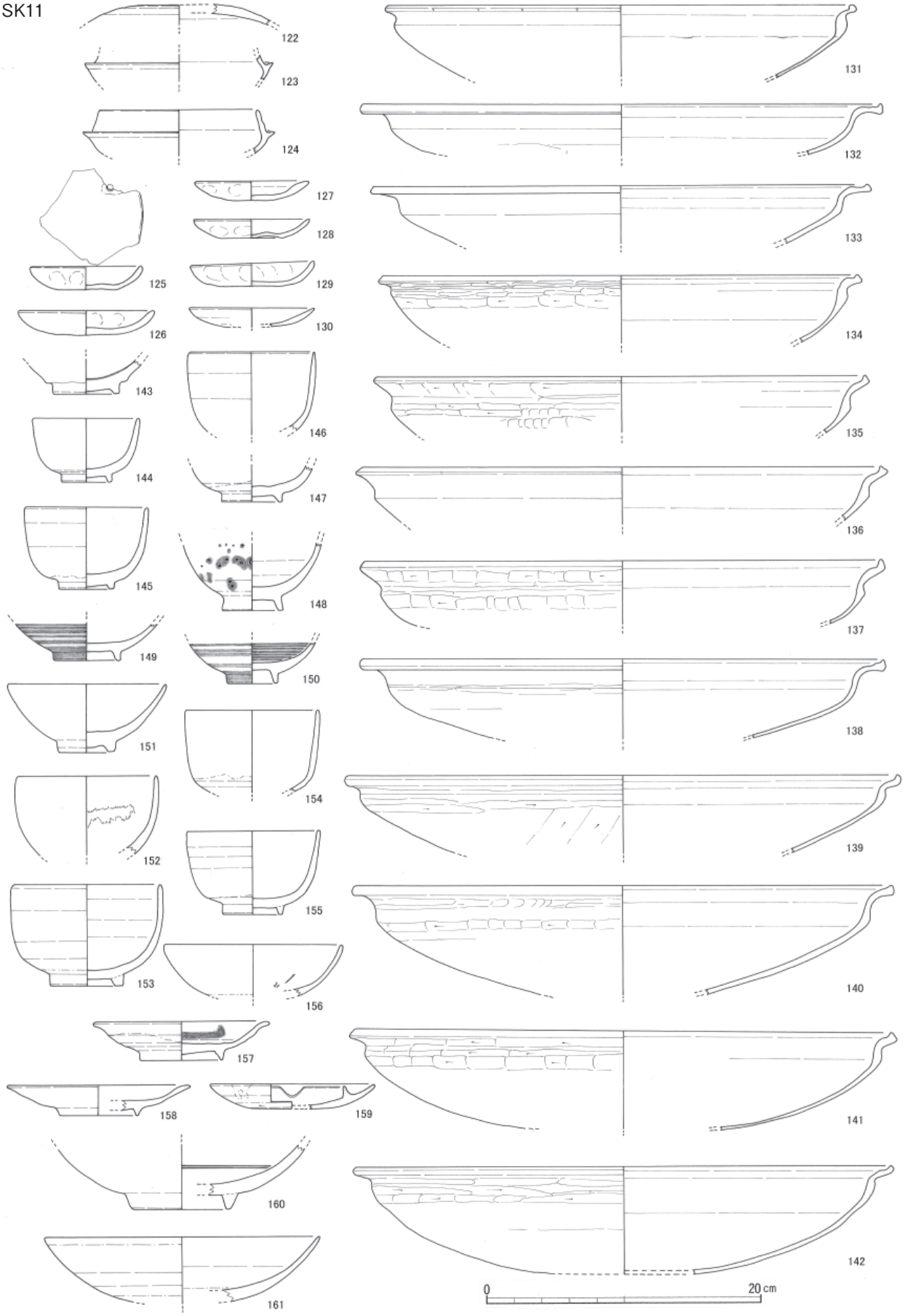
土坑ＳＫ 10 出土遺物　土師器皿（116・117）・陶器擂鉢（118）・煙管雁首（119）・鉄製品（120・121）がある。120 は、釘。121 は、兵庫鎖。

土坑ＳＫ 11 出土遺物　須恵器杯蓋（122）・杯身（123・124）・土師器皿（125 ～ 130）・焙烙（131 ～



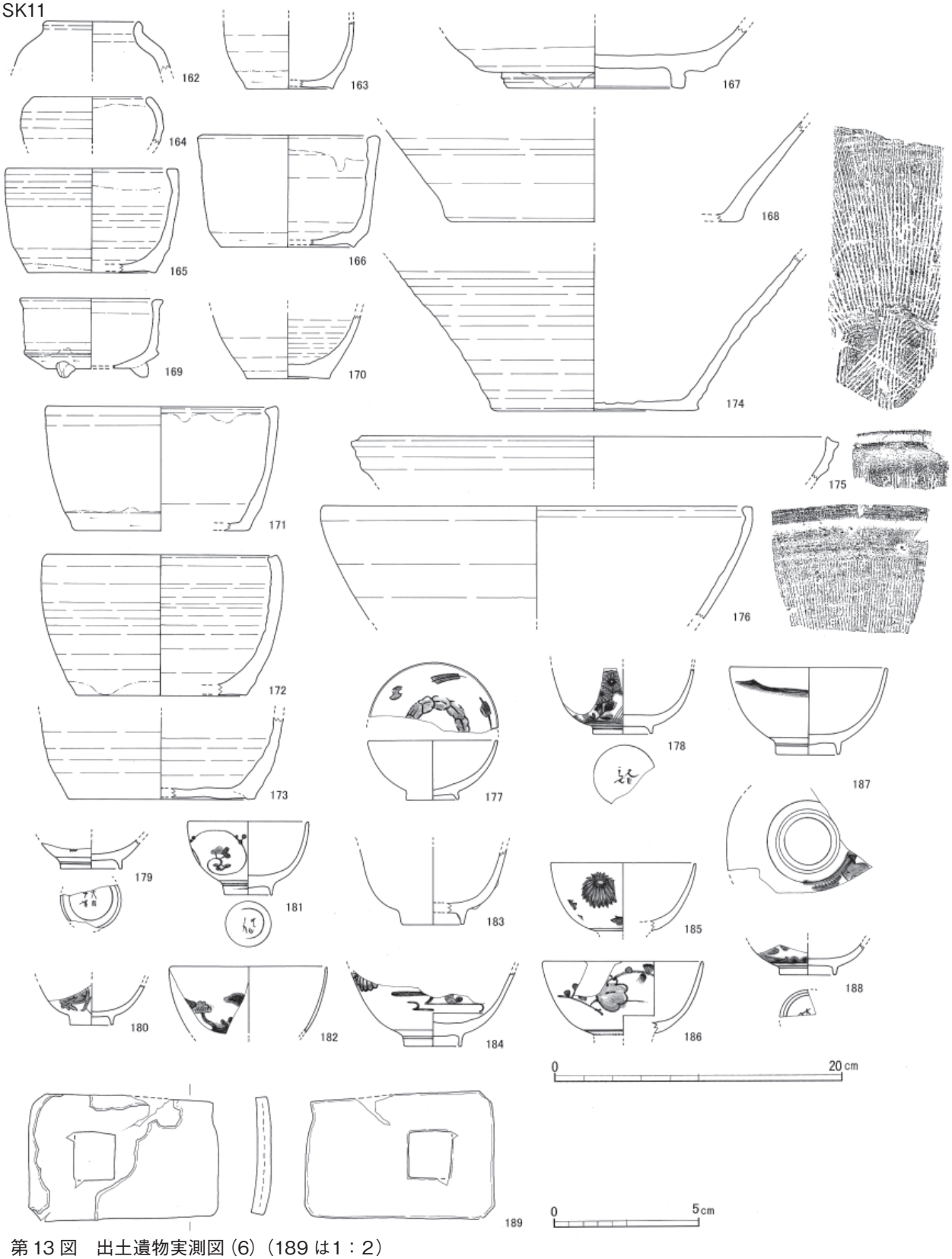
第11図　出土遺物実測図（4）（119・120・121 は 1：2）

SK11



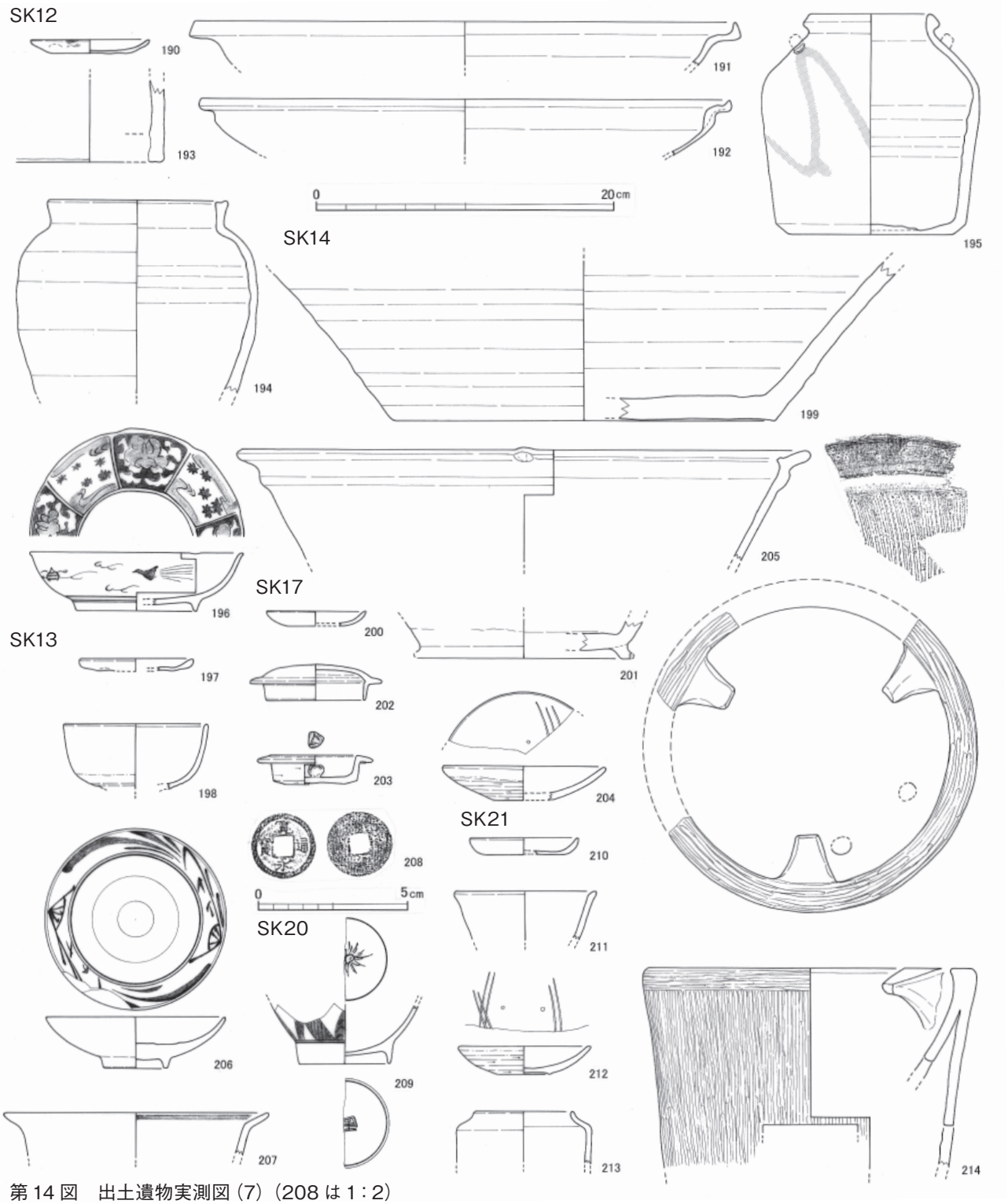
第 12 図　出土遺物実測図 (5)

142）・陶器椀（143 ～ 156）・皿（157 ～ 158）・灯明受皿（159）・壺（162 ～ 164）・火入（165・166）・鉢（160・167・168）・擂鉢（174 ～ 176）・香炉（169）・磁器椀（177 ～ 188）・鉄製品（189）がある。須恵器は、1号墳のものとみられる。遺物の時期は、17 世紀末～18 世紀初頭のものが中心をしめる。土師器皿は灯明皿、焙烙は、南伊勢系のもの。143 は、瀬戸の天目茶椀、登窯３・４小期である。144 は美濃の小椀、６・７小期である。145・147 は、瀬戸の丸椀、登窯７小期である。148・149 は、肥前の陶器椀、共に 17 世



第 13 図　出土遺物実測図（6）（189 は１：２）

紀末とみられる。153 ～ 155 は、瀬戸の陶器椀で登窯 4 小期､17 世紀末から 18 世紀初頭のもの。157 は、瀬戸の輪禿皿、登窯 5 期である。158 は、瀬戸美濃で、登窯 1 ・ 2 小期である。160 は、肥前の陶胎染付の鉢で、18 世紀前半のもの。161 は、肥前の皿で 17 世紀末のもの。177 ～ 188 は､全て肥前の椀。177 は､子供茶椀で文様は、羽子板・小槌・分銅である。17 世紀末～ 18 世紀初頭のもの。178 は、文様が草花文で 17 世紀末～ 18 世紀初頭のもの。179・180・182・185・188 も 178 と同様の時期である。181 は、外山のもの、文様は唐草、17 世紀末のもの。183 は、初期伊万里、17 世紀第 2 四半期のもの。184 は波佐見のもので 18 世紀後半とみられる。189 は、方形の透孔を持つ鉄板、用途不明のもの。バックルの可能性



第 14 図　出土遺物実測図 (7)（208 は 1 : 2）

もある。

土坑ＳＫ 12 出土遺物　土師器皿（190）･焙烙（191 ～ 192）･七厘（193）･陶器壺（194 ～ 195）･磁器皿（196）がある。196 は、肥前の有田丸山のもの、文様は、鳳凰、紅葉、唐草、立田川である。18 世紀前半のもの。

土坑ＳＫ 13 出土遺物　土師器皿（197）・陶器椀（198）がある。197 は灯明皿である。

土坑ＳＫ 14 出土遺物　陶器甕（199）がある。

土坑ＳＫ 17 出土遺物　土師器皿（200）･鉢（201）･陶器蓋（202・203）・灯明皿（204）・擂鉢（205）・磁器皿（206）･鉢（207）･銭貨（寛永通宝）（208）がある。200 は灯明皿である。206 は、波佐見のもの、文様は扇面文である。18 世紀後半のもの。207 は、肥前で青磁染付、18 世紀後半のもの。

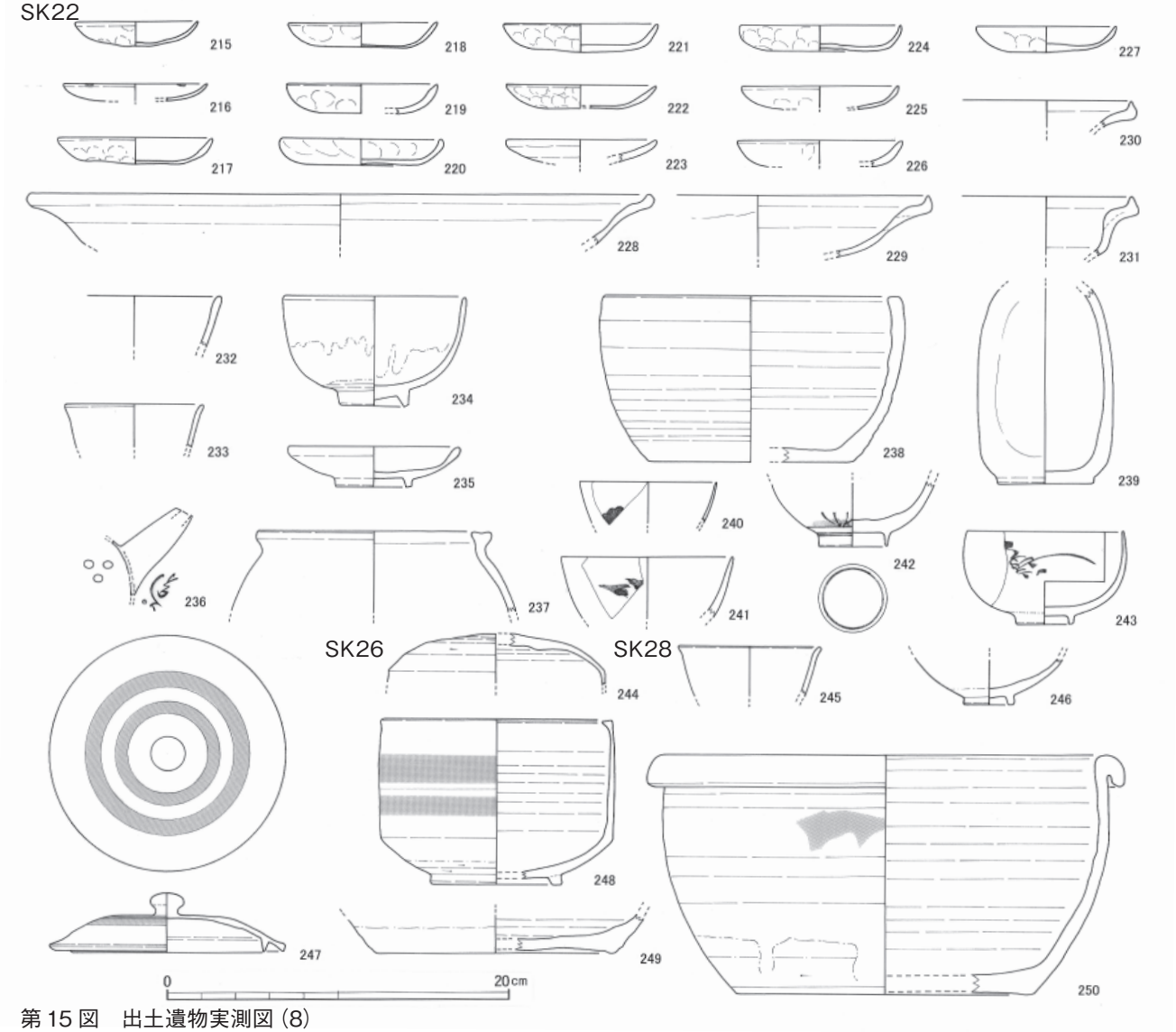
土坑ＳＫ 20 出土遺物　磁器椀（209）がある。209 は肥前の広東椀、文様は蓮で 18 世紀後半のもの。

土坑ＳＫ 21 出土遺物　土師器皿（210）・陶器椀（211）･灯明皿（212）･陶器壺（213）･瓦質風炉（214）がある。

土坑ＳＫ 22 出土遺物　土師器皿（215 ～ 227）・焙烙（228 ～ 231）・陶器椀（232 ～ 234）・皿（235）・土瓶（236）・壺（237）・鉢（238）・花入（239）・磁器椀（240 ～ 243）がある。234 は、美濃の尾呂茶椀、７期のもの。240 ～ 243 は肥前の椀で、240 は 18 世紀前半のもの。242 は波佐見のもので 18 世紀後半～ 19 世紀初頭のもの。

土坑ＳＫ 26 出土遺物　須恵器杯蓋（244）がある。２号墳のものが混じりこんだとみられる。

土坑ＳＫ 25 出土遺物　土師器焙烙（251 ～ 253）・陶器椀（254・255）・灯明皿（256）・鉢（257）・皿（258）茶筒（259）・急須（260・268）・行平鍋（261・263 ～ 265）･行平鍋蓋（262）･盤（266）･十能（267）・

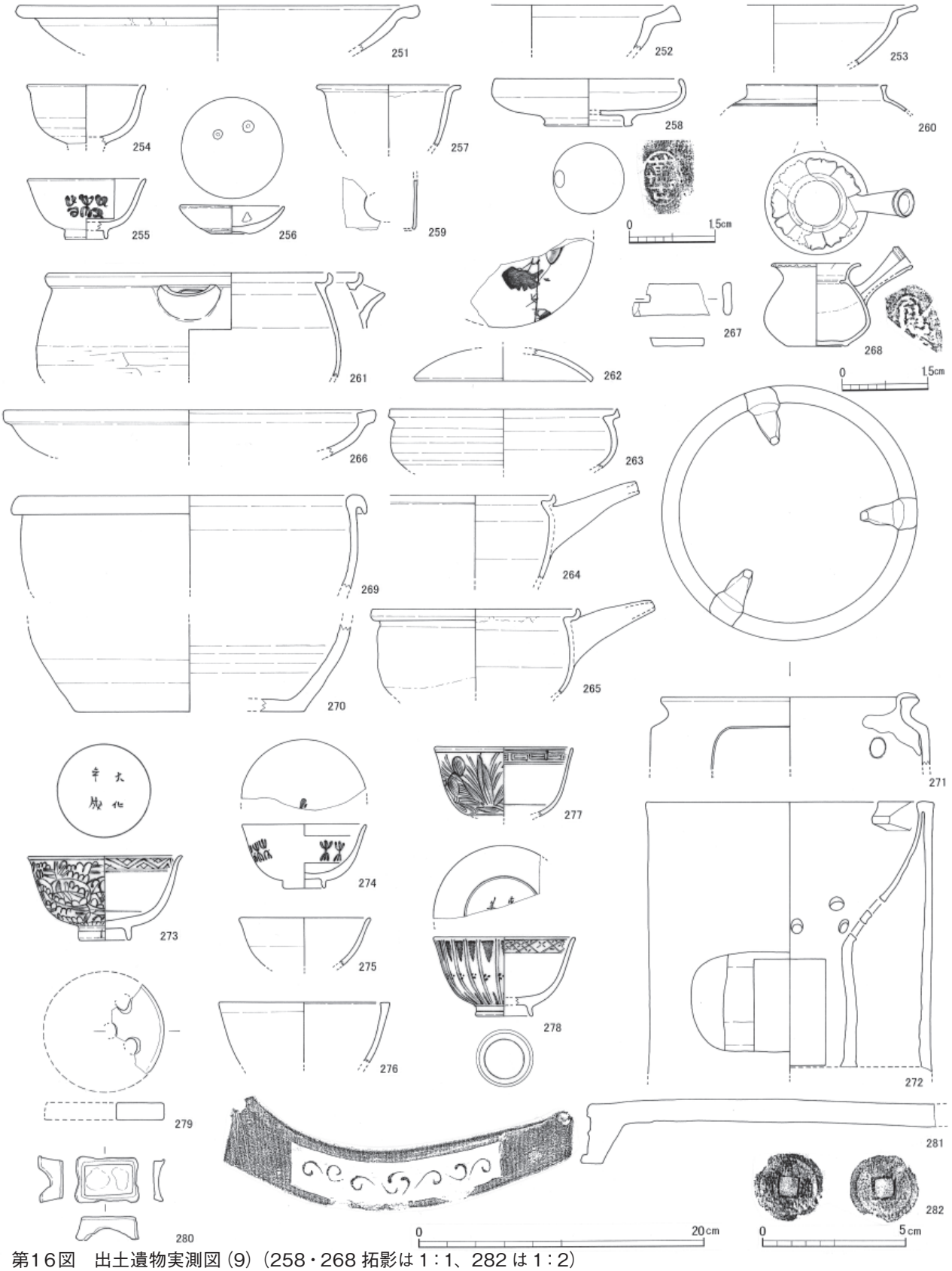


第 15 図　出土遺物実測図 (8)

練鉢（269）・鉢（270）・土師器涼炉（271・272）・磁器椀（273 ～ 278）・土師器七厘さな（279）・土製品机（280）・軒平瓦（281）・銭貨（寛永通宝）（282）がある。255 は、瀬戸美濃の端反椀、文様は隷字体文、19 世紀中葉とみられる。273・274・278 は、瀬戸美濃の磁器椀で 19 世紀中葉である。

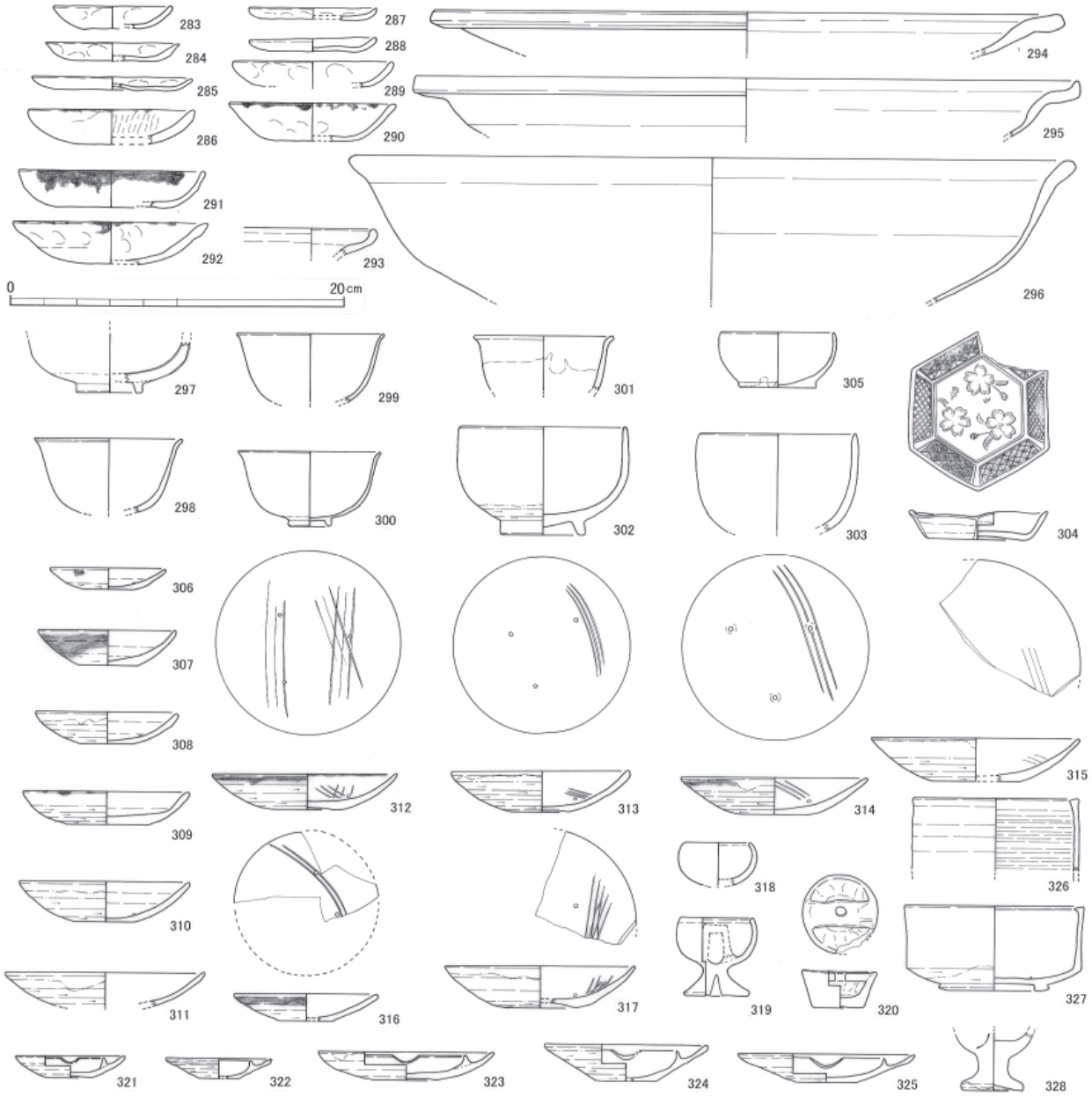
土坑ＳＫ 28 出土遺物　陶器椀（245･246）･蓋（247）･鉢（248・249）・捏鉢（250）がある。

SK25



第16図　出土遺物実測図（9）（258・268 拓影は 1：1、282 は 1：2）

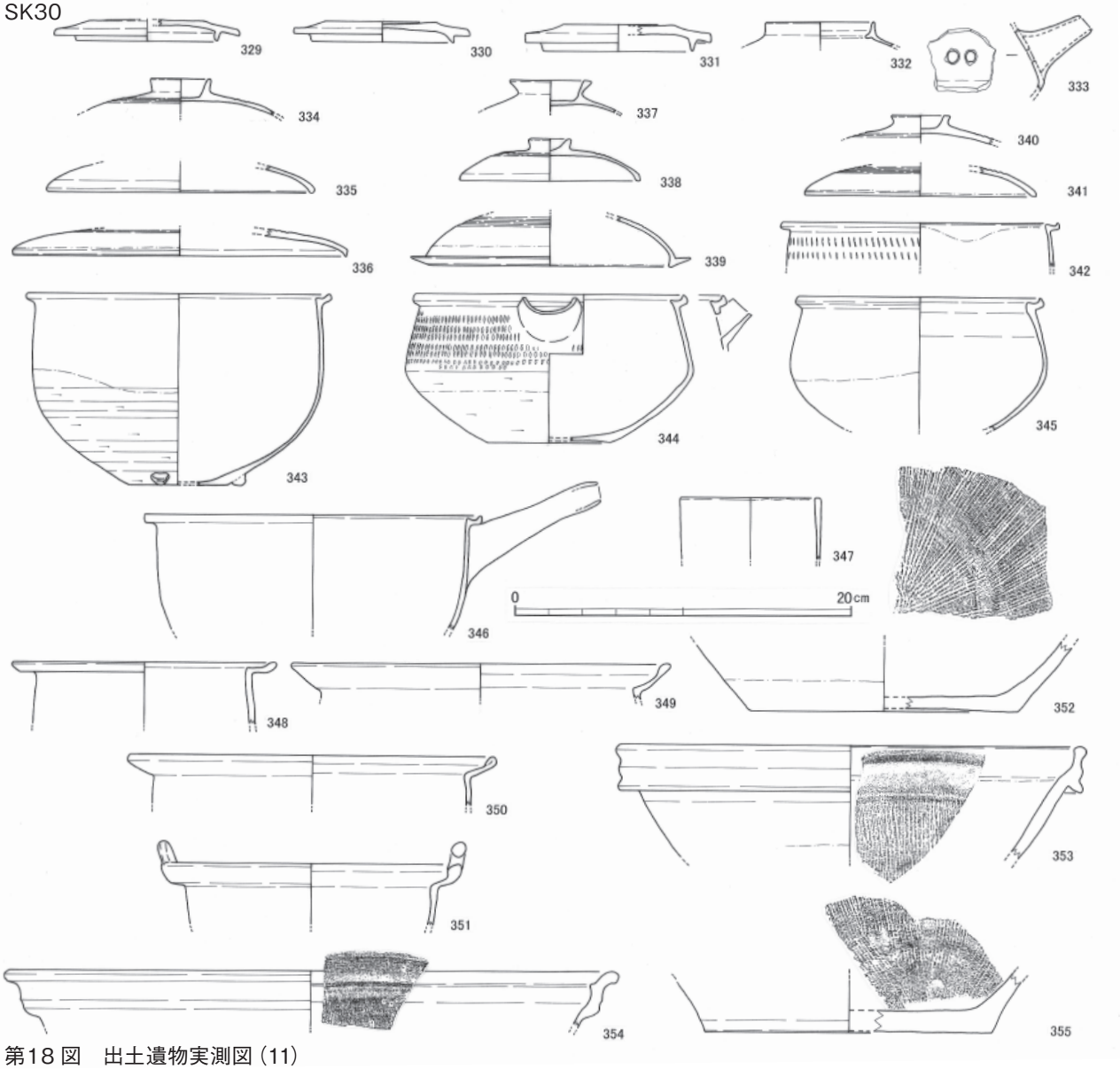
土坑ＳＫ30出土遺物　土師器皿（283 ～ 292）・焙烙（293 ～ 296）・陶器椀（297 ～ 303・305）・皿（304）・灯明皿（306 ～ 317）・秉燭（318・319）・灯明台（320）・灯明受皿（321 ～ 325）・香炉（326 ～ 327）・仏飯具（328）・蓋（329 ～ 331）・土瓶（332 ～ 333）・行平鍋蓋（334 ～ 341）・行平鍋（342 ～ 346）・茶筒（347）・鍋（348 ～ 351）・擂鉢（352 ～ 355）・徳利（356）・花生（357）・植木鉢（358 ～ 360）・鉢（361 ～ 369）・甕（370 ～ 373）・水滴（374）・七厘さな（375）・加工円盤（376）・土製品（377・378）・軒丸瓦（379 ～ 380）・軒平瓦（381 ～ 389）・磁器椀（390 ～ 409）・皿（410 ～ 413）・蓋（414 ～ 415）・鉢（416）・紅猪口（417）・仏飯具（418）・壺（419）・石硯（420）がある。297は、瀬戸美濃の天目茶椀、８・９小期のもの。302は、美濃の陶器椀、８小期。309は、美濃の灯明皿、7・8小期で18世紀後半のもの。328は、肥前の仏飯具、18世紀後半から19世紀前半のもの。374は、水滴とみられ獅子の口の部分に穿孔がみられる。377の土製品で鱗の痕跡を留めており、鯉や鮒の淡水魚もしくは、海水魚とみられる。379・380は、軒丸瓦で巴文である。380は中央部に穿孔の痕がみられる。392・395・398・413・415は、瀬戸美濃の磁器、他は、肥前のものである。392の時期は、第10小期。395は端反椀、19世紀初頭のもの。413は形打皿、第11小期の19世紀中頃のもの。398・415は、明治期。396は、外山のもので筒形椀である。雪輪



第17図　出土遺物実測図（10）

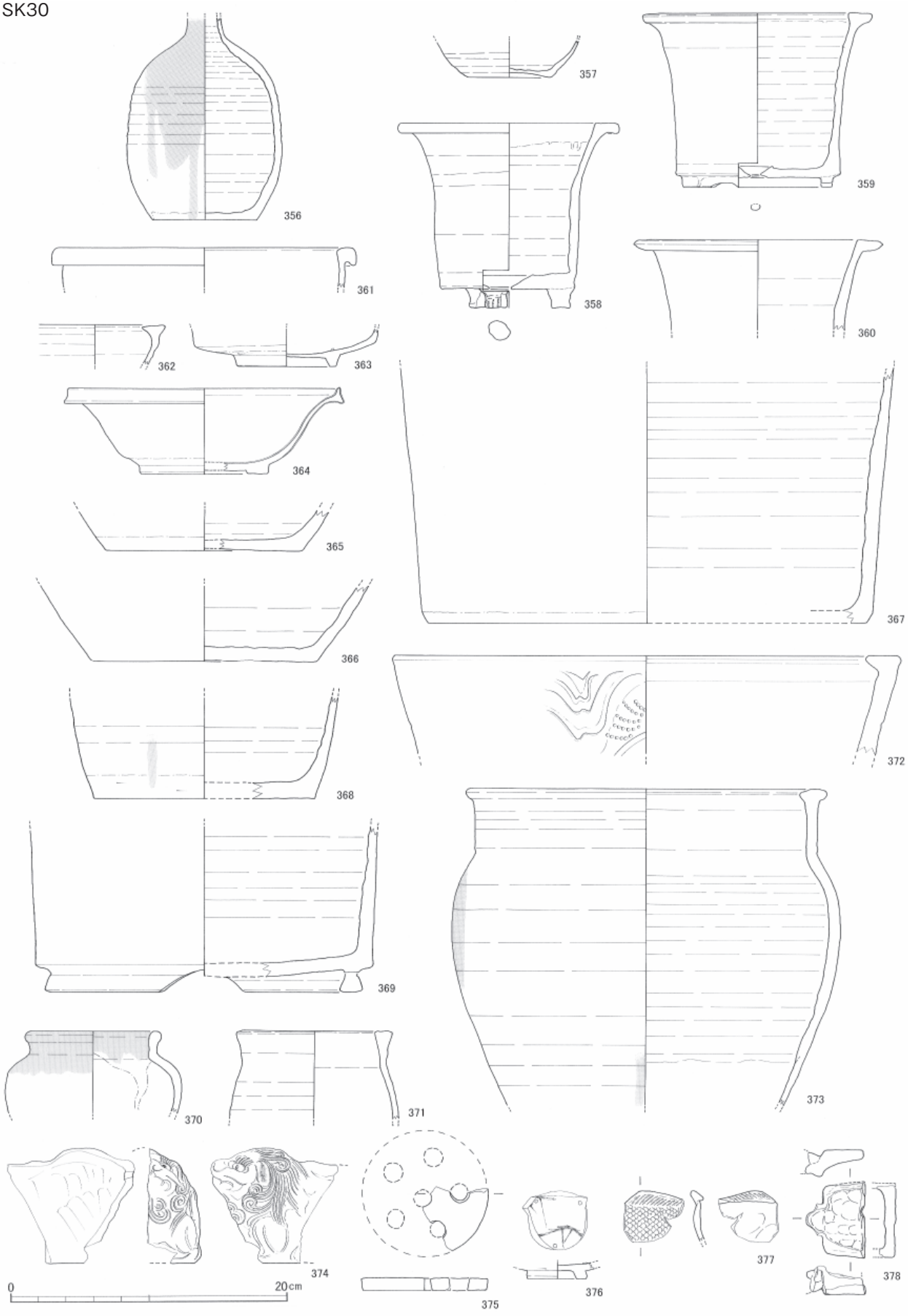
文が施される。393・399・402・405・407は広東椀、18世紀後半から19世紀初頭のもの。400･403･406は、くらわんか椀、時期は広東椀と同様である。397・404は、端反椀で19世紀中葉のもの。409は、内山のもので18世紀後半である。染付に上絵付けが施され、金彩が成される。411は、波佐見のもので18世紀末から19世紀初頭にかけてのもの。414は清朝磁器の特徴を有している。外面に雷文を内面に草花文が施される。19世紀前半のもの。417は、小杯、つる草の文様が施される。19世紀前半のもの。417は仏飯具、割菊の文様が施され、18世紀末から19世紀中葉のもの。

土坑ＳＫ31出土遺物　須恵器杯身（421～423）・土師器椀（424）・土師器皿（425～429）・焙烙（430～433）･土師器小杯（435～437）･陶器杯･椀（434･438～444）・灯明皿（445～460）・灯明受皿（461～463）・台付灯明受皿（464～466）・徳利（467～468）･花生（469）･香炉（470～472）･馬の目皿（473･474）・水注（475・476）・茶入蓋（477）・壺（478）・紅猪口（479･480）･神酒徳利（481）･神仏具椀（482･483）・仏飯具（485～488）・蓋（489～491）・茶釜蓋（492）・急須（493～497）・行平鍋蓋（498～504）・行平鍋（505～510）・土瓶蓋（511～513）・土瓶（514～517）･擂鉢（518）･鍋（519）･鉢（520･521）・植木鉢（522）・捏鉢（523～525）・火消壺蓋（526）･焜炉（527）･風炉（528･529）･七厘さな（530･531）･加工円盤（532）･土製品（533）･軒丸瓦（534）・甕（535～542・544）・壺（543～546）・磁器杯・椀（547～576）･徳利（577）･蕎麦猪口（578）･紅皿（579～581）･蓋（582～590）･皿（591～596）･鉢（597･



第18図　出土遺物実測図（11）

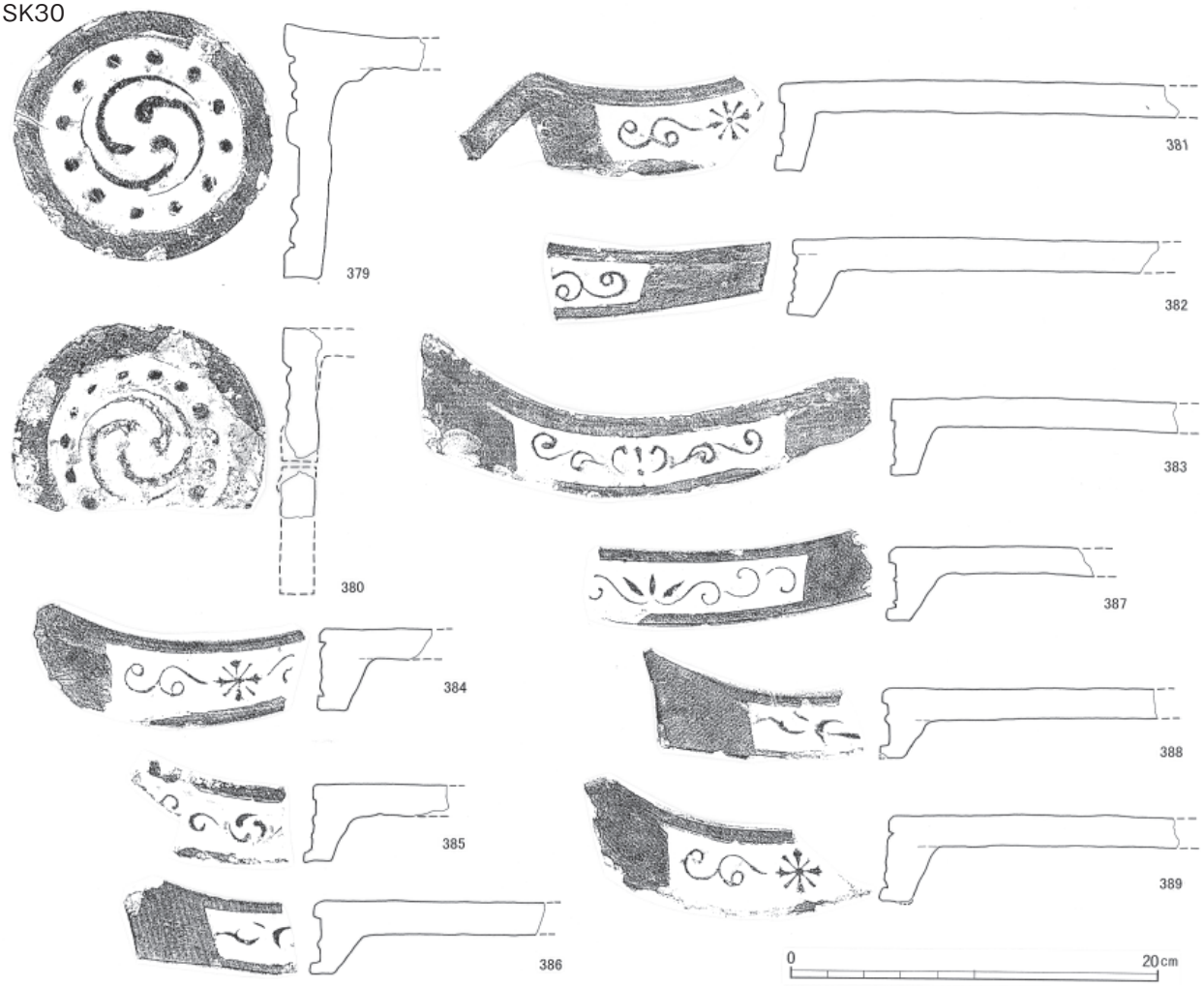
SK30



第19図　出土遺物実測図（12）

598･602)･段重（599･600)･合子（601)･鉄鎌（603)･不明鉄製品（604）がある。421 ～ 424 のものは、３号墳のものであろう。６世紀中葉のもの。434 は、天目茶椀、登窯３・４小期のもの。440 は、小杉椀で 18 世紀中頃のもの。468 は、徳利。底部に「宗」の墨書がされる。人物名であろうか。473・474 は瀬戸の馬の目皿。８小期の 19 世紀代のもの。477 は、肥前のもの。軟質である。497 は、急須である。素焼きのものである。底部に「いか」の刻印が押されている。505 は、行平鍋の杷手部分である。刻印は、潰れており「宮」の一文字が読める。513 は、急須の蓋と思われる。摘手部分は獅子であろうか。516 は、土瓶である。緑釉が掛けられ、底部に「いか」の刻印が押されている。今後、伊賀焼の指標となる資料である。517 は、彩色豊かなものである。万古焼であろうか。523 は、捏鉢で底部に墨書がされている。墨書は「ゼニ上分」と読むことができる。銭を上納する意味であろう。526 は、火消壺の蓋である。ミガキが施され丁寧な作りである。533 は、土製品で仏像か神像の一部であろう。534 は、軒丸瓦で家紋があしらわれている。542 は、甕である。底部に墨書がされている。「巳とし」と読むことができる。548 ～ 550・554・555・558 ～ 562・565・568・571・585・586・589・は、瀬戸美濃の磁器で、他は肥前の磁器である。547 は、金彩で丸に四方欠いた四角が施される。酒杯であろう。548 ～ 550 は、猪口で 19 世紀中葉から後半のもの。551 は貿易陶磁器で、中国福建省のもの。554・561・562 は、小椀で龍が木型打込で描かれる 19 世紀中葉のもの。558・560 は、19 世紀中葉のもの。559 は、高台部がやや尖る、19 世紀初頭のもの。556・557 は、ほぼ同じ扇形文と草花文の文様が描かれる。19 世紀第１～２四半期のもの。563 は端反椀で、鯛や恵比須が描かれ、19 世紀代のもの。564 は、梅花の文様が描かれるが、焼きがやや不十分である。18 世紀中葉～後葉のもの。566 は、19 世紀代のもの。567 は、微塵唐草が描かれ、

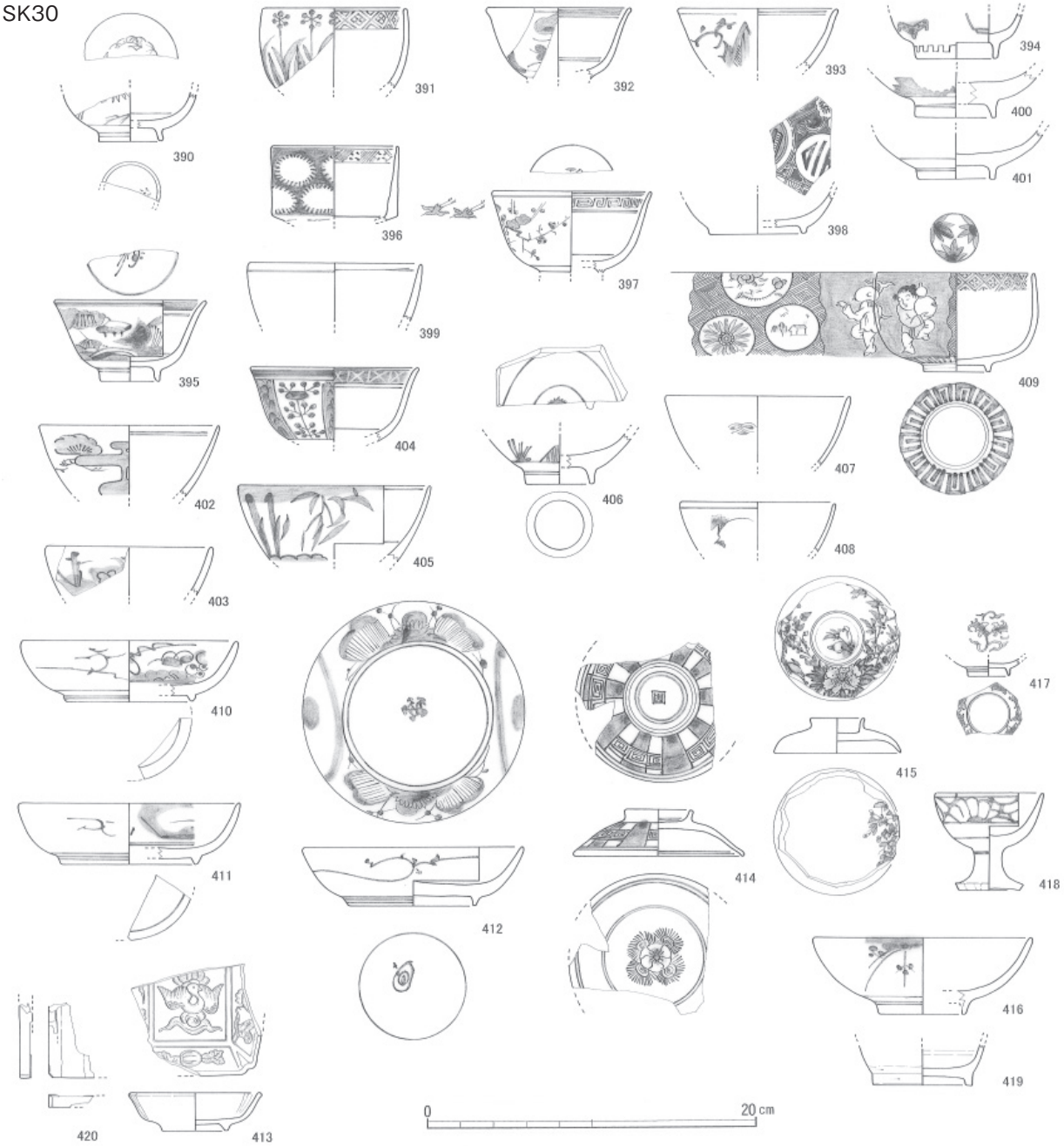
SK30



第 20 図　出土遺物実測図 (13)

19 世紀中葉のもの。569・570・575・576 は広東椀、18 世紀末から 19 世紀初頭のもの。576 は、やや粗製である。572 は、くらわんか椀で、18 世紀後半のもの。573 は、青磁椀である。573 は、焼継痕跡を留める。19 世紀中葉のもの。578 は、蕎麦猪口で 18 世紀後半のもの。579 ～ 581 は、紅皿で 19 世紀代である。585・586・589 は、瀬戸の端反椀の蓋、花唐草が描かれ、第 10 小期の 19 世紀中葉のもの。582・584・587・588・590 は、肥前の望料椀の蓋である。18 世紀後半ないし末から 19 世紀初頭のもの。591 ～ 602 は、全て肥前の磁器である。591・592 は、蛸唐草文が描かれ、18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。592 は、蛇の目高台である。593 は、波佐見のもので草花文が施される。18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。594 は、底部のみである。筒形椀であろうか。18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。595 は、18 世紀末のもの。596 は、志田窯のものであろうか。19 世紀前半～中葉のもの。597 は、八角鉢、蛇の目高台で巻物が描かれ、19 世紀中葉のもの。598 は、焼継痕跡を留める。19 世紀後半のもの。599・600 は段重で、599 は 18 世紀末～19 世紀初頭、600 は 19 世紀前半～中葉のもの。601 は、19 世紀代のもの。602 は 19 世紀前半のもの。

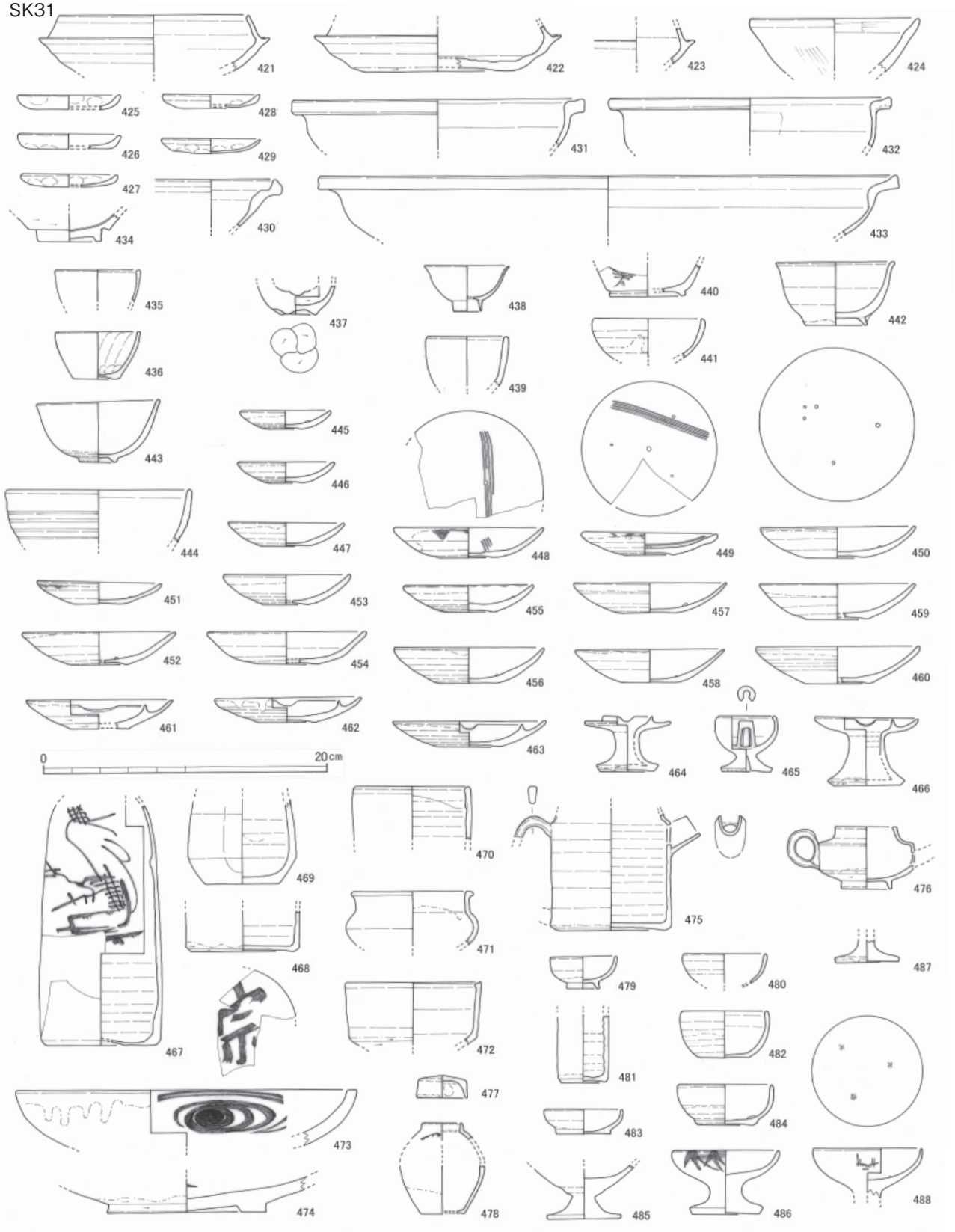
SK30



第 21 図　出土遺物実測図 (14)

土坑ＳＫ32出土遺物　陶器鉢（605）・磁器徳利（606）・椀（607）がある。606は、肥前で神酒徳利。19世紀前葉のもの。607は、瀬戸の広東椀。陶胎染付である。19世紀前半のもの。

土坑ＳＫ33出土遺物　土師器皿（608～614）・焙烙（615～618）・陶器椀（622～623）・灯明皿（619～621）・花生（624）・鉢（625）・蓋（626）・植木鉢（627）・餌猪口（628）・火鉢（629）・徳利（630）・土



第２２図　出土遺物実測図（15）

瓶（631）・擂鉢（632）・磁器杯・椀（633 ～ 641）・蓋（643）・皿（642・644 ～ 646）・土製品（647 ～ 650）・鉄製品釘（651）がある。639 は広東椀、陶胎染付で 18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。他の磁器は全て肥前のもの。633 は、小猪口で瓔珞文が施される。18 世紀後半のもの。634 は、竹の文様が施され、18 世紀後半～ 19 世紀初頭のもの。635 は、18 世紀後半のもの。636 は、波佐見のくらわんか椀、梅花文が施され、18 世紀後半のもの。637 は、やや粗製で、二重網目文が施される。18 世紀中葉～後葉のもの。638 ～ 640 は、広東椀、640 は割菊文、641 はつる草文が施され、全て 18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。643 は、望料椀蓋で 18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。645 は、やや粗製で、藤棚文が描かれる。18 世紀後半のもの。646 は、有田南河原のもので柿右衛門の型打皿。17 世紀末のもの。647 ～ 649 は、不明土製品である。650 は、土製品で福禄寿である。

土坑ＳＫ 34 出土遺物　土師器皿（652）・陶器鉢（653）・磁器椀（654）がある。654 は、肥前の広瀬窯の青磁椀、18 世紀後半～ 19 世紀初頭のもの。

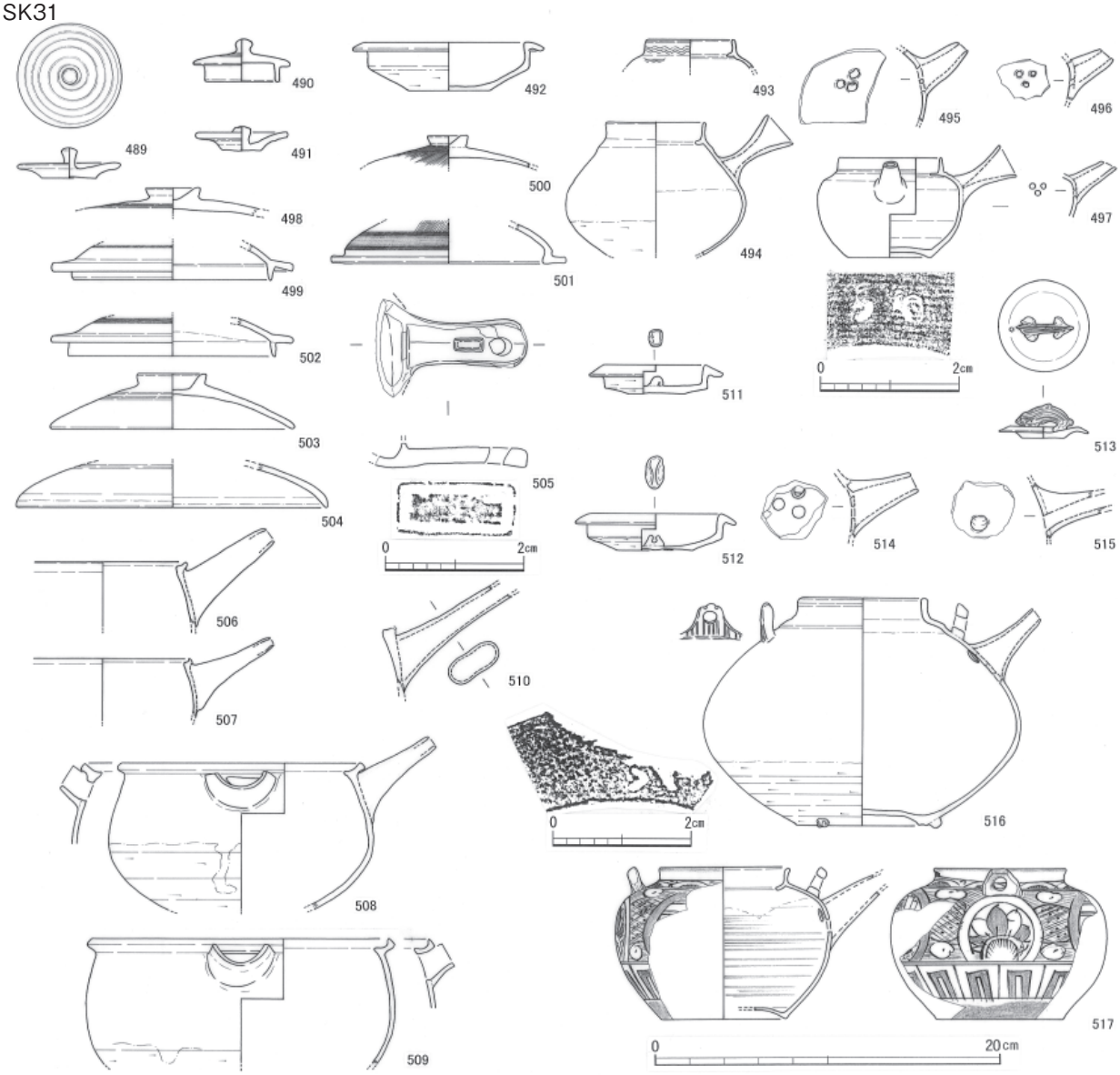
土坑ＳＫ 35 出土遺物　陶器擂鉢（655）がある。

土坑ＳＫ 36 出土遺物　土師器高杯（656）・陶器小杯（657）･椀（658）･磁器椀（659）･陶器擂鉢（660）がある。657 は、肥前陶器で白磁、18 世紀後半～ 19 世紀初頭のもの。659 は、広東椀で 19 世紀前葉のもの。

土坑ＳＫ 37 出土遺物　土師器皿（661）・磁器椀（662）がある。662 は、瀬戸のもので近代。

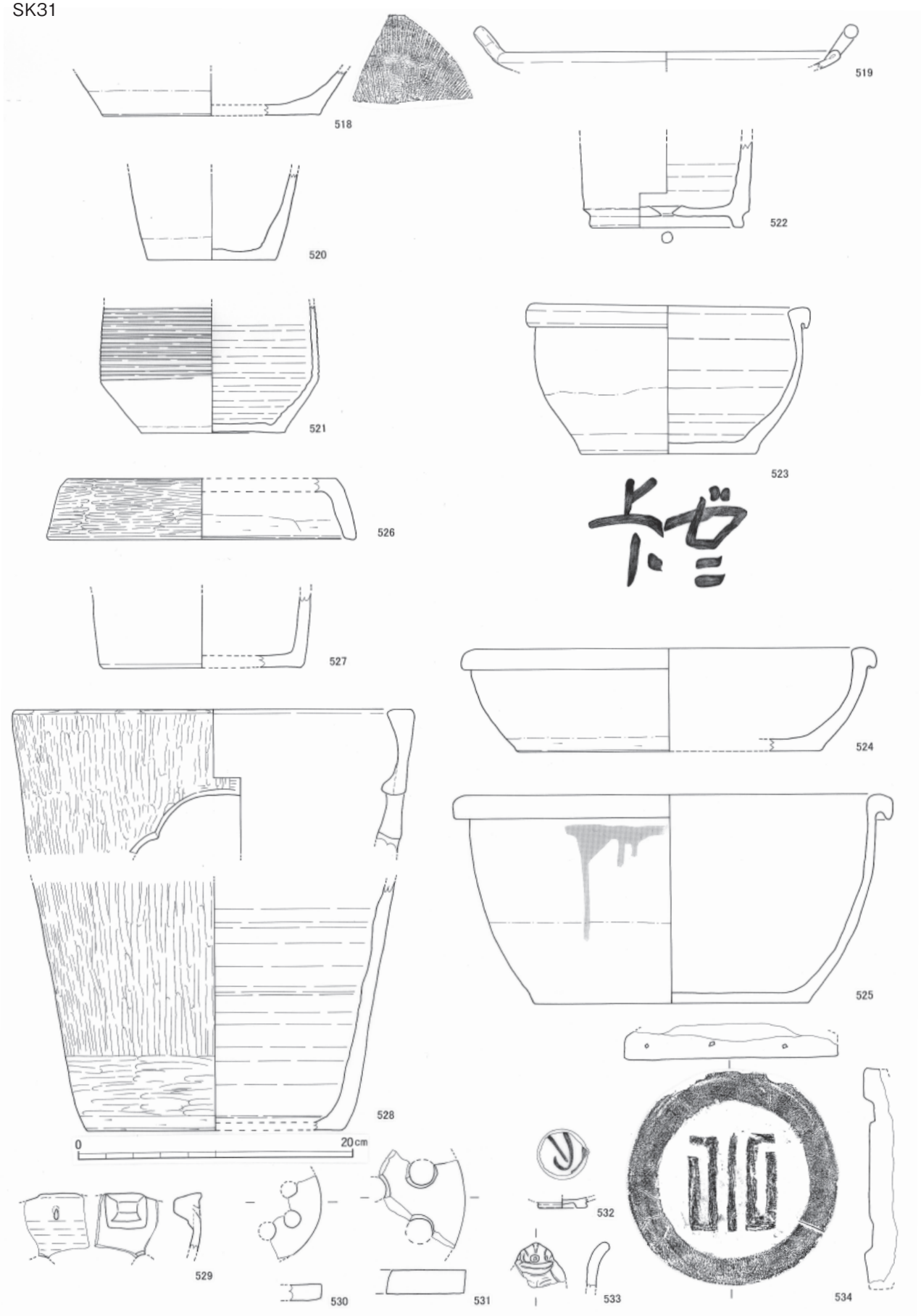
谷地形ＳＺ 29 出土遺物　土師器甕（664）･皿（665 ～ 668）・陶器匣（669）・皿（670）・火鉢（671）・甕（672･673）･磁器皿（674）･蓋（675）･七厘さな（676）

SK31



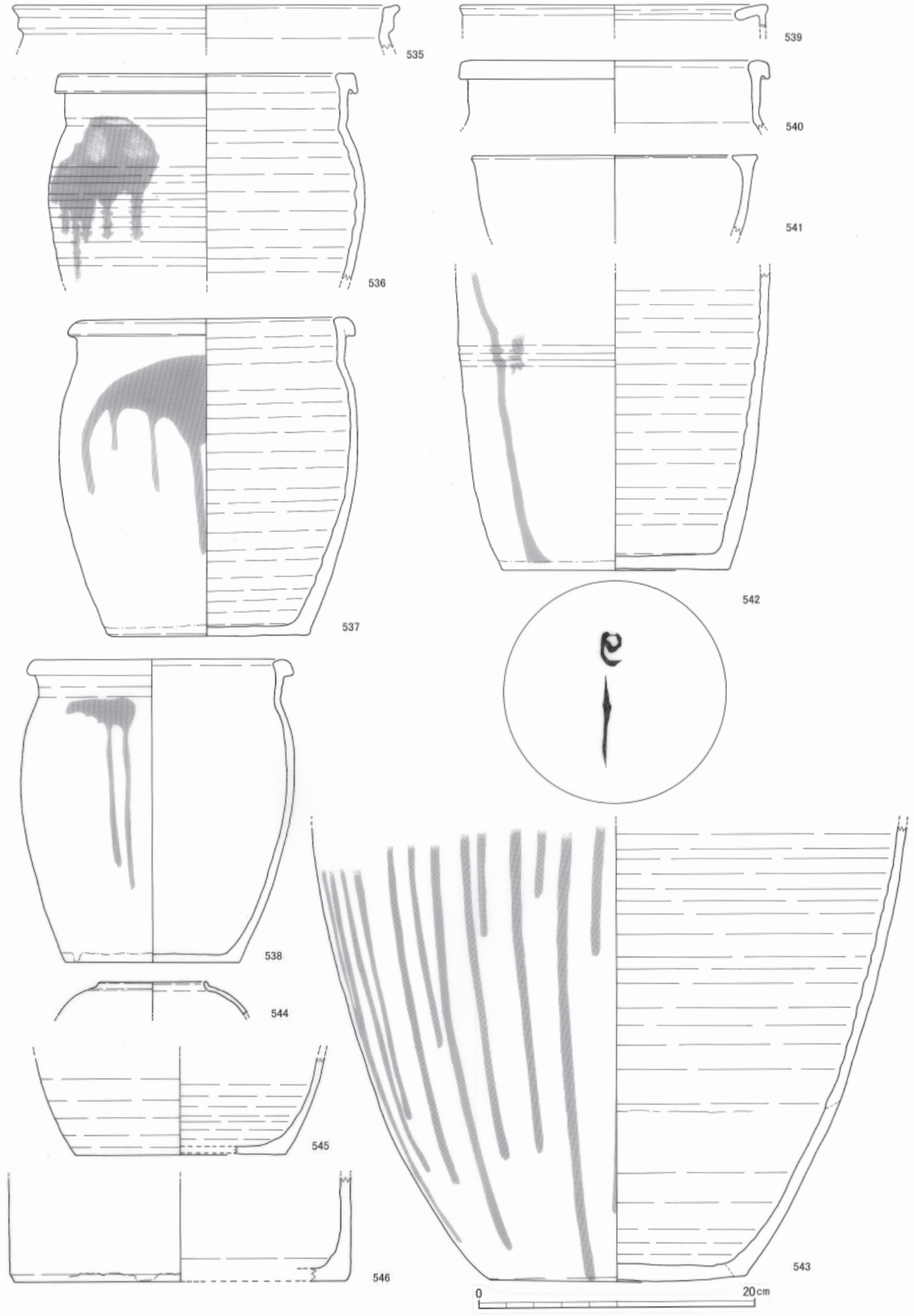
第２３図　出土遺物実測図（16）（497・505・516　拓影は１：１）

SK31



第２４図　出土遺物実測図（17）

SK31



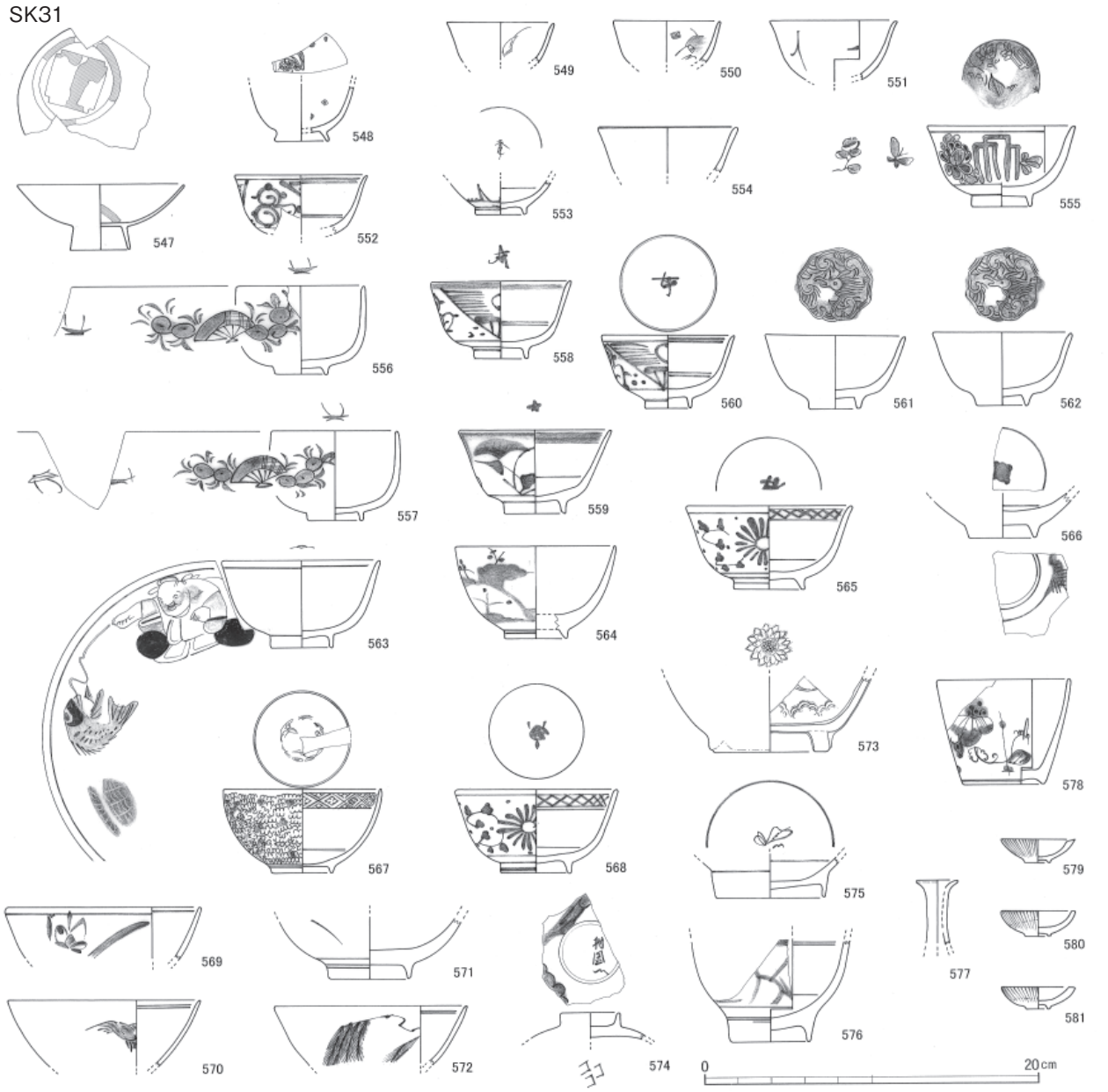
第25図　出土遺物実測図（18）

がある。673は、高台のある水甕、瀬戸の登窯第８小期のもの。675は、肥前の端反椀の蓋で龍が描かれる。19世紀前半のもの。

ピット出土遺物　土師器皿(677～679)･焙烙(680･681)・土製品（682）・陶器壺（683・684）がある。682は、西行法師をかたどった土製品。683・684は、伊賀信楽のもので中に鉄片を伴う。鉄漿壺であろう。

溝ＳＤ16出土遺物　土師器皿（685・686）・焙烙（687）がある。

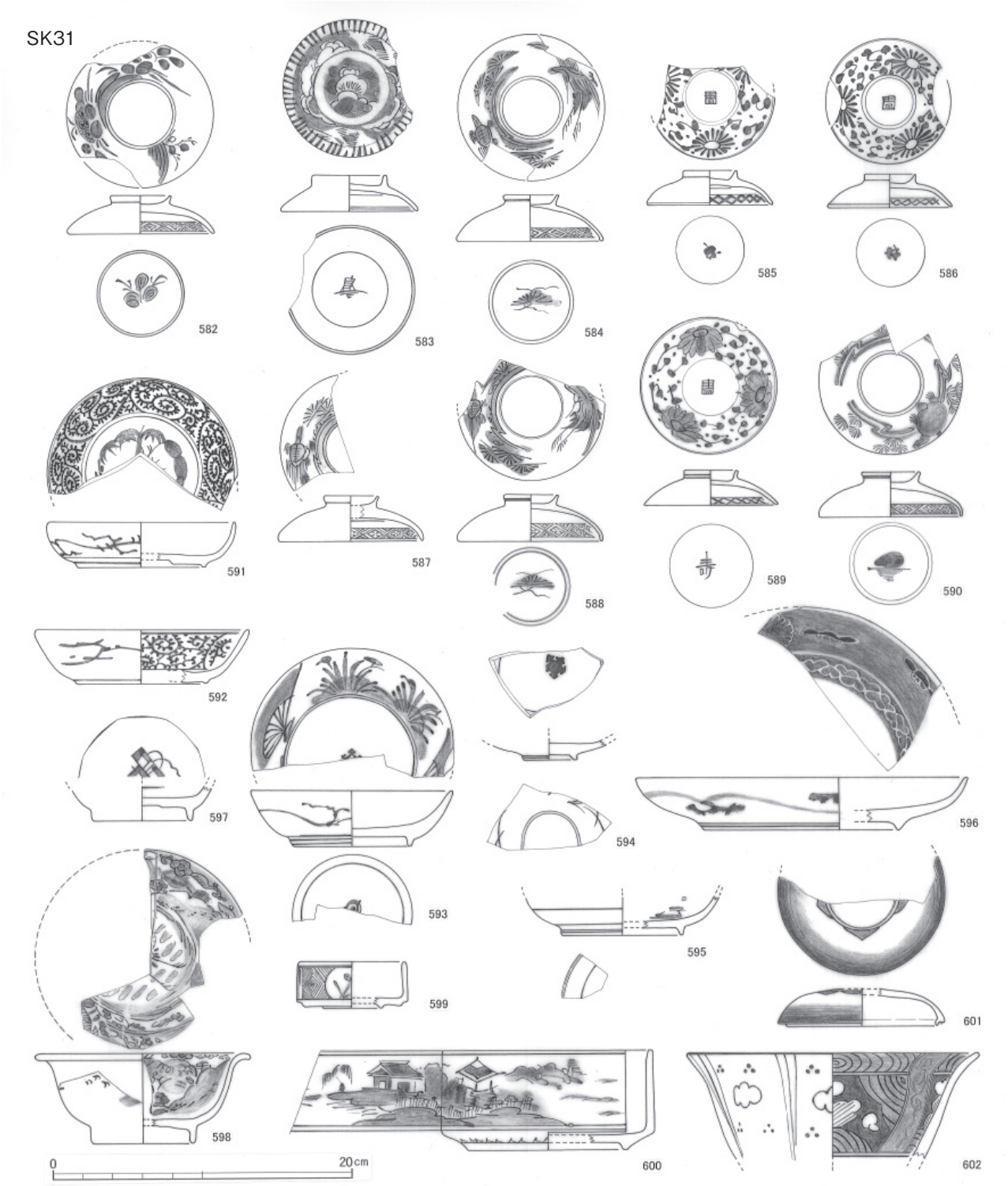
区画溝ＳＤ19出土遺物　円筒埴輪（688・689）・土師器皿（690～695）・焙烙（696）・陶器椀（697・699～703）・紅猪口（698）・灯明受皿（704）・行平鍋（706・707）・鉢（705・708）・擂鉢（709）・磁器紅皿（710）・蕎麦猪口（711）・椀（712～715・717～719）・蓋（716）・鉢（720・721）・水滴（722）がある。688・689は、６世紀中葉のもの。697は、天目茶碗で登窯第４小期である。698は肥前陶器で紅猪口、菊花文が描かれ、18世紀後半のもの。703は、刷毛目茶椀、九州唐津のものであろうか。710～721の磁器は、全て肥前のもの。710は、18世紀後半～19世紀初頭のもの。711は、白磁の蕎麦猪口で18世紀代のもの。712は白磁椀で櫛描網目文が描かれ、口縁部に異なる釉薬が施される。17世紀第２四半期のもの。713は、広東椀、18世紀末～19世紀初頭のもの。714は、外山のもので清朝磁器の影響を受けたもので19世紀前半のもの。716は、外山のもので



第２６図　出土遺物実測図（19）

株か大根が描かれる。18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。717 は、玉縁状の口縁部で 18 世紀末～ 19 世紀初頭のもの。718 は、竹や網干文が施される。18 世紀前半のもの。719 は、望料椀の蓋で青磁染付、有田の広瀬窯のもの。18世紀後半～19世紀初頭のもの。720 は、蛇の目高台を持ち、竹が描かれる。18 世紀後葉のもの。721 は、良品な 16 角形の鉢で風景が描かれる。17 世紀中葉のもの。

区画溝ＳＤ 20 出土遺物　須恵器杯蓋（723）・円筒埴輪（724）・土師器皿（725 ～ 729）・陶器灯明皿（730・734）・皿（731 ～ 733）・灯明受皿（735・736）・小鉢（737）・杯椀（738 ～ 748・751）・土鍋（749）・徳利（750）・蓋（752 ～ 754）・土瓶（755）・たばこ盆（756）・行平鍋（757 ～ 762）・練鉢（763）・擂鉢（764・765）・磁器椀（766 ～ 774）・土製品（775 ～ 777）・石硯（778・779）・鉄製品釘（780）がある。751 は、瀬戸の広東椀、



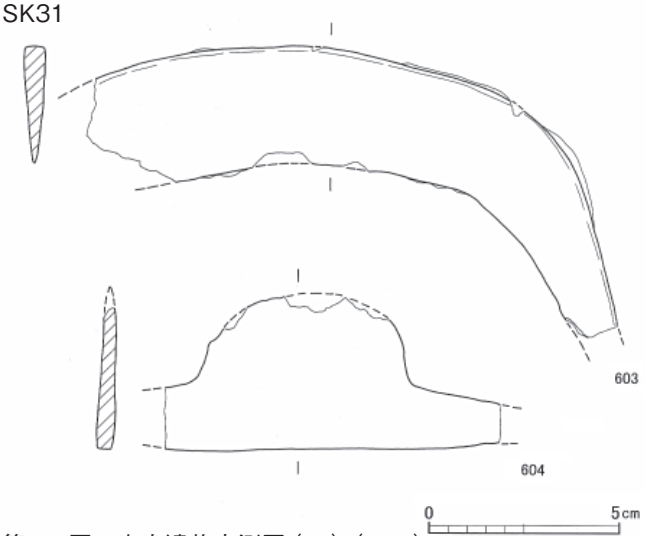
第27図　出土遺物実測図（20）

登窯10小期の18世紀末～19世紀初頭のもの。口縁部を丁寧に研磨して使用している。763は、瀬戸のもので登窯第８小期。770・773は瀬戸の磁器、他は肥前のもの。770は、登窯第10小期の19世紀第２四半期のもの。773は、大正～昭和のもの。766・767は、外山（波佐見）のもので二重格子文が描かれる。19世紀中葉のもの。768は、筒形椀で丸文に雲が描かれる。やや焼成不足のもので、18世紀後葉～19世紀初頭のもの。771は、波佐見のもので雲龍文が描かれる。19世紀中葉のもの。774は、有田の内山のもので17世紀中葉のもの。775～776は、土製品で775は、魚類を模したもの。777は、ミニチュアの土瓶。

溝ＳＤ38出土遺物　不明土製品（663）がある。

包含層出土遺物　土師器壺（781）・高杯（782・783）・須恵器壺（784）・土師器皿（785～796）・焙烙（797～805）・ろうそく立（806）・涼炉（807）・七厘（808）・陶器椀（809～824）・皿（825～831）・灯明皿（832～837）・灯明受皿（838～841）・蓋（842～846）・墨書（850）・壺（851）・加工円盤（852）・ミニチュア植木鉢（853）・土製品（854・855）・急須（856）・壺（857）・灰吹（858）・鉢（859）・匙（860）・土瓶蓋（861）・土瓶（862）・香炉（863・864）・甕（865～866・877～881）・火鉢（867）・練鉢（868～872）・擂鉢（873～876）・磁器椀（882～907・910～912）・蓋（908・909）・皿（890・903・913～917）・神酒徳利（918）・小瓶（919）・鉢（920～923）・水滴（924）がある。781～784は、古墳のものであろう。６世紀中葉のものである。806は、蝋燭立。蝋燭を立てる部分は、銅によって作られる。810は、美濃の天目茶椀で登窯４小期、811は、瀬戸の天目茶椀で登窯３小期のもの。857・859は、近代のもの。867は、瀬戸の勇右衛門窯の瓶掛で登窯９・10小期の19世紀前半のもの。884・885・889・892・896・904・909・915・923は、瀬戸の磁器、他は、肥前のものである。884は､19世紀中葉～後葉のもの。892・904は、登窯10小期のものである。904は花唐草文が描かれる。885・889・896・909・915・923は、明治～昭和のものである。882は、18世紀後半～19世紀初頭のもの。883は、波佐見のもので19世紀中葉のもの。886・898・900・905・910～912は、広東椀で18世紀末～19世紀初頭のもの。898は、小型で18世紀第３四半期のもの。900は、葉文が描かれる。905は、粗製である。911は、内面に「寿」が描かれる。912は、つる草の文様が描かれる。891・893･906は、くらわんか椀で全て18世紀後半のもの。887は、波佐見もので斜格子文が描かれる。18世紀後葉のもの。888は、松文が描かれ、18世紀前葉のもの。890は、底部のみ、皿の可能性が高い。895は、筒形椀で雪輪文が描かれる。18世紀末～19世紀初頭のもの。897は、波佐見のもので梅花文が描かれる。18世紀中葉～後葉のもの。899は、粗製の丸椀で18世紀中葉～後葉のもの。901は、粗製椀でつる草が描かれ、18世紀後葉のもの。902・907は望料椀で、902は、松葉文が描かれ、902・907共に18世紀後葉～19世紀初頭のもの。903は、波佐見のもので椀としたが皿の可能性もあろう。18世紀後半のもの。908は、広東椀の蓋で波濤文が描かれ、18世紀末～19世紀初頭のもの。913は、波佐見のもので竹籠文が描かれる。18世紀後半～19世紀初頭のもの。914は、紅葉と松葉文が描かれ、18世紀前半のもの。916は､、蛸唐草文と松竹梅文が描かれ、18世紀末～19世紀初頭のもの。917は、志田窯のもので明治期。918は､波佐見のもので19世紀前半～中葉のもの。921は、青磁染付で18世紀後半のもの。922は、美濃のどんぶり鉢とみられる。明治～大正のもの。924は、菊の文様で18～19世紀のもの。

SK31



第28図　出土遺物実測図（21）（1：2）

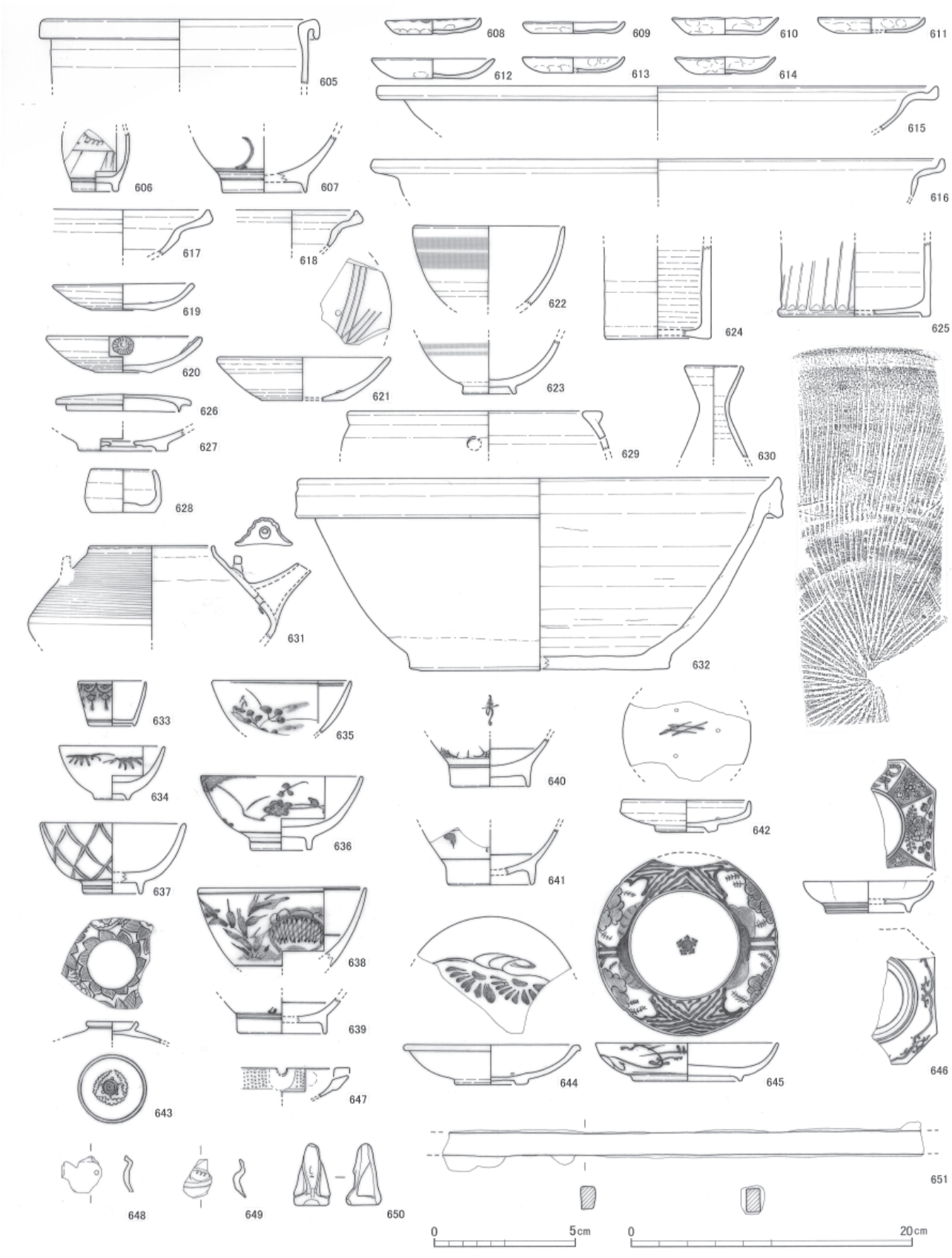
[参考文献]

・新宿区内藤町遺跡調査会「内藤町遺跡」（1992年）

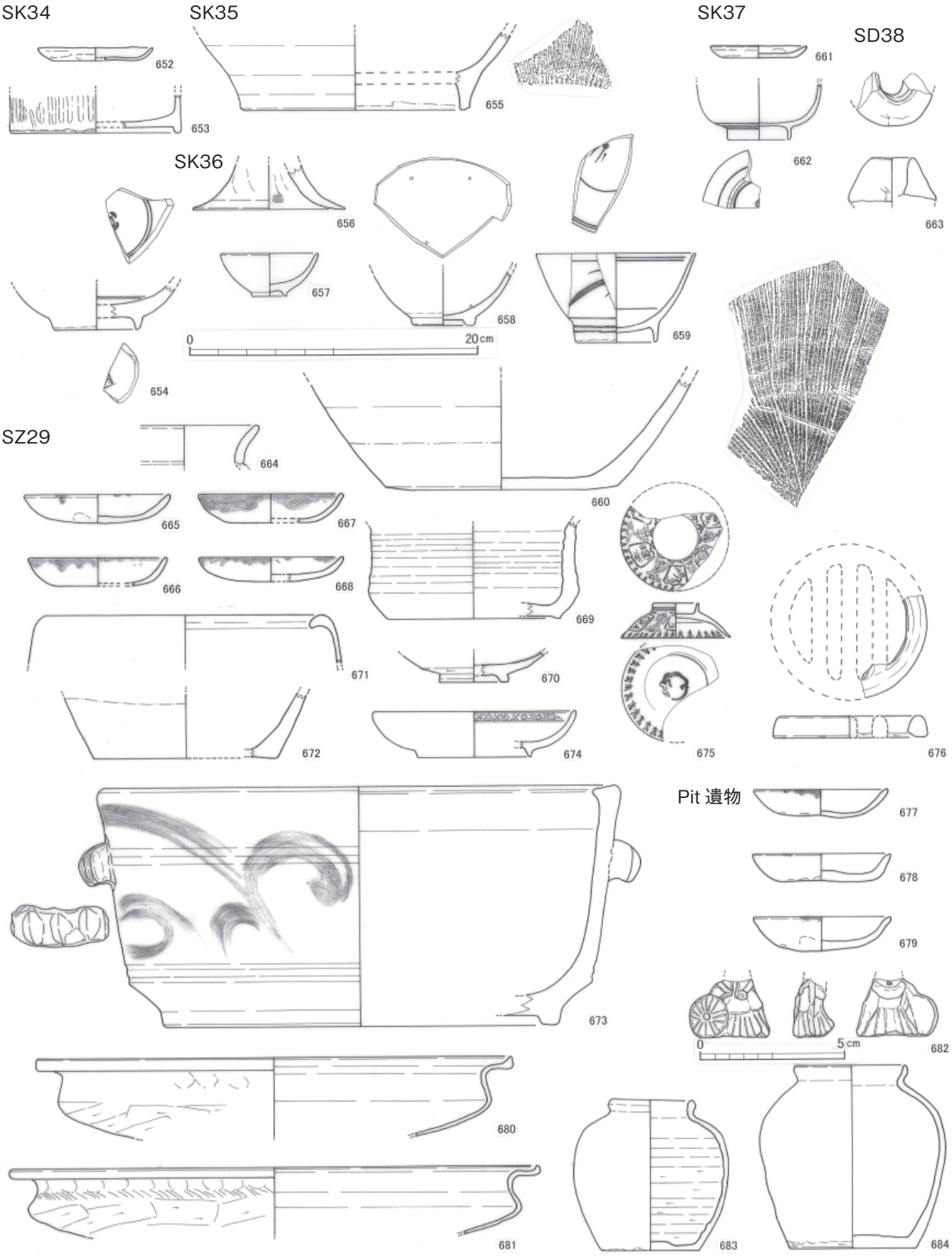
・江戸遺跡研究会「図説江戸考古学研究事典」（柏書房　2001年）

・川西宏幸「円筒埴輪総論」『古墳時代政治史序説』（1988年）

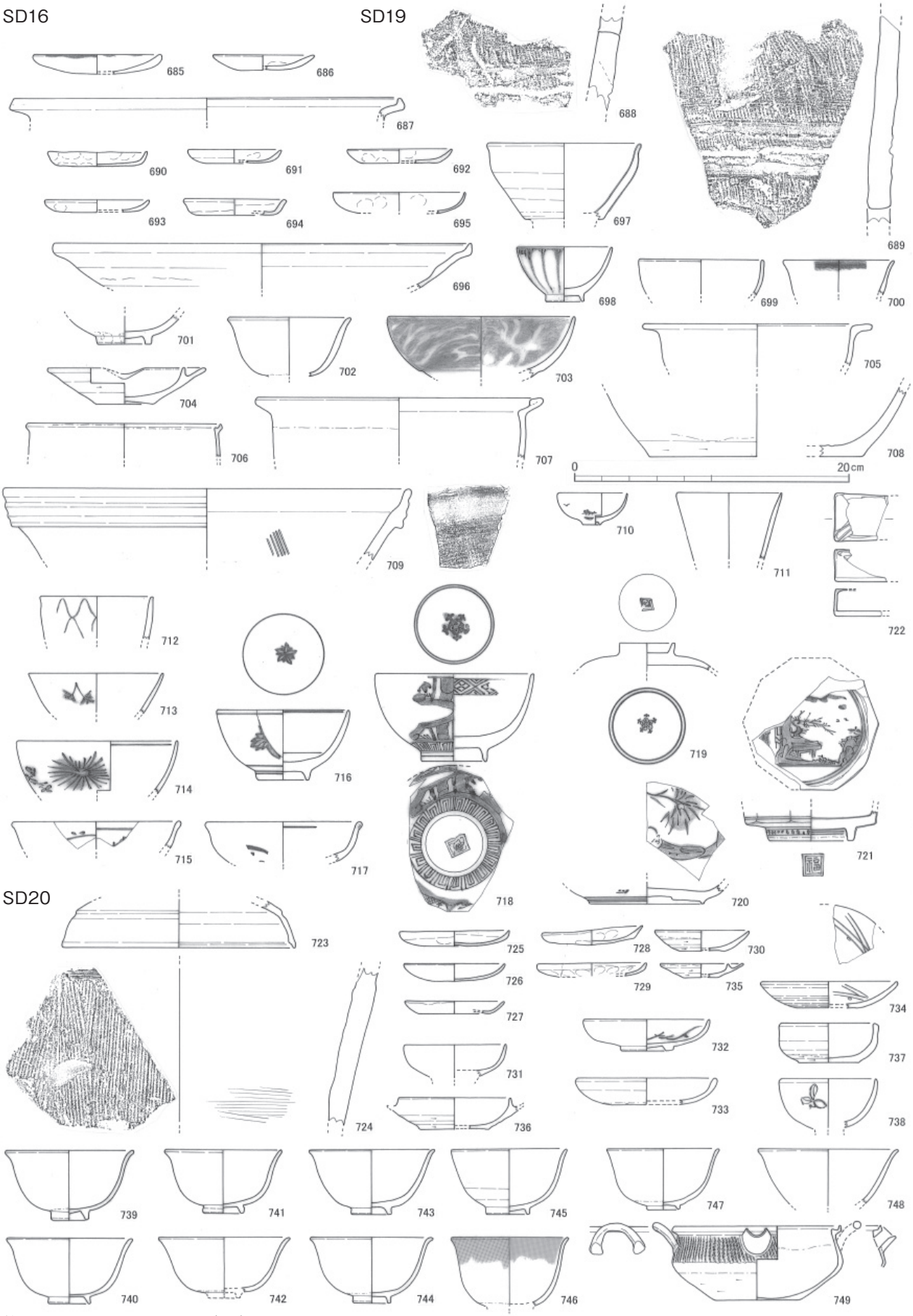
SK32　　SK33



第29図　出土遺物実測図（22）（650・651は1：2）



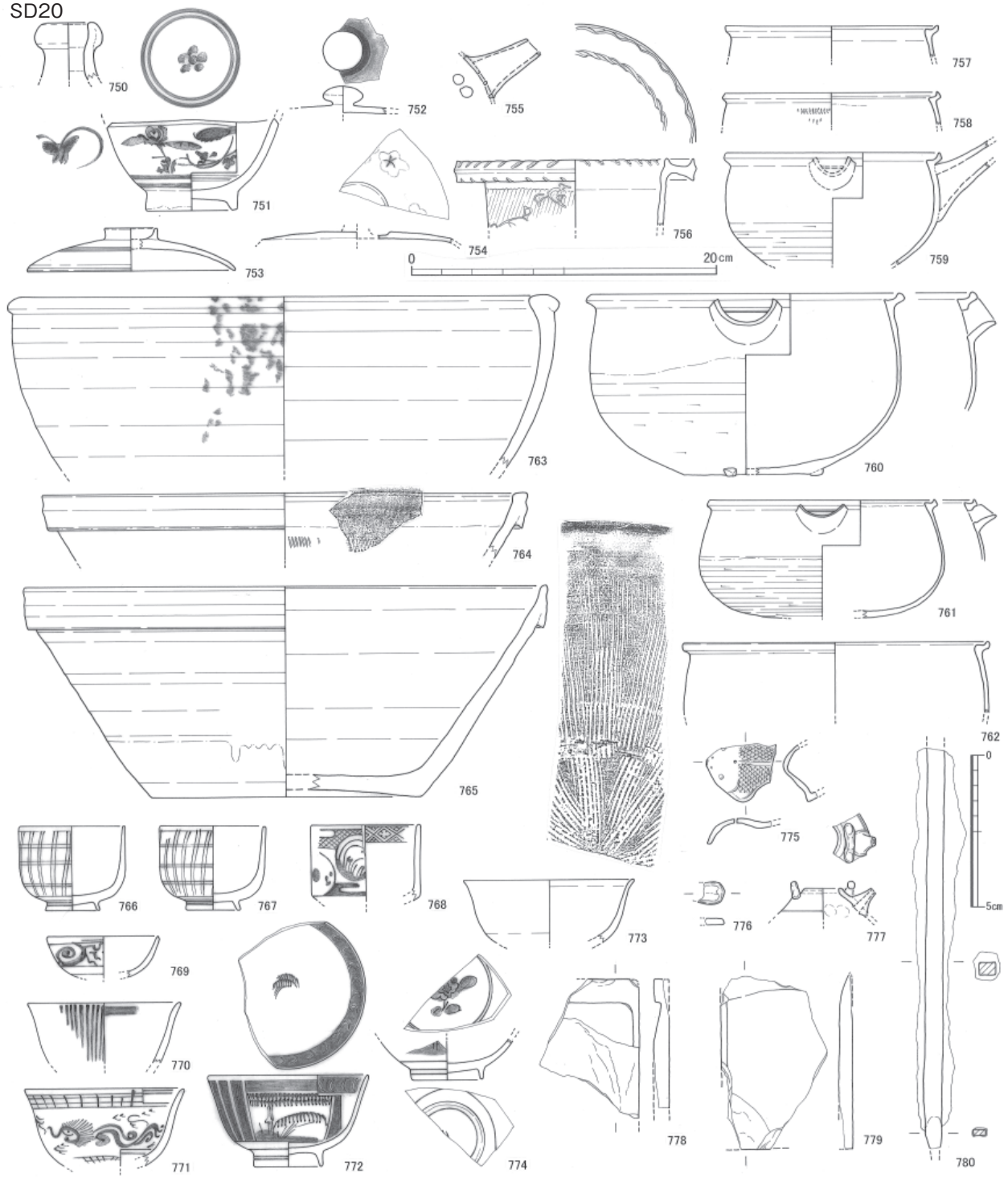
第３０図　出土遺物実測図（23）（682 は 1：2）



第31図　出土遺物実測図（24）

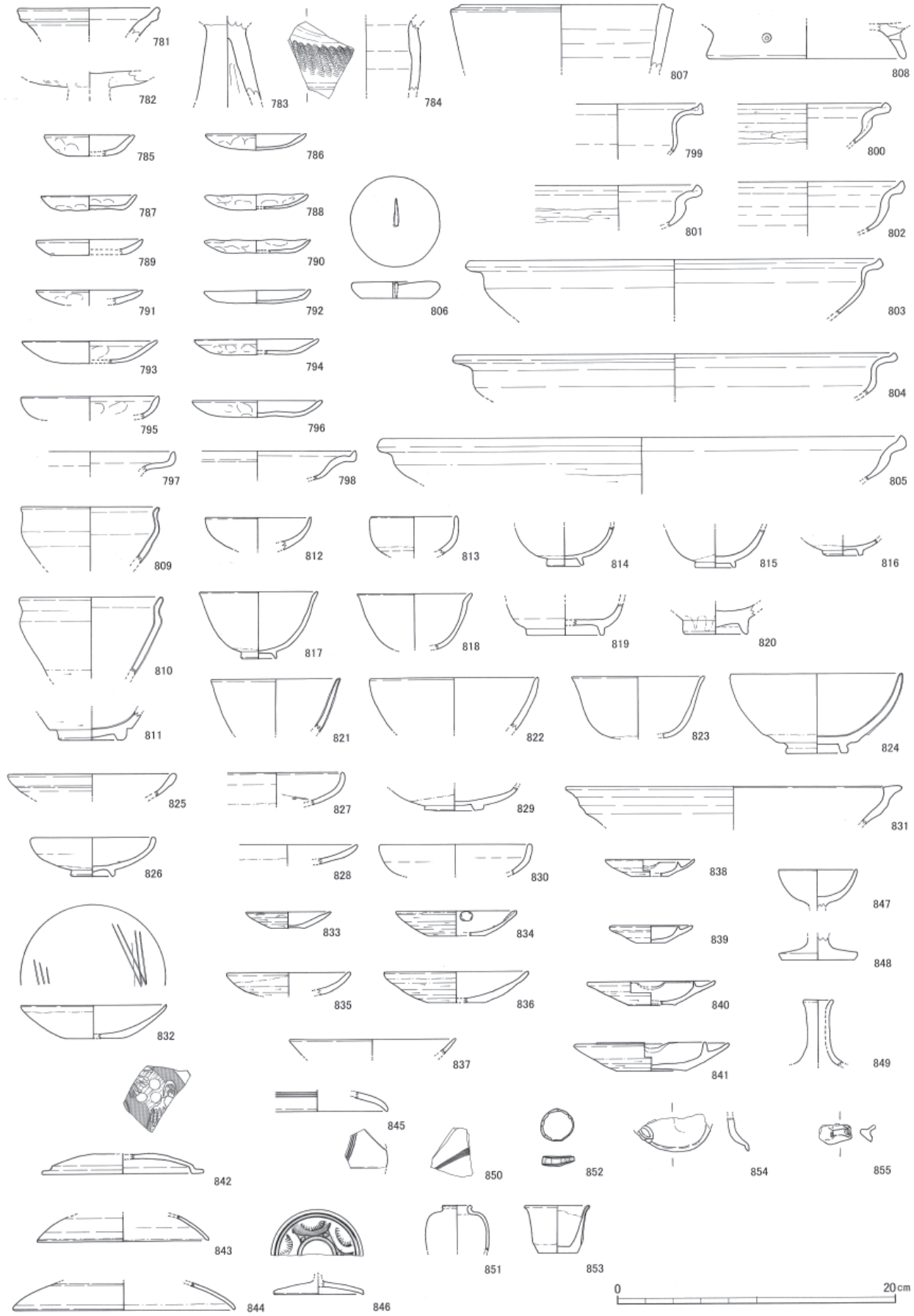
・愛知県史編さん委員会『愛知県史　別編　窯業　中世・近世　瀬戸系』（愛知県　2007 年）
・堀内秀樹「東京大学本郷構内の遺跡出土陶磁器の編年的考察」『江戸出土陶磁器・土器の諸問題Ⅱ』（江戸陶磁土器研究グループ　1966 年）
・大橋康二「肥前陶磁」（ニューサイエンス社　1988 年）
・藤澤良祐「瀬戸窯跡群」（同成社　2005 年）
・畑中英二「信楽焼の考古学的研究」（サンライズ出版　2003 年）
・畑中英二「続信楽焼の考古学的研究」（サンライズ出版　2007 年）

SD20



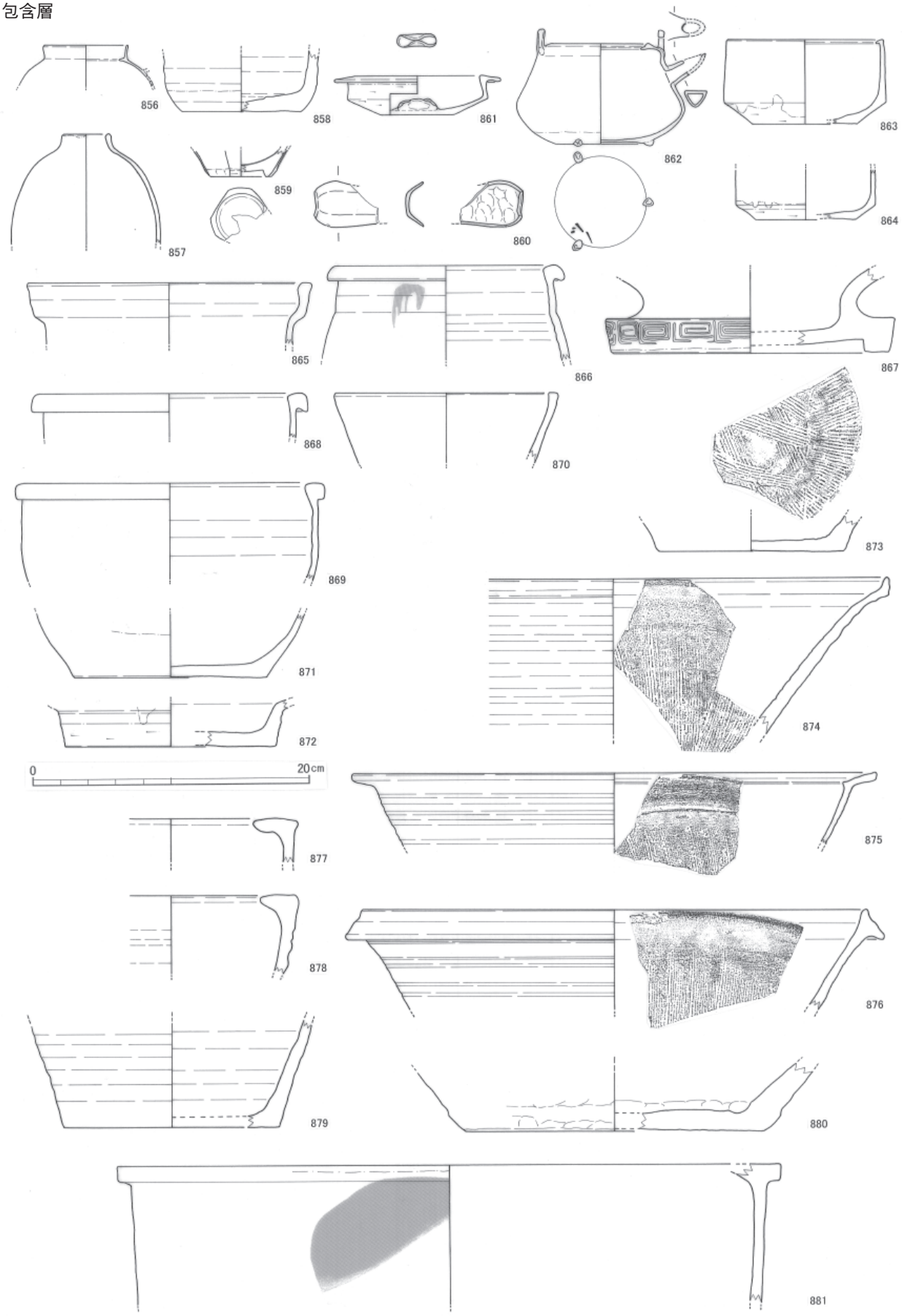
第32図　出土遺物実測図（25）（780 は 1：2）

包含層



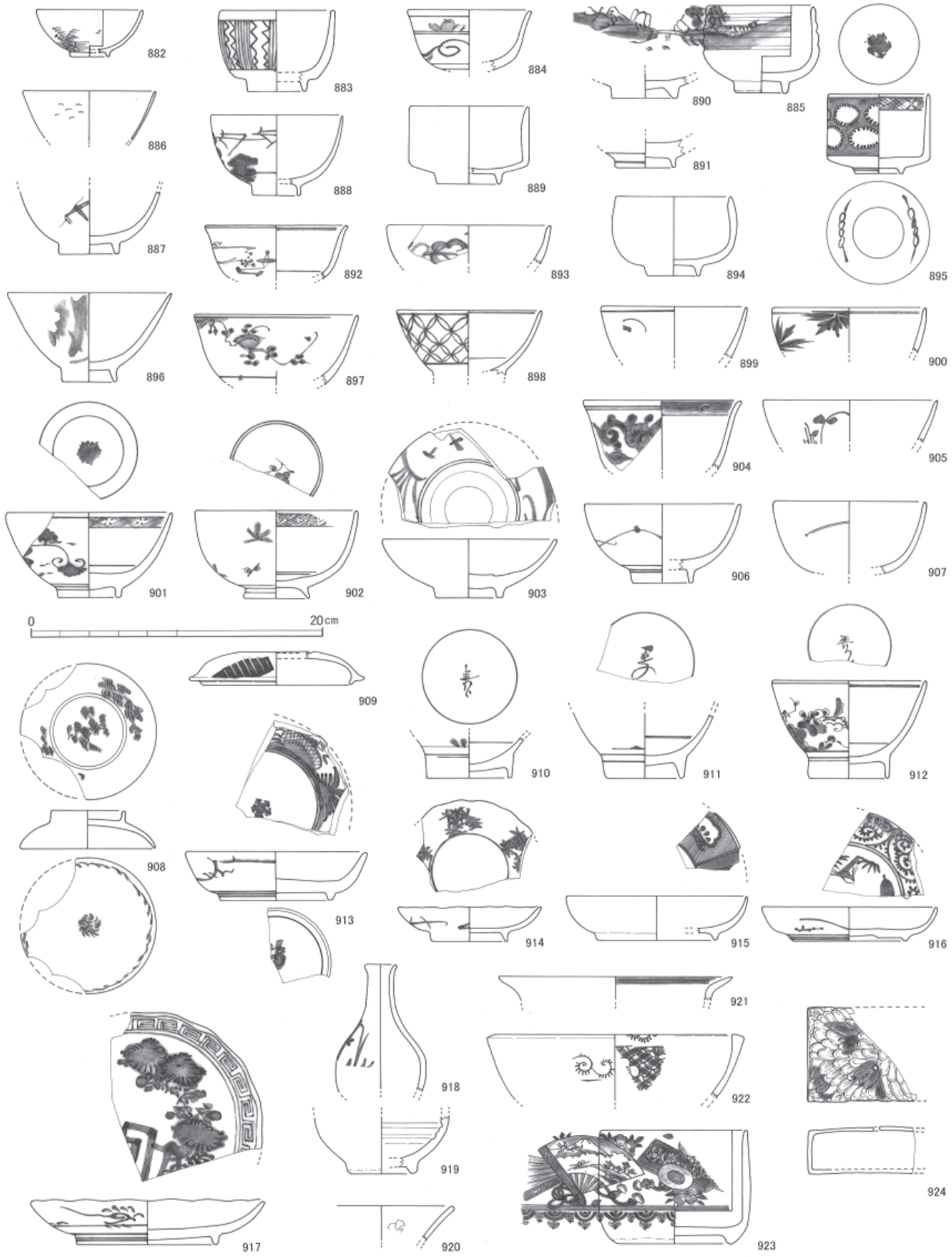
第33図　出土遺物実測図（26）

包含層



第34図　出土遺物実測図（27）

包含層



第35図　出土遺物実測図 (28)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
1	00602	土師器	壺	F13	SD9	–	–	頸部7.6	ヨコナデ・ナデ・オサエ・ミガキ	良	橙7.5YR7/6	–	良	頸部2/12	
2	00601	土師器	小型丸底鉢	F13	SD9	11.8	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部1/12	
3	00409	土師器	甕	F13	SD9	9.8	–	–	ヨコナデ	良	浅黄橙10YR8/4	–	良	口縁部2/12	
4	00407	土師器	甕	F13	SD9	16.9	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	灰黄2.5Y7/2	–	良	口縁部1/12	
5	00406	土師器	甕	F13	SD9	11.6	–	–	ヨコナデ	良	灰黄褐10YR6/2	–	良	口縁部1/12	
6	00408	土師器	甕	C14	SD9	10.6	–	–	ヨコナデ・ナデ	やや良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部1/12	
7	00404	土師器	高坏	C14	SD9	–	–	–	ナデ	やや良	にぶい赤褐5YR5/4	–	良	小片	
8	00402	須恵器	蓋	G13	SD9	17.1	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや良	灰N5/	–	良	口縁部1/12	
9	00311	須恵器	蓋	G13	SD9	–	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	不良	灰N5/	–	良	天井部6/12	
10	00304	須恵器	蓋	C14	SD9	–	–	体部径9.4	ロクロナデ・ロクロケズリ	良	灰N5/	–	良	天井部3/12	
11	00307	須恵器	蓋	F11	SD9	–	–	体部径9.6	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや良	灰5Y5/1	–	良	天井部3/12	
12	00309	須恵器	蓋	G11	SD9(1号墳周溝)	–	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや不良	灰N5/	–	良	天井部	
13	00310	須恵器	蓋	G13	SD9	–	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	不良	灰N5/	–	良	天井部	
14	00303	須恵器	杯身	G12	SD9	–	–	–	ロクロナデ	良	灰N5/	–	良	鍔部小片	
15	00305	須恵器	杯身	C14	SD9	–	–	–	ロクロナデ	良	灰N5/	–	良	口縁部小片	
16	00302	須恵器	杯身	F13	SD9	13.0	–	–	ロクロナデ	良	灰N4/	–	良	口縁部1/12	
17	00306	須恵器	杯身	F11	SD9	12.4	–	–	ロクロナデ	良	灰N4/	–	良	1/12	
18	00301	須恵器	杯身	F13	SD9	12.6	–	–	ロクロナデ	良	灰N4/	–	良	口縁部3/12	
19	00202	須恵器	杯身	G12	SD9(1号墳周溝)	12.4	–	–	ロクロナデ	良	灰N5/	–	良	口縁部3/12	
20	00308	須恵器	杯身	F11	SD9	–	–	9.6	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや不良	灰5Y5/1	–	良	底部3/12	
21	00401	須恵器	高坏	G13	SD9	–	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	良	灰N4/	–	良	天井部小片	
22	00201	須恵器	高坏	C14	SD9	–	–	脚柱径7.0	ロクロナデ	良	灰N5/	–	良	脚柱部9/12	透孔2
23	00204	須恵器	直口壺	G11	SD9	11.2	–	–	ロクロナデ・波状文	良	暗灰N3/	–	良	口縁部2/12	
24	00203	須恵器	長頸壺	G11	SD9	–	–	体部径14.4	ロクロナデ・カキメ・刺突文・沈線	良	灰N6/	–	良	頸部7/12	
25	00205	須恵器	広口壺	G13	SD9(1号墳周溝)	–	–	体部径14.4	ロクロナデ・タタキ・オサエ・ケズリ	良	灰N4/	–	良	体部8/12	
26	00101	須恵器	提瓶	C14	SD9	6.8	22.8	–	ロクロナデ・タタキ・ナデ	やや良	灰N5/	–	良	10/12	
27	00206	須恵器	提瓶	G13	SD9	–	–	–	ロクロナデ・カキメ	やや不良	灰7.5Y5/1	–	良	体部4/12	
28	00403		円筒埴輪	C14	SD9	–	–	–	ハケ・オサエ	やや不良	橙5YR6/6	–	良	小片	
29	00405	手捏土器		F14	SD9	6.6	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄褐10YR5/3	–	良	口縁部2/12	
30	00501	土師器	皿	C14	SD9	7.2	1.2	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部3/12	
31	00502	土師器	灯明皿	F13	SD9	8.9	1.5	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部7/12	油煙
32	02505	須恵器	蓋	F8	SD24	15.4	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	良	灰N5/	–	良	口縁部3/12	
33	02504	須恵器	蓋	F8	SD24	–	–	鍔径13.6	ロクロナデ・ロクロケズリ	良	灰N5/	–	良	鍔部1/12	
34	02503	土師器	甑把手	F4	SD27	–	–	–	ナデ・オサエ・ハケ	不良	橙7.5YR6/6	–	良	把手のみ	
35	02502	土師器	高坏	E4	SD27	–	–	–	摩耗により調整不明・絞り痕	やや不良	浅黄橙10YR8/3	–	良	脚柱部完存	透孔2残
36	03004	土師器	皿	F10	SK1	9.0	1.6	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	6/12	
37	03203	土師器	皿	G10	SK1	8.6	2.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	9/12	
38	03005	土師器	皿	F10	SK1	9.6	2.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	4/12	
39	03204	土師器	皿	G10	SK1	8.9	2.0	–	ナデ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	11/12	
40	03205	土師器	皿	G10	SK1	–	–	–	ナデ	良	明黄褐10YR7/6	–	良	小片	墨書
41	03003	土師器	焙烙	F10	SK1	39.0	–	–	ナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
42	03002	土師器	焙烙	F10	SK1	39.4	–	–	ナデ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
43	03102	陶器	中椀	F10	SK1	11.6	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部2/12	瀬戸美濃
44	03207	陶器	小甕	G10 G11	SK1 SK2	10.4	6.5	9.0	ロクロナデ・ヘラ切り・施釉(灰釉)	良	淡黄2.5Y8/3	灰白2.5Y8/3	不良	4/12	
45	03206	陶器	小甕	G10	SK1	–	–	12.6	ロクロナデ・ヘラ切り・施釉(鉄釉)	不良	黄灰2.5Y6/1	暗褐10YR3/4	良	底部2/12	
46	03301	陶器	中壺	G10	SK1	17.0	–	–	施釉(鉄釉)	やや不良	灰白5Y7/1	褐7.5YR4/4	良	口縁部3/12	
47	03001	陶器	擂鉢	F10	SK1西部	33.0	–	–	施釉・櫛目(10本)	良	灰白2.5Y8/2	暗赤褐2.5YR3/3	良	口縁部1/12	口縁外帯三段・信楽
48	02901	陶器	擂鉢	F3	SK1	32.0	11.0	17.0	施釉・ヘラ切り・櫛目(12本)	良	浅黄橙10YR8/3	褐10YR4/4	良	ほぼ完存	口縁外帯三段・信楽
49	02902	陶器	擂鉢	F10	SK1	30.0	–	–	ロクロナデ・施釉・櫛目(6本)	良	明褐灰7.5YR7/2	にぶい赤褐2.5YR4/3	良	口縁部1/12	口縁無装飾・信楽
50	03201	陶器	擂鉢	F10	SK1西部	30.4	13.7	13.1	ロクロナデ・施釉・櫛目(5本)	やや不良	灰白7.5Y7/1	暗赤灰5R4/1	良	1/12	信楽
51	03103	磁器	椀	F10	SK1	9.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・半球形
52	03104	磁器	椀	F10	SK1	–	–	4.0	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部2/12	瀬戸？
53	03208	磁器	中椀	G10	SK1	10.6	–	–	施釉	良	明緑灰7.5GY8/1	青灰5B6/1	良	口縁部2/12	肥前
54	03202	磁器	中椀	F11	SK1東部	10.8	5.5	4.0	施釉・削り出し高台	良	明緑灰7.5GY8/1	暗青灰5B4/1	良	3/12	肥前・丸形
55	03105	磁器	小皿	F10 H13	SK1西部 SK7	12.4	3.1	7.6	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	3/12	肥前・輪禿皿
56	03101	石製品	硯	F10	SK1	(3.8)×6.6×1.7		–		良	灰N4/	–	良	小片	
57	03401	土師器	灯明皿	G11	SK2	10.0	1.7	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	8/12	油煙
58	03402	土師器	焙烙	G11	SK2	32.0	–	–	ヨコナデ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部1/12	無耳内外面煤付着
59	03303	土師器	焙烙	G12	SK2	34.2	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部2/12	内外面煤付着
60	03403	陶器	天目茶椀	G11	SK2	9.8	–	–	施釉(鉄釉)	良	褐灰10YR6/1	暗褐10YR3/3	良	口縁部1/12	
61	03404	陶器	椀	G11	SK2	–	–	4.5	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉(鉄釉)	良	にぶい橙7.5YR7/4	黒10YR2/1	良	底部完存	
62	03605	陶器	椀	G11	SK2	–	–	4.6	施釉(灰釉)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5GY8/1	良	底部10/12	
63	03701	陶器	大皿	G11	SK2	22.0	7.2	7.2	施釉(灰釉)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/1	灰10Y6/1・紅・緑・白	良	2/12	
64	03606	陶器	火入	G11	SK2	14.0	–	–	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y8/1	良	口縁部1/12	伊賀か信楽
65	03302	陶器	鉢	G12	SK2	13.9	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y7/2	良	口縁部2/12	伊賀か信楽
66	03501	陶器	鉢	G11	SK2	–	–	10.8	ロクロナデ・ロクロケズリ・ヘラ切り・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/1	良	底部6/12	
67	03502	陶器	鉢	G11 G12	SK2 SK11	11.2	7.1	10.8	ロクロナデ・ナデ・施釉(灰釉)	良	灰白N8/	白	良	5/12	
68	03406	陶器	鉢	G11	SK2			10.4	ヘラナデ・施釉	良	浅黄橙7.5YR8/3	灰黄褐10YR4/2	良	底部3/12	
69	03503	陶器	鉢	G11	SK2	–	–	10.0	ナデ・施釉(灰釉)	良	灰白N8/	白	良	底部1/12	伊賀か信楽
70	03405	陶器	甕	G11	SK2	–	–	14.0	ロクロナデ・ヘラ切り・施釉(灰釉)	良	灰白2.5YR8/1	灰白7.5YR8/1	良	底部3/12	伊賀か信楽
71	03304	陶器	小甕	G12	SK2	7.7	5.9	6.2	ロクロナデ・施釉	やや不良	灰白5Y7/1	灰白5Y7/2	良	3/12	信楽か伊賀
72	03305	陶器	擂鉢	G12	SK2	30.0	–	–	ロクロナデ・櫛目(6本)	やや不良	暗褐7.5YR3/3	–	良	口縁部2/12	信楽
73	03601	磁器	小杯	G11	SK2	–	–	2.8	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部7/12	肥前・丸形
74	03603	磁器	小椀	G11	SK2	8.0	4.7	3.4	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉	良	2/12	肥前・丸形
75	03505	磁器	中椀	G11	SK2	10.8	5.2	3.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前・浅半球形
76	03504	磁器	中椀	G11	SK2	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	口縁部2/12	肥前・丸形
77	03602	磁器	中椀	G11	SK2	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	口縁部2/12	白磁・肥前・丸形
78	03506	磁器	椀	G11	SK2	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部3/12	肥前・丸形
79	03604	磁器	皿	G11	SK2	–	–	4.4	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	明緑灰7.5GY8/1	良	底部6/12	輪禿皿・青磁・肥前
80	03801	須恵器	蓋	G12	SK3	–	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	良	灰N5/	–	良	天井部2/12	

第２表　出土遺物観察表 (1)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
81	03802	土製品	大黒天	G12	SK3	(1.9×1.6×0.7)		重さ(1.8g)	型押	良	にぶい赤褐5YR5/3	–	良	顔面のみ	顔面赤彩
82	03803	土師器	皿	F12	SK4	8.8	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	内・断面煤付着
84	03804	土師質	七厘	F12	SK4	–	–	15.8	ロクロナデ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	底部5/12	焼成前穿孔2残
83	03810	土師器	焙烙	F12	SK4	39.7	–	–	ヨコナデ・ケズリ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
85	03805	陶器	鉢	F12	SK4	31.4	–	–	施釉(鉄釉)	良	灰黄2.5Y7/2	褐7.5YR4/3	良	口縁部1/12	
86	03807	土師器	皿	F13	SK5	7.4	0.9	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	
87	03808	土師器	皿	F13	SK5	8.0	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	
88	03809	土師器	皿	F13	SK5	9.0	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部2/12	
89	03806	土師器	皿	F13	SK5	9.5	1.4	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR7/6	–	良	6/12	
90	03901	土師器	焙烙	F13	SK5	35.4	–	–	ヨコナデ・ケズリ	良	にぶい褐7.5YR5/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
91	03902	陶器	猪口	F13	SK5	4.6	2.8	2.5	ロクロナデ・貼付高台ナデ	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	10/12	伊賀
92	03903	陶器	椀	F13	SK5	–	–	4.9	ロクロケズリ・施釉(灰釉)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/2	浅黄5Y7/3	良	底部完存	
93	03904	陶器	甕	F13	SK5	–	–	12.0	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白5Y7/1	灰白5Y7/2	良	底部1/12	底部砂粒痕
94	03905	土師器	小型丸底壺	G13	SK6	8.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部1/12	
95	03906	陶器	壺	H13	SK6	–	–	4.0	ロクロナデ・施釉(灰釉)・ナデ?糸切痕	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y7/1	良	底部6/12	
96	04002	土師器	焙烙	H13	SK7	34.8	–	–	ヨコナデ・ケズリ・ハケ?	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
97	04001	土師器	焙烙	H13	SK7	36.6	–	–	ヨコナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
98	04103	陶器	天目茶碗	H13	SK7	9.6	–	–	施釉(鉄釉)	良	黄灰2.5Y6/1	黒褐10YR3/2	良	口縁部1/12	瀬戸美濃
99	04003	陶器	椀	H13	SK7	–	–	5.0	施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y8/2	良	底部完存	
100	04202	陶器	灯明受皿	H13	SK7	11.2	2.0	4.8	ロクロナデ・ロクロケズリ後ナデ・施釉	良	灰白5Y7/1	灰オリーブ5Y6/2	良	底部完存	信楽・油溝半月状重ね焼き痕
101	04004	陶器	鉢	H13	SK7	17.8	–	–	施釉	やや良	灰白2.5Y8/2	灰黄2.5Y7/2	良	口縁部1/12	
102	04104	陶器	鉢	H13	SK7	–	–	13.6	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(鉄釉)	良	にぶい橙7.5YR7/3	暗褐10YR3/3	良	底部3/12	信楽か伊賀
103	04102	陶器	擂鉢	H13	SK7	24.8	–	–	施釉(鉄釉)・櫛目	良	灰白5Y8/1	にぶい赤褐5YR4/3	良	口縁部1/12	信楽・口縁外帯三段
104	04201	陶器	擂鉢	H13	SK7	–	–	11.8	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや良	灰白2.5Y8/2	–	良	底部3/12	信楽
105	04401	陶器	甕	H13	SK7	63.0	–	–	施釉(鉄釉)	やや良	灰5Y6/1	褐灰5YR4/1	良	口縁部4/12	信楽
106	04101	陶器	練鉢	H13	SK7	24.4	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	浅黄2.5Y7/3・緑	良	口縁部1/12	瀬戸美濃
107	04204	磁器	中椀	H13	SK7	11.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・焼継痕・丸形
108	04303	磁器	中椀	H13	SK7	10.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・浅半球形
109	04302	磁器	五寸皿	H13	SK7	13.8	3.0	8.6	施釉	良	灰白N8/	明緑灰10GY8/1・藍	良	底部1/12	肥前・丸形
110	04301	磁器	五寸皿	H13	SK7	14.0	3.6	5.2	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	明緑灰7.5GY8/1	良	6/12	肥前・重ね焼き痕・端反形
111	04205	磁器	皿	H13	SK7	–	–	9.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	底部2/12	肥前・白磁
112	04203	石製品	砥石	H13	SK7	4.4×2.0×0.9	–	13.6g	–	–	–	–	–	–	
113	04503	土師器	皿	F14	SK8	9.0	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR6/3	–	良	口縁部2/12	口縁部煤付着?
114	04501	土師器	焙烙	F14	SK8	32.6	–	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
115	04502	土師器	焙烙	F13	SK8	34.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部1/12	
116	04602	土師器	皿	G14	SK10	8.2	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部1/12	
117	04504	土師器	皿	G14	SK10	–	–	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部小片	
118	04601	陶器	擂鉢	G14	SK10	25.0	–	–	施釉(鉄釉)・櫛目(6本)	良	灰白5Y7/1	褐7.5YR4/4	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
119	04603	銅製品	煙管	G14	SK10	(1.9)×1.2×(1.5)		(1.8g)		–	–	–	–	–	
120	19405	鉄製品	釘	G14	SK10	8.4	0.85	–	–	–	–	–	–	–	
121	19406	鉄製品	兵庫鎖	G14	SK10	9.4	–	–	–	–	–	–	–	–	
122	05304	須恵器	杯蓋	G12	SK11	–	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや良	灰7.5Y5/1	–	良	1/12	
123	05303	須恵器	杯身	G12	SK11	–	–	鋲径13.7	ロクロナデ	やや良	黄灰2.5Y6/1	–	良	つば部1/12	
124	05302	須恵器	杯身	G12	SK11	11.4	–	–	ロクロナデ	やや良	灰7.5Y5/1	–	良	口縁部1/12	
125	05306	土師器	皿	G12	SK11	8.0	1.7	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	5/12	
126	05401	土師器	皿	G12	SK11	9.6	1.8	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	5/12	底部穿孔1
127	05402	土師器	皿	G12	SK11	8.0	1.4	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR6/3	–	良	3/12	
128	05305	土師器	皿	G12	SK11	8.3	1.3	–	ナデ・オサエ	良	暗灰黄2.5Y5/2	–	良	3/12	
129	05403	土師器	皿	G12	SK11(P13)	8.8	1.7	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/4	–	良	ほぼ完存	
130	04701	土師器	皿	F12	SK11	9.0	–	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	口縁部1/12	
131	05406	土師器	焙烙	G12	SK11	33.8	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部8/12	外面煤付着
132	05501	土師器	焙烙	G12	SK11	37.6	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
133	05801	土師器	焙烙	G12	SK11	36.0	–	–	ヨコナデ・ナデ	やや良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部7/12	外面煤付着
134	05701	土師器	焙烙	G12	SK11(P3)	34.5	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや良	明褐7.5YR5/6	–	良	口縁部10/12	内外面煤付着
135	05702	土師器	焙烙	G12	SK11(P4)	35.6	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	にぶい褐7.5YR5/4	–	良	口縁部5/12	内外面煤付着
136	05405	土師器	焙烙	G12	SK11	37.7	–	–	ヨコナデ・ケズリ	やや良	橙7.5Y6/6	–	良	口縁部2/12	内外面煤付着
137	05603	土師器	焙烙	F12	SK11	37.6	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや良	明褐7.5YR5/6	–	良	口縁部5/12	内外面煤付着
138	05601	土師器	焙烙	G12	SK11(P9)	37.8	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部3/12	内外面煤付着
139	05503	土師器	焙烙	G12	SK11(P6)	40.0	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや良	にぶい黄橙10YR6/4	–	良	口縁部6/12	内外面煤付着
140	05703	土師器	焙烙	G12	SK11(P4)	39.0	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部2/12	内外面煤付着
141	05602	土師器	焙烙	G12	SK11(P1)	38.8	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部4/12	内外面煤付着
142	05502	土師器	焙烙	G12	SK11(P2)	38.8	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部2/12	外面煤付着
143	06002	陶器	天目茶碗	G12	SK11(P11)	–	–	4.7	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/1	黒N2/	良	底部完存	瀬戸美濃
144	06003	陶器	小椀	G12	SK11(P15)	7.6	4.6	3.6	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉(鉄釉)	良	灰白5Y8/1	暗褐10YR3/3	良	6/12	美濃・筒丸形
145	04802	陶器	小椀	F12	SK11	8.8	4.9	3.9	施釉・削り出し高台	やや良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	底部完存	瀬戸・丸形
146	04902	陶器	小椀	G12	SK11	9.0	–	–	施釉	良	灰白N7/	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	口縁部1/12	筒丸形
147	04904	陶器	椀	G12	SK11	–	–	4.4	ロクロナデ・削り出し高台・施釉(灰釉)	良	灰白10YR8/1	灰白2.5GY8/1	良	底部8/12	瀬戸
148	04903	陶器	椀	G12	SK11	–	–	4.4	ロクロナデ・施釉・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/1	オリーブ黄7.5Y6/3 暗紫灰5RP4/1 暗緑灰5G4/1	良	4/12	肥前
149	04906	陶器	椀	G12	SK11	–	–	4.8	施釉・削り出し高台	良	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/3	良	底部3/12	肥前・刷毛目椀
150	06004	陶器	椀	G12	SK11(P8)	–	–	3.6	施釉	良	にぶい橙5YR6/4	灰褐5YR5/2 灰白10YR8/1	良	底部5/12	
151	05905	陶器	中椀	G12	SK11(P14)	11.4	4.9	4.0	施釉・削り出し高台	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	5/12	輪禿・丸形
152	05802	陶器	中椀	G12	SK11	10.0	–	–	施釉(灰釉・氷割文)	良	灰白2.5Y7/1	灰白7.5YR8/1	良	口縁部3/12	丸形
153	05001	陶器	中椀	G12	SK11	10.6	7.4	5.2	施釉(灰釉)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y7/2	良	6/12	瀬戸・腰張形
154	04801	陶器	中椀	F14	SK11	9.6	–	–	施釉(灰釉・氷割文)	やや良	灰白5Y8/1	浅黄5Y7/3	良	口縁部5/12	瀬戸美濃・腰張形
155	04907	陶器	中椀	G12	SK11	9.6	6.0	4.2	ロクロナデ・施釉(氷割文)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	10/12	瀬戸
156	04804	陶器	中椀	F14	SK11	12.8	–	–	施釉	良	淡黄2.5Y8/3	透明釉	良	口縁部2/12	浅半球形
157	05903	陶器	小皿	G12	SK11(P10)	12.2	2.8	6.0	ロクロケズリ・施釉(灰釉)・貼付ナデ	良	灰白5Y8/1	灰白5Y8/2・緑	良	5/12	輪禿皿・瀬戸・端反形
158	05803	陶器	小皿	G12	SK11	13.1	2.2	5.6	施釉(灰釉・氷割文)	良	灰白2.5Y8/1	灰白7.5Y8/1	良	口縁部2/12	瀬戸美濃・端反形
159	04901	陶器	灯明受皿	G12	SK11(P5・16)	12.0	1.8	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	橙5YR6/8	透明釉	良	4/12	油溝半月形

第３表　出土遺物観察表 (2)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
160	05904	陶器	鉢	G12	SK11	–	–	6.8	施釉(灰釉)	良	灰5Y6/1	灰白2.5GY8/1	良	底部 4/12	肥前
161	05004	陶器	中皿	G12	SK11	20.0	–	–	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y7/1	瑠璃釉	良	2/12	輪禿皿・肥前・木盃形
162	05806	陶器	小壺	G12	SK11	6.4	–	–	ロクロナデ	良	灰白5Y8/1	–	良	口縁部 2/12	肩衝形
163	05805	陶器	壺	G12	SK11	–	–	6.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・ナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/1	灰白10Y8/1	良	底部 2/12	伊賀か信楽
164	05804	陶器	火入	G12	SK11	8.0	–	–	ロクロナデ・施釉(灰釉・氷割文)	良	灰白2.5Y7/1	白	良	口縁部 3/12	伊賀か信楽
165	04702	陶器	火入	F12	SK11	11.8	7.2	9.0	ナデ・ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5YR8/2	良	4/12	伊賀か信楽・半筒形
166	05404	陶器	火入	F14	SK11	12.1	7.7	9.2	ロクロナデ・ケズリ・ナデ・施釉	やや不良	浅黄橙10YR8/4	灰白5Y7/1	良	4/12	ツケガケ
167	04803	陶器	鉢	F12	SK11	–	–	12.1	ヨコナデ・施釉	やや良	–	灰白2.5Y8/2	良	底部完存	伊賀か信楽
168	05902	陶器	鉢	G12	SK11	–	–	20.0	施釉(灰釉)	良	灰白5Y7/1	灰白5Y8/1	良	底部 1/12	
169	05002	陶器	香炉	G12	SK11(P6)	9.8	5.5	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	3/12	三足・伊賀か信楽・半筒形
170	05003	陶器	瓶	G12	SK11	–	–	5.8	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白10Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	2/12	内面煤付着
171	06001	陶器	鉢	G12	SK11	15.8	8.6	12.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・ヘラ切り・施釉(灰釉)	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y8/2	良	2/12	
172	04703	陶器	鉢	F12	SK11	16.0	9.8	11.8	施釉(灰釉)	やや良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	底部 1/12	伊賀か信楽
173	04704	陶器	鉢	F12	SK11	–	–	12.8	施釉(灰釉)	良	灰白10YR8/2	浅黄橙7.5YR8/4	良	底部 2/12	
174	05301	陶器	擂鉢	F14	SK11	–	–	14.4	ロクロナデ・櫛目(7本)	やや不良	浅黄橙10YR8/4	–	良	底部 4/12	信楽
175	05901	陶器	擂鉢	G12	SK11	32.4	–	–	ロクロナデ・櫛目(6本)	良	灰赤2.5YR4/2	–	良	口縁部 1/12	信楽
176	05101	陶器	擂鉢	G12	SK11	29.6	–	–	ロクロナデ・櫛目(8本)	やや不良	灰白2.5Y8/2	–	良	口縁部 1/12	信楽
177	04806	磁器	小椀	F12	SK11	8.8	4.1	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・赤・緑・茶・黒	良	5/12	肥前・浅半球形
178	05201	磁器	椀	G12	SK11	–	–	4.2	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	肥前
179	05005	磁器	椀	G12	SK11	–	–	4.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部 3/12	肥前
180	05104	磁器	椀	G12	SK11	–	–	3.0	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	3/12	肥前
181	06102	磁器	小椀	G12	SK11	8.3	5.1	3.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	7/12	肥前・底部砂粒痕・丸形
182	05103	磁器	中椀	G12	SK11	10.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 2/12	肥前・丸形
183	04905	磁器	椀	G12	SK11	–	–	4.2	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	灰白5GY8/1	良	底部 2/12	肥前
184	05102	磁器	椀	G12	SK11	–	–	3.8	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	3/12	肥前・砂粒痕
185	06101	磁器	中椀	G12	SK11	10.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 1/12	肥前・丸形
186	04805	磁器	中椀	F12	SK11	11.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 2/12	肥前・丸形
187	05105	磁器	中椀	G12	SK11	10.8	6.1	4.4	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前・丸形
188	05006	磁器	椀	G12	SK11	–	–	3.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部 2/12	肥前
189	19406	鉄製品	方形鉄板	G11	SK11	6.75	4.4	0.5	–	–	–	–	–	–	方形の透孔
190	06202	土師器	灯明皿	E13	SK12	8.0	0.9	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	5/12	油煙
191	06201	土師器	焙烙	E13	SK12 包含層	36.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 1/12	外面煤付着
192	06301	土師器	焙烙	G12	SK12	35.6	–	–	ヨコナデ・ケズリ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部 2/12	外面煤付着
193	06205	陶器	七厘?	E13	SK12	–	–	–	ヨコナデ・全体に風化	良	橙5YR7/6	–	良	底部小片	
194	06203	陶器	壺	E13 F12	SK12 包含層	12.0	–	–	ロクロナデ・施釉(鉄釉)	良	灰白5Y8/1	暗褐7.5YR3/4	良	口縁部 4/12	信楽か伊賀
195	06302	陶器	壺	E13	SK12	8.0	14.8	11.0	ロクロナデ・ロクロナデ・ナデ・ヘラ切り・施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y7/1	灰黄褐10YR4/2	良	8/12	信楽か伊賀・双耳胴筒形把手剥離
196	06303	磁器	皿	E13	SK12	14.2	3.9	8.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	7/12	肥前
197	06401	土師器	皿	E13	SK13	7.6	0.8	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	口縁部 1/12	
198	06204	陶器	中椀	E13	SK12 SK13	9.6	–	–	ロクロケズリ・施釉(柿釉)	良	灰白2.5YR8/1	暗赤褐5YR3/3	良	口縁部 5/12	半球形
199	06501	陶器	甕	E12	SK14	–	–	25.6	ロクロナデ・施釉(鉄釉)	良	浅黄橙10YR8/3	褐灰7.5YR4/1	良	底部 2/12	ハケヌリ
200	06601	土師器	皿	E11	SK17	6.6	1.0	–	ナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 2/12	
201	06602	土師器	鉢?	E11	SK17	–	–	14.5	ロクロナデ・ナデ	やや不良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	底部 2/12	
202	06604	陶器	蓋	E11	SK17	6.4	2.4	–	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	口縁部 4/12	信楽か伊賀 つまみ痕
203	06605	陶器	蓋	E11	SK17	8.2	1.9	–	ナデ・ケズリ・施釉(灰釉)	良	灰黄2.5Y7/2	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	10/12	土瓶蓋
204	06603	陶器	灯明皿	E11	SK17	10.8	2.3	4.0	ロクロケズリ・施釉(灰釉)・櫛目(3本)	良	灰白7.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	口縁部 3/12	信楽か伊賀 トチン
205	06701	陶器	擂鉢	E11	SK17	38.0	–	–	ヨコナデ・櫛目(7本)	やや不良	灰白10YR8/2	–	良	口縁部 1/12	信楽
206	06607	磁器	皿	E11	SK17	12.0	3.45	4.3	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	ほぼ完存	浅丸形
207	06606	磁器	鉢	E11	SK17	17.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	明緑灰10GY8/1・藍	良	口縁部 1/12	
208	06608	銅製品	銭貨	E11	SK17	径2.2	–	1.5g	–	–	–	–	–	–	寛永通宝
209	06801	磁器	広東椀	F2	SK20	–	–	6.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部 6/12	肥前
210	07001	土師器	皿	F6	SK21	7.1	1.1	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	4/12	
211	07005	陶器	中椀	F6	SK21	9.3	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y8/1	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀・端反形
212	07004	陶器	灯明皿	F6	SK21	8.8	1.9	3.4	ナデ・ロクロケズリ後ナデ・施釉(灰釉)・櫛目(6本)	良	淡黄2.5Y8/3	透明釉	良	6/12	信楽か伊賀 トチン
213	07002	陶器	小壺	F6	SK21	6.5	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	暗褐7.5YR3/3	良	口縁部 1/12	
214	06901	瓦質土器	七厘	F6	SK21	21.7	–	–	ヨコナデ・ナデ・ミガキ	やや良	黒2.5Y2/1 にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 7/12	透孔
215	07201	土師器	皿	G9	SK22	7.2	1.4	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部 4/12	
216	07202	土師器	灯明皿	G9	SK22	8.4	1.0	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部 2/12	油煙
217	07206	土師器	皿	G9	SK22	9.0	1.5	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 11/12	
218	07006	土師器	皿	F8	SK22	8.7	1.4	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5Y7/4	–	良	口縁部 7/12	
219	07205	土師器	皿	G9	SK22	8.8	1.7	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部 4/12	
220	07007	土師器	皿	F8	SK22	9.5	1.5	–	オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	10/12	
221	07209	土師器	灯明皿	G9	SK22	9.0	1.6	–	ナデ・オサエ	やや良	浅黄橙10YR8/3	–	良	完存	
222	07204	土師器	皿	G9	SK22	8.8	1.4	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/3	–	良	口縁部 3/12	
223	07003	陶器	灯明皿	F6	SK21	8.8	–	–	ナデ・ケズリ・施釉(灰釉)	良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y7/2	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀
224	07208	土師器	皿	G9	SK22	9.4	1.5	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/4	–	良	完存	
225	07203	土師器	皿	G9	SK22	9.2	1.2	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部 3/12	
226	07101	土師器	皿	F8	SK22	9.6	–	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙10YR8/4	–	良	口縁部 1/12	
227	07207	土師器	皿	G9	SK22	8.2	1.5	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/4	–	良	11/12	
228	07301	土師器	焙烙	G9	SK22	36.4	–	–	ヨコナデ	やや良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部 1/12	
229	07102	土師器	炮烙	F8	SK22	–	–	–	ヨコナデ・ナデ・工具ナデ?	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
230	07210	土師器	焙烙	G9	SK22	–	–	–	ヨコナデ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 小片	
231	07211	土師器	焙烙	G9	SK22	–	–	–	ヨコナデ	やや良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部 小片	内外面煤付着
232	07302	陶器	椀	G9	SK22	–	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y7/1	灰白7.5Y7/2	良	口縁部 小片	信楽か伊賀
233	07304	陶器	小椀	G9	SK22	8.0	–	–	施釉(氷割文)	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y8/1	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀・端反形
234	07103	陶器	中椀	F8	SK22	10.6	6.4	3.5	ロクロケズリ・施釉・削り出し高台	良	灰白2.5Y7/1	黄褐2.5Y5/4	良	8/12	美濃・半球形
235	07303	陶器	小皿	G9	SK22	10.0	2.3	4.4	施釉・削り出し高台	良	灰白2.5Y7/1	灰白5Y7/2	良	7/12	信楽か伊賀
236	07404	陶器	土瓶	G9	SK22	–	–	–	ロクロナデ・施釉	良	褐灰5YR4/1	灰白7.5Y8/1・緑・黄緑	良	注口のみ	墨書「道口」
237	07305	陶器	中壺	F8	SK22	13.7	–	–	施釉(鉄釉)	良	灰白N8/	褐7.5YR4/3	良	口縁部 2/12	べこかん形
238	07307	陶器	鉢	G9	SK22	17.2	9.7	12.0	ロクロナデ・板切?・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/2	良	2/12	
239	07306	陶器	花生	G9	SK22	–	–	5.4	ロクロナデ・削り出し・押圧・施釉	良	灰褐5YR6/2	にぶい赤褐5YR4/3	良	底部完存	備前 ハケヌリ
240	07401	磁器	小椀	G9	SK22	8.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 1/12	肥前・丸形
241	07104	磁器	中椀	F8	SK22	10.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 1/12	丸形

第４表　出土遺物観察表 (3)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
242	07402	磁器	椀	G9	SK22	–	–	4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部 8/12	肥前 砂粒痕 輪剥げ
243	07403	磁器	中椀	G9	SK22	9.2	5.4	3.2	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y7/2	良	底部 8/12	肥前・半球形
244	08401	須恵器	杯蓋	E4	SK26	–	–	鍔部12.8	ロクロナデ	やや良	灰N5/	–	良	鍔部 1/12	
245	08402	陶器	小椀	F3	SK28	8.2	–	–	施釉(氷割文)	良	灰白N8/	灰白7.5Y7/1	良	口縁部 2/12	端反形
246	08406	陶器	椀	F3	SK28	–	–	2.8	削り出し高台・施釉	良	灰白5Y7/1	灰白5Y8/1	良	底部完存	伊賀 素焼き
247	08405	陶器	蓋	F3	SK28	13.5	3.4	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y7/2 オリーブ黒7.5Y3/1	良	10/12	信楽か伊賀
248	08404	陶器	鉢	F3	SK28	13.4	9.7	7.4	ロクロナデ・ロクロケズリ・削り出し高台・施釉(水割文)	良	灰白N8/	灰白7.5Y7/1	良	底部 4/12	信楽か伊賀
249	08403	陶器	鉢	F3	SK28	–	–	14.0	ロクロナデ・ナデ・施釉	やや良	にぶい黄橙10YR7/3	灰黄2.5Y7/2	良	底部 7/12	信楽か伊賀
250	08501	陶器	捏鉢	F3	SK28 包含層	25.8	14.0	17.4	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	やや良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y7/2 黒褐10YR3/2	良	口縁部 4/12	
251	07902	土師器	焙烙	F5	SK25	28.0	–	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや良	灰N5/	–	良	口縁部 1/12	外面煤付着
252	07903	土師器	焙烙	F5	SK25	–	–	–	ヨコナデ	やや良	灰N4/	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
253	07901	土師器	焙烙	F5	SK25	–	–	–	ヨコナデ・ナデ	やや良	灰N4/	–	良	口縁部 小片	内外面煤付着
254	07702	陶器	小椀	F5	SK25	8.2	–	–	施釉(灰釉)	良	浅黄橙10YR8/3	灰白2.5Y8/2 にぶい橙5YR7/3	良	口縁部 4/12	信楽か伊賀・端反形
255	07602	陶器	小椀	F5	SK25	8.2	4.2	2.9	施釉	良	灰白10YR8/2	透明釉・茶・藍	良	4/12	瀬戸美濃・端反形
256	07905	陶器	灯明皿	F5	SK25	7.2	2.0	2.4	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰5Y7/1	灰白7.5Y7/1	良	ほぼ完存	トチン
257	08005	陶器	小鉢	F5	SK25	10.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	褐7.5YR4/4	良	口縁部 2/12	旬干形
258	08002	陶器	小皿	F5	SK25	13.2	3.3	6.0	施釉・削り出し高台	良	灰白5Y7/1	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	3/12	万古 刻印「萬古」・内湾形
259	07803	陶器	茶筒	F5	SK25	–	–	–	ロクロナデ・施釉	良	にぶい橙5YR7/4	明赤褐5YR5/6	良	体部小片	
260	07703	陶器	急須	F5	SK25	9.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀
261	08001	陶器	行平鍋	F5	SK25	19.6	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/2	にぶい黄橙10YR7/2	良	口縁部 3/12	信楽か伊賀 外面煤付着
262	07701	陶器	行平鍋蓋	F5	SK25	12.4	–	–	施釉	良	浅黄2.5Y7/3	灰白2.5Y8/2・茶・藍	良	口縁部 3/12	
263	08003	陶器	行平鍋	F5	SK25	16.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/2	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀
264	07705	陶器	行平鍋	F5	SK25	–	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	浅黄橙10YR8/2	良	把手のみ	信楽か伊賀
265	07704	陶器	行平鍋	F5	SK25	14.4	–	–	施釉	良	淡黄2.5Y8/3	灰白5Y7/2	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀
266	08102	陶器	盤	F5	SK25	26.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白5GY8/1	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀
267	08302	陶器	不明	F5	SK25	(5.4)×2.3	–	–	施釉	良	灰白5Y7/1	薄緑	良	小片	
268	07801	陶器	急須	F5	SK25	6.0	5.8	4.2	ロクロナデ	良	にぶい黄2.5Y6/3	–	良	底部完存	万古・取手付近に刻印「亀口」
269	08101	陶器	練鉢	F5	SK25	24.0	–	–	施釉	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀
270	08103	陶器	鉢	F5	SK25	–	–	16.0	ロクロナデ・ヘラ切り・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	底部 1/12	
271	08301	土師質土器	凉炉	F5	SK25	18.0	–	–	ロクロナデ・ナデ・オサエ	やや良	灰白10YR8/2	–	良	口縁部 7/12	円形風口2 長方形風口1 五徳部分煤付着
272	08201	土師質土器	凉炉	F5	SK25	20.2	–	–	ヨコナデ・ナデ	やや良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部 3/12	方形 火力調整窓付
274	07601	磁器	小椀	F5	SK25	8.6	4.5	2.8	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・茶・藍	良	6/12	瀬戸美濃・端反形
275	07604	磁器	小椀	F5	SK25	9.0	–	–	施釉(氷割文)	良	灰白5Y8/1	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀・端反形
273	07605	磁器	中椀	F5	SK25	10.8	5.9	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	瀬戸美濃・焼継痕・端反形
276	08004	磁器	椀	F5	SK25	12.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	口縁部 2/12	
277	07606	磁器	椀	F5	SK25	9.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 4/12	焼継痕・端反形
278	07603	磁器	中椀	F5	SK25	9.8	5.5	3.8	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・藍	良	4/12	瀬戸美濃・端反形
279	07904		さな	F5	SK25	8.4×1.2	–	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
281	07501		軒平瓦	F5	SK25	(24.2×24.0)	–	–	ナデ・オサエ	やや不良	灰N4/	–	良	–	唐草文
280	07802	ミニチュア土器	机	F5	SK25	4.5×3.2×1.6	–	–	手づくね・上面剥離	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	台のみ	外面赤彩
282	19501	銅製品	銭貨	F5	SK25	–	–	–	–	–		–	—	—	寛永通宝
283	09706	土師器	皿	F2	SK30	7.0	1.4	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR6/6	–	良	2/12	
284	09708	土師器	皿	F2	SK30	8.0	1.1	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	3/12	
285	09709	土師器	皿	F2	SK30	9.4	0.8	–	ナデ・オサエ	良	橙5YR6/6	–	良	3/12	
286	09704	土師器	灯明皿	F3	SK30	9.8	–	–	ナデ	やや良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部 1/12	油煙
287	09705	土師器	皿	F2	SK30	7.6	0.7	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
288	09710	土師器	皿	F2	SK30	7.5	0.8	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	4/12	
289	09707	土師器	皿	F2	SK30	9.4	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部 2/12	
290	09702	土師器	灯明皿	F1	SK30	9.8	2.3	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや良	橙7.5YR7/6	–	良	3/12	油煙
291	09703	土師器	灯明皿	F2	SK30	10.8	2.2	–	ナデ	やや良	にぶい黄橙10YR6/3	–	良	2/12	油煙
292	09701	土師器	灯明皿	F1	SK30	11.6	2.5	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	橙7.5YR7/6	–	良	4/12	油煙
293	09802	土師器	焙烙	F3	SK30	–	–	–	ヨコナデ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
294	09801	土師器	焙烙	F3	SK30	37.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい黄褐10YR4/3	–	良	口縁部 1/12	外面煤付着
295	09711	土師器	焙烙	F2	SK30	39.6	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい黄褐10YR5/4	–	良	口縁部 2/12	外面煤付着
296	09502	瓦器	焙烙	F2	SK30	41.8	–	–	ヨコナデ・ナデ	やや良	灰N4/	–	良	口縁部 1/12	
297	10802	陶器	天目茶碗	F3	SK30	–	–	3.8	ロクロナデ・貼付ナデ・施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/2	褐10YR4/4	良	底部 8/12	瀬戸美濃
298	08601	陶器	小椀	F2	SK30	8.8	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白10YR8/2	良	3/12	信楽か伊賀・端反形
299	08602	陶器	小椀	F2	SK30	8.8	–	–	ロクロナデ・施釉(氷割文)	良	灰白N8/	灰白5Y7/2	良	2/12	信楽か伊賀・端反形
300	10405	陶器	小椀	F3	SK30	8.3	4.5	2.2	削り出し高台・施釉(氷割文)	良	灰白2.5Y8/1	灰白10Y7/1	良	5/12	伊賀・端反形
301	09002	陶器	小椀	F2	SK30	8.2	–	–	施釉	良	灰白10YR8/2	透明釉・緑	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀・端反形
302	10404	陶器	中椀	F3	SK30	9.8	6.5	5.0	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y7/1	灰白7.5Y7/1	良	4/12	美濃・半球形
303	10403	陶器	中椀	F3	SK30	9.2	–	–	施釉	良	灰白5Y7/1	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	口縁部 1/12	美濃？・半球形
304	11303	陶器(軟質)	皿	F3	SK30	8.3	1.7	–	施釉・布目痕	良	灰白2.5Y8/2	黄褐2.5Y5/6	良	11/12	六角形
305	10406	陶器	神物具小椀	F3	SK30	6.6	3.3	4.6	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	4/12	信楽か伊賀
306	10307	陶器	灯明皿	F3	SK30	6.8	1.3	2.8	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	にぶい橙5YR6/4	灰白5Y8/1	良	1/12	信楽か伊賀 油煙
307	10402	陶器	灯明皿	F3	SK30	8.2	2.1	3.6	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	黄灰2.5Y6/1	良	7/12	信楽か伊賀・油煙
308	10309	陶器	灯明皿	F3	SK30	8.4	1.9	3.2	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	4/12	信楽か伊賀
309	10805	陶器	灯明皿	F3	SK30	9.8	2.0	5.9	ロクロケズリ・施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/2	明褐7.5Y5/6	良	完存	美濃
310	10401	陶器	灯明皿	F3	SK30	10.2	2.4	3.6	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白5Y8/2	浅黄2.5Y7/3	良	5/12	信楽か伊賀・トチン
311	08701	陶器	灯明受皿	F2	SK30	12.0	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	口縁部 1/12	
312	08704	陶器	灯明皿	F2	SK30	11.0	2.2	4.0	ロクロナデ・ロクロケズリ後ナデ・施釉(灰釉)・櫛目(9本)	良	にぶい黄橙10YR7/2	灰白5Y7/2	良	完存	信楽・トチン
313	08703	陶器	灯明皿	F2	SK30	10.6	2.5	3.4	ロクロナデ・ロクロケズリ後ナデ・施釉(灰釉)・櫛目(3本)	良	浅黄橙10YR8/3	灰白5Y8/2	良	完存	信楽・トチン
314	08702	陶器	灯明皿	F2	SK30	11.2	2.2	4.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)・櫛目(3本)	良	灰白2.5Y8/1	灰白7.5Y7/2	良	完存	信楽・トチン
315	08605	陶器	灯明皿	F2	SK30	12.6	2.6	5.4	ロクロナデ・施釉(灰釉)・櫛目(3本)	良	灰白7.5Y8/1	浅黄橙10YR8/3	良	3/12	信楽・トチン
316	10308	陶器	灯明皿	F3	SK30	8.6	1.6	3.2	ロクロナデ・ロクロケズリ後ゆるくナデ・施釉・櫛目(2本)	良	灰白7.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	3/12	信楽か伊賀 油煙 トチン
317	08606	陶器	灯明皿	F2	SK30	11.4	2.5	4.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)・櫛目(6本)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y7/2	良	3/12	信楽 トチン
318	09406	陶器	燭燭	F2	SK30	3.8	–	–	施釉(鉄釉)	良	灰白5Y8/1	暗赤褐5YR3/4	良	口縁部 2/12	信楽・たんころ形
319	08808	陶器	燭燭	F2	SK30	4.4	4.7	3.8	糸切痕・施釉(鉄釉)	良	灰白5Y8/1	褐7.5YR4/4	良	8/12	信楽・台付たんころ形・底部釉孔有
320	08902	陶器	灯明台	F2	SK30	4.5	2.2	2.9	ナデ・オサエ・貼付ナデ	良	浅黄橙10YR8/3		良	11/12	穿孔
321	08604	陶器	灯明受皿	F2	SK30	6.6	1.3	2.6	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	ほぼ完存	信楽か伊賀・油溝半月状
322	10408	陶器	灯明受皿	F3	SK30	6.2	1.2	2.4	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	2/12	信楽か伊賀・重ね焼き痕
323	08603	陶器	灯明受皿	F2	SK30	10.6	1.7	3.8	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y7/2	良	ほぼ完存	信楽か伊賀・油溝半月状
324	10501	陶器	灯明受皿	F3	SK30	9.7	2.2	3.6	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/1	良	4/12	信楽か伊賀・油溝半月状
325	10407	陶器	灯明受皿	F3	SK30	10.5	1.7	3.6	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	4/12	信楽か伊賀・油溝半月状
326	08803	陶器	香炉	F2	SK30	9.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/1	良	口縁部 1/12	

第５表　出土遺物観察表（4）

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
327	10502	陶器	香炉	F3	SK30	10.8	5.1	5.0	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉	良	灰白5Y8/2	灰白5Y7/2	良	7/12	信楽か伊賀 トチン・無三足浅筒形
328	09006	磁器	仏飯器	F2	SK30	–	–	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	台部完存	肥前
329	10304	陶器	蓋	F3	SK30	8.4	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5GY8/1	良	5/12	信楽か伊賀
330	10306	陶器	蓋	F3	SK30	8.5	1.2	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/2	灰白7.5Y8/2	良	完存	
331	10305	陶器	蓋	F3	SK30	8.8	1.6	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白10Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	2/12	信楽か伊賀
332	10801	陶器	土瓶	F3	SK30	6.4	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	オリーブ褐2.5Y4/3	良	口縁部2/12	信楽？
333	09303	陶器	土瓶	F2	SK30	–	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白5Y8/2	透明釉	良	注口のみ	信楽か伊賀
334	08805	陶器	蓋	F2	SK30	–	–	つまみ径3.6	施釉	良	灰白N8/	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	つまみ部完存	信楽
335	08802	陶器	行平鍋蓋	F2	SK30	15.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	口縁部1/12	信楽
336	08801	陶器	行平鍋蓋	F2	SK30	19.8	–	–	施釉	良	淡黄2.5Y8/3	透明釉	良	口縁部1/12	信楽
337	10301	陶器	蓋	F3	SK30	–	–	つまみ径4.0	ケズリ・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y8/2	良	つまみ部6/12	
338	10303	陶器	行平鍋蓋	F3	SK30	10.8	2.5	つまみ径2.2	施釉	良	灰白N8/	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	口縁部4/12	信楽か伊賀
339	08807	陶器	行平鍋蓋	F2	SK30	14.2	–	–	施釉	良	灰白10YR8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部2/12	
340	10302	陶器	行平鍋蓋	F3	SK30	–	–	つまみ径3.7	施釉	良	灰白5Y7/1	灰白7.5YR8/2	良	つまみ部完存	信楽か伊賀
341	08804	陶器	行平鍋蓋	F2	SK30	13.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白7.5Y8/2	良	口縁部2/12	信楽
342	10604	陶器	行平鍋	F3	SK30	16.4	–	–	ロクロナデ・キザミ・施釉	良	にぶい橙7.5YR6/4	灰白5Y8/1	良	口縁部3/12	信楽か伊賀
343	10701	陶器	行平鍋	F3	SK30	18.0	11.4	5.8	ロクロケズリ・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y8/2	良	2/12	外面煤付着・三足
344	09403	陶器	行平鍋	F2	SK30	16.0	8.8	7.2	ナデ・ケズリ・刺突・施釉(灰釉・錆釉)	やや良	灰白2.5Y8/3	褐7.5YR4/3	良	口縁部6/12	信楽か伊賀
345	09402	陶器	行平鍋	F2	SK30	14.4	–	–	ナデ・施釉(灰釉)	良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y7/2	良	口縁部3/12	信楽か伊賀 外面煤付着
346	10702	陶器	行平鍋	F3	SK30	20.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y8/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
347	09003	陶器	茶筒	F2	SK30	8.2	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	鉛緑釉・透明釉	良	口縁部3/12	
348	10603	陶器	鍋	F3	SK30	15.6	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
349	10601	陶器	鍋	F3	SK30	22.4	–	–	施釉	良	灰白7.5Y8/1	灰白10Y8/1	良	口縁部2/12	信楽か伊賀
350	10602	陶器	鍋	F3	SK30	21.6	–	–	施釉	良	灰白5Y8/2	灰白5Y8/1	良	口縁部2/12	信楽か伊賀
351	09404	陶器	鍋	F2	SK30	17.5	–	–	施釉	やや良	灰白5Y8/1	暗褐7.5YR3/3	良	口縁部2/12	
352	09601	陶器	擂鉢	F2	SK30	–	–	16.1	ナデ・施釉(錆釉)・櫛目(6本)	やや不良	灰黄2.5Y7/2	黒褐10YR2/2	良	底部3/12	信楽か伊賀
353	09806	陶器	擂鉢	F3	SK30	27.4	–	–	ロクロナデ・施釉・櫛目(13本)	やや良	灰白2.5Y8/2	黒7.5YR2/1	良	口縁部1/12	信楽・口縁外帯三段
354	09503	陶器	擂鉢	F2	SK30	36.0	–	–	ヨコナデ・施釉(錆釉)・櫛目(7本)	やや不良	灰黄2.5Y7/2	黒褐7.5YR3/1	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
355	09805	陶器	擂鉢	F3	SK30	–	–	17.0	ロクロナデ・ヘラ切り・櫛目(10本)	やや良	灰白2.5Y8/2	にぶい赤褐5YR4/3	良	底部2/12	信楽
356	10807	陶器	徳利	F3	SK30	–	–	7.6	ケズリ・施釉(鉄釉)	良	灰白7.5Y8/1	黒褐10YR3/2	良	体～底部7/12	
357	10804	陶器	花入	F3	SK30	–	–	6.0	ロクロナデ・ナデ・オサエ	良	灰赤2.5YR4/2	–	良	底部完存	備前
358	09903	陶器	植木鉢	F3	SK30	12.6	13.5	9.8	ロクロナデ・施釉	やや良	浅黄橙10YR8/3	黒褐5YR3/1	良	9/12	信楽か伊賀・焼成前穿孔1・獣脚3・鍔縁桶形
359	09904	陶器	植木鉢	F3	SK30	12.4	12.6	10.6	ロクロナデ・貼付ナデ・施釉	良	浅黄橙7.5YR8/4	褐灰5YR4/1	良	9/12	信楽か伊賀・切込腰輪高台3・穿孔1・鍔縁桶形
360	09401	陶器	植木鉢	F2	SK30	14.5	–	–	ロクロナデ	不良	淡黄2.5Y8/3	–	良	口縁部2/12	信楽か伊賀・鍔縁桶形
361	10505	陶器	捏鉢	F3	SK30	21.0	–	–	施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y7/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
362	10504	陶器	鉢	F3	SK30	–	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y8/1	良	口縁部小片	
363	10503	陶器	鉢	F3	SK30	–	–	7.0	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉	良	灰白N8/	灰白2.5GY8/1	良	底部完存	トチン
364	11001	陶器	鉢	F3	SK30	19.7	6.2	9.2	削り出し高台・施釉	良	灰白7.5Y7/1	オリーブ褐2.5Y4/3	良	4/12	トチン・信楽か伊賀
365	08901	陶器	鉢	F2	SK30	–	–	14.4	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	底部3/12	重ね焼き痕 信楽か伊賀
366	09602	陶器	鉢	F2	SK30	–	–	16.4	ナデ・施釉(錆釉)	やや不良	にぶい黄橙10YR7/3	灰褐5YR4/2	良	底部3/12	信楽か伊賀 炭化物付着
367	09302	陶器	鉢	F2	SK30	–	–	31.8	ケズリ・ナデ・施釉(灰釉)	やや不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	底部2/12	
368	10806	陶器	鉢	F3	SK30	–	–	16.0	ロクロケズリ・施釉(鉄釉)	良	灰白5Y8/1	褐7.5Y4/4	良	底部2/12	信楽か伊賀
369	09301	陶器	鉢	F2	SK30	–	–	23.0	ロクロナデ・ナデ・貼付ナデ	やや不良	淡黄2.5Y8/4	–	良	底部2/12	信楽か伊賀 透孔4
370	09001	陶器	小壺	F2	SK30	9.4	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉・緑	良	口縁部4/12	
371	09405	陶器	小壺	F2	SK30	11.3	–	–	施釉	やや良	灰白5Y8/1	黒褐10YR3/2	良	口縁部5/12	
372	09501	陶器	水壺	F2	SK30	36.5	–	–	施釉	やや不良	灰黄2.5Y7/2	浅黄5Y7/4・緑	良	口縁部1/12	瀬戸
373	09902	陶器	中壺	F3	SK30	25.2	–	–	施釉	やや良	浅黄橙10YR8/3	黒褐7.5YR3/1	良	口縁部2/12	ハケヌリ 信楽か伊賀
374	09004	陶器	水滴	F2	SK30	8.3	–	–	押型・施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉	良	–	狛犬
375	09804		さな	F3	SK30	9.2×0.9	–	–	–	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	2/12	
376	08806	陶器	椀	F2	SK30	4.2	–	–	削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/2	にぶい黄2.5Y6/3	良	底部完存	
377	08809	土製品	魚	F2	SK30	(4.3×3.7)	–	–	形押	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	体部片	
378	09901	土製品	不明	F3	SK30	(5.5×4.3)×2.1	–	–	形押	良		–	良	–	
379	10004		軒丸瓦	F2	SK30	13.9	–	–	–	やや不良	灰N4/	–	良	–	右巻三つ巴 連珠文
380	10003		軒丸瓦	F2	SK30	13.8	–	–	–	やや不良	灰N4/	–	良	–	左巻三つ巴 連珠文 穿孔？
381	10002		軒平瓦	F2	SK30	(21.0×16.0)	–	–	ナデ・オサエ	やや不良	暗灰N3/	–	良	–	唐草文
382	10102		軒平瓦	F2	SK30	(19.9×13.5)	–	–	ナデ・オサエ	やや不良	灰N4/	–	良	–	唐草文
383	10001		軒平瓦	F2	SK30	(15.6×24.0)	–	–	ナデ・オサエ	やや不良	灰N5/	–	良	–	唐草文
384	10103		軒平瓦	F3	SK30	(6.2×14.8)	–	–	ナデ	やや不良	灰N4/	–	良	–	唐草文
385	10201		軒平瓦	F3	SK30	(7.9×11.7)	–	–	ナデ	やや不良	灰N5/	–	良	–	唐草文
386	10104		軒平瓦	F2	SK30	(12.6×12.0)	–	–	ナデ	やや不良	灰N5/	–	良	–	唐草文
387	10202		軒平瓦	F2	SK30	(11.2×12.2)	–	–	ナデ	やや不良	灰N4/	–	良	–	唐草文
388	10105		軒平瓦	F2	SK30	(15.1×12.8)	–	–	ナデ・ケズリ	やや不良	灰N4/	–	良	–	唐草文
389	10101		軒平瓦	F2	SK30	(15.9×21.2)	–	–	ナデ・オサエ	やや不良	灰N4/	–	良	–	唐草文
390	09203	磁器	椀	F2	SK30	–	–	3.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍・淡紅・朱	良	底部3/12	焼継痕
391	09103	磁器	小椀	F2	SK30	8.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前・半球形
392	09107	磁器	小椀	F2	SK30	8.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	瀬戸美濃・端反形
393	11203	磁器	広東椀	F3	SK30	9.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前
394	11202	磁器	椀	F3	SK30	–	–	4.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部完存	肥前
395	09106	磁器	小椀	F2	SK30	9.0	4.9	3.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	瀬戸美濃・端反形
396	11105	磁器	小椀	F3	SK30	7.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	–	良	口縁部2/12	肥前・半筒形
397	09202	磁器	中椀	F2	SK30	9.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍・朱	良	4/12	肥前・焼継痕・端反形
398	11201	磁器	椀	F3	SK30	–	–	5.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部2/12	瀬戸美濃
399	11103	磁器	中椀	F3	SK30	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・丸形
400	11003	磁器	椀	F3	SK30	–	–	4.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部3/12	肥前・砂粒痕
401	11004	磁器	椀	F3	SK30	–	–	4.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部9/12	肥前・砂粒痕・輪禿
402	11104	磁器	広東椀	F3	SK30	10.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前
403	11002	磁器	中椀	F3	SK30	10.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前
404	09102	磁器	中椀	F2	SK30	10.1	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部4/12	肥前・端反形
405	11106	磁器	広東椀	F3	SK30	11.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部8/12	肥前
406	11005	磁器	椀	F3	SK30	–	–	4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部3/12	肥前

第６表　出土遺物観察表 (5)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
407	09105	磁器	広東椀	F2	SK30	11.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部3/12	肥前・焼継痕
408	09104	磁器	中椀	F2	SK30	9.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・丸形
409	09201	磁器	中椀	F2	SK30	9.4	7.0	4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	ほぼ完存	肥前・焼継痕・腰張形
410	11102	磁器	小皿	F3	SK30	13.0	3.7	7.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	2/12	肥前
411	11204	磁器	小皿	F3	SK30	13.2	3.7	8.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	1/12	肥前
412	10901	磁器	皿	F3	SK30	13.4	3.6	7.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	ほぼ完存	肥前
413	11302	磁器	型打皿	F3	SK30	7.8	2.3	3.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	5/12	瀬戸美濃
414	09101	磁器	蓋	F2	SK30	10.2	2.8	つまみ径4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部3/12	肥前
415	11301	磁器	蓋	F3	SK30	7.6	2.1	つまみ径3.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	7/12	瀬戸美濃
416	11101	磁器	小鉢	F3	SK30	13.2	4.6	5.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	2/12	肥前・輪禿・浅丸形
417	11205	磁器	小杯	F3	SK30	–	–	2.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部完存	肥前
418	09005	磁器	仏飯具	F2	SK30	6.4	5.9	3.7	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	8/12	肥前
419	10803	陶器	壺	F3	SK30	–	–	5.9	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉(鉄釉)・内面ロクロナデ	良	灰白2.5Y8/2	黒2.5Y2/1	良	底部ほぼ完存	信楽か伊賀
420	09803	石製品	硯	F3	SK30	(4.6×2.8×0.7)		重さ(9.6g)	–	–		–	–	–	
421	13401	須恵器	杯身	F3	SK31	13.3	–	–	ロクロナデ	やや良	灰N5/	–	–	–	
422	13402	須恵器	杯身	F3	SK31	–	–	錆部17.4	ロクロナデ・ロクロケズリ	やや良	灰N5/	–	良	底部3/12	
423	13403	須恵器	杯身	F3	SK31	–	–		ロクロナデ	やや良	灰N5/	–	良	小片	
424	13411	土師器	椀	F3	SK31	11.8	–	–	ナデ・工具ナデ・ハケ	不良	明赤褐5YR5/6	–	良	口縁部2/12	
425	13408	土師器	皿	F3	SK31	7.1	1.0	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部3/12	
426	13405	土師器	皿	F3	SK31	7.0	1.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
427	13407	土師器	皿	F3	SK31	6.6	0.8	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	3/12	
428	13406	土師器	皿	F3	SK31	6.7	1.0	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR7/6	–	良	2/12	
429	13404	土師器	皿	F3	SK31	6.8	1.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	8/12	
430	13504	土師器	焙烙	F3	SK31	–	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	灰褐7.5YR4/2	–	良	口縁部小片	外面煤付着
431	14604	土師器	焙烙	F3	SK31	20.3	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	灰5Y5/1	–	良	口縁部1/12	
432	14603	土師器	焙烙	F3	SK31	19.8	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	灰N4/	–	良	口縁部1/12	
433	14605	土師器	焙烙	F3	SK31	40.6	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	灰5Y4/1	–	良	口縁部1/12	
434	12303	陶器	天目茶碗	F4	SK31	–	–	4.3	ケズリ・施釉(錆釉)	やや不良	灰白2.5Y8/2	にぶい褐7.5YR5/3	良	底部完存	瀬戸美濃
435	13409	土師器	小杯	F3	SK31	5.9	–	–	ナデ	良	橙5YR6/8	–	良	口縁部2/12	
436	13410	土師器	小杯	F3	SK31	6.0	3.3	3.1	ナデ・オサエ	良	橙5YR6/8	–	良	6/12	
437	13501	ミニチュア土器	風炉	F4	SK31	–	–	2.4	ロクロナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	底部完存	三脚
438	13709	陶器	小杯	F3	SK31	5.9	3.2	1.8	施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	3/12	信楽・端反形
439	12701	陶器	小椀	F3	SK31	5.6	–	–	施釉(鮫肌釉)	良	灰褐7.5YR5/2	褐7.5YR4/3	良	口縁部3/12	万古
440	11604	陶器	小杉椀	F3	SK31	–	–	5.2	施釉(若松文)	良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y7/1	良	底部3/12	瀬戸美濃
441	13705	陶器	小椀	F3	SK31	7.6	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y8/2	良	3/12	信楽・丸形
442	14304	陶器	小椀	F4	SK31	8.2	4.5	4.4	施釉(氷割文)	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y8/2	良	3/12	信楽か伊賀・端反形
443	13708	陶器	小椀	F3	SK31	8.5	4.3	2.3	ロクロナデ・削り出し高台・施釉	良	にぶい黄橙10YR7/3	灰白7.5Y7/2	良	10/12	信楽・端反形
444	12203	陶器	椀	F3	SK31	12.8	–	–	施釉	やや良	灰白2.5Y7/1	暗オリーブ5Y4/3	良	口縁部1/12	沈線4条 美濃？
445	13606	陶器	灯明皿	F3	SK31	6.2	1.3	2.2	ロクロナデ・施釉	良	にぶい黄橙10YR7/3	灰白7.5Y7/1	良	3/12	信楽か伊賀・トチン
446	13605	陶器	灯明皿	F3	SK31	6.7	1.4	2.5	ロクロナデ・施釉(氷割文)	良	にぶい橙7.5YR7/4	灰黄2.5Y7/2	良	完存	信楽か伊賀・トチン
447	13607	陶器	灯明皿	F3	SK31	8.0	1.7	3.0	ロクロナデ・施釉	良	にぶい橙7.5YR7/3	浅黄2.5Y7/3	良	ほぼ完存	信楽か伊賀 トチン
448	13704	陶器	灯明皿	F3	SK31	10.5	2.1	3.5	ロクロナデ・施釉・櫛目(4本)	良	灰白5Y7/1	灰白5Y7/2	良	6/12	信楽・油煙・トチン
449	13703	陶器	灯明皿	F3	SK31	9.4	1.6	3.5	ロクロナデ・施釉・櫛目(4本)	良	灰白5Y7/1	浅黄5Y7/3	良	10/12	信楽・油煙・トチン
450	14207	陶器	灯明皿	F4	SK31	10.8	2.1	4.0	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	淡黄2.5Y8/3	灰白5Y8/2	良	ほぼ完存	信楽か伊賀・トチン
451	14206	陶器	灯明皿	F4	SK31	8.8	1.5	3.4	ロクロナデ・施釉(灰釉))	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	9/12	信楽か伊賀 外面煤付着 トチン
452	13609	陶器	灯明皿	F3	SK31	10.7	2.3	3.8	ロクロナデ・施釉	良	浅黄橙10YR8/3	灰白7.5Y7/1	良	3/12	信楽か伊賀・トチン
453	13701	陶器	灯明皿	F3	SK31	8.8	2.1	3.2	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	6/12	信楽か伊賀・トチン
454	13610	陶器	灯明皿	F3	SK31	11.0	2.3	4.3	ロクロナデ・施釉	良	淡黄2.5Y8/3	灰黄2.5Y7/2	良	3/12	信楽か伊賀・トチン
455	13702	陶器	灯明皿	F3	SK31	9.0	1.9	3.4	ロクロナデ・施釉	良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	良	6/12	信楽 油煙 トチン
456	14205	陶器	灯明皿	F4	SK31	10.6	2.5	4.0	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y7/1	良	2/12	信楽か伊賀 外面煤付着 トチン
457	13608	陶器	灯明皿	F3	SK31	10.6	2.1	3.8	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y7/1	良	3/12	信楽か伊賀・トチン
458	14301	陶器	灯明皿	F4 G4	SK31 包含層	10.6	2.3	3.8	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	9/12	信楽か伊賀 トチン
459	13611	陶器	灯明皿	F3	SK31	10.8	2.5	4.2	ロクロナデ・施釉	良	浅黄橙10YR8/3	灰白2.5Y7/1	良	8/12	信楽か伊賀・トチン
460	13612	陶器	灯明皿	F3	SK31	11.4	2.6	4.6	ロクロナデ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y7/1	良	4/12	信楽か伊賀・トチン
461	14302	陶器	灯明皿	F4	SK31	10.4	2.0	4.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y8/2	良	3/12	信楽か伊賀・油溝半月状
462	13804	陶器	灯明受皿	F3	SK31	10.3	1.7	4.0	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	浅黄5Y7/3	良	10/12	信楽・油溝半月状
463	13805	陶器	灯明受皿	F3	SK31	10.7	1.8	4.2	ロクロナデ・施釉	良	橙5YR7/6	灰黄2.5Y7/2	良	10/12	信楽・油溝半月状・素焼き
464	14406	陶器	台付灯明受皿	F4	SK31	6.0	3.9	3.8	ヘラ切り・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y7/2	良	11/12	
465	13507	陶器	乗燭	F3	SK31	3.8	3.4	4.0	施釉	良	灰白5Y8/1	褐7.5YR4/6	良	底部完存	信楽か伊賀 たんころ形
466	14405	陶器	台付灯明受皿	F4	SK31	7.2	4.8	4.8	ヘラ切り・施釉	良	にぶい橙5YR7/4	灰白7.5Y7/2	良	ほぼ完存	
467	14306	陶器	燭徳利	F4	SK31	–	–	7.8	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/1	透明釉・オリーブ黒5Y3/2	良	4/12	
468	12207	陶器	徳利	F3	SK31	–	–	7.3	ケズリ・ナデ・施釉	良	灰白5Y8/2	透明釉	良	底部3/12	墨書「宗」
469	13903	陶器	小瓶	F3	SK31	–	–	5.4	押圧・施釉(鉄釉)	良	淡黄2.5Y8/3	暗褐7.5YR3/4	良	底部完存	瀬戸美濃・ぺこかん形
470	13508	陶器	香炉	F3	SK31	8.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	浅黄橙10YR8/3	灰白7.5YR8/1	良	口縁部3/12	
471	14402	陶器	香炉	F4	SK31	8.4	–	–	ロクロナデ・施釉(黒褐)	良	灰白2.5Y8/1	黒褐10YR2/3	良	口縁部3/12	
472	14004	陶器	香炉	F3	SK31	9.6	–	–	ロクロケズリ・施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
473	12704	陶器	馬の目皿	F3	SK31	24.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y7/2	灰白2.5Y8/2 黒褐2.5Y3/1	良	口縁部1/12	瀬戸
474	12301	陶器	馬の目皿	F4	SK31	–	–	11.2	ケズリ・施釉	やや不良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	底部8/12	瀬戸
475	14001	陶器	中水注	F3	SK31	–	–	7.6	ヘラ切り・施釉	良	灰白5Y8/1	暗褐7.5YR3/4	良	4/12	トチン
476	12401	陶器	カンテラ	F4	SK31	4.4	4.4	3.6	施釉	良	灰白10Y8/1	透明釉	良	8/12	片口後手形
477	13502	陶器	茶壺の蓋	F3	SK31	3.5	1.6	–	施釉	良	橙2.5YR6/6	赤褐5YR4/8	不良	6/12	肥前
478	13503	陶器	壺	F3	SK31	2.6	6.4	3.1	施釉	良	赤褐10R5/4	赤褐5YR4/8	良	底部2/12	
479	14202	陶器	紅猪口	F4	SK31	4.7	2.3	2.3	ロクロナデ・削り出し高台・施釉(灰釉)	良	浅黄橙10YR8/3	灰白5Y8/2	良	10/12	信楽か伊賀
480	14203	陶器	紅猪口	F4	SK31	5.8	–	–	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部3/12	丸形
481	12202	陶器	神酒徳利	F3	SK31	–	–	3.2	ナデ・ケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	緑	良	底部6/12	信楽か伊賀
482	13707	陶器	神物具小椀	F3	SK31	6.0	3.3	3.4	ロクロナデ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	浅黄5Y7/3	良	6/12	信楽
483	14201	陶器	神物具小椀	F4	SK31	5.4	1.75	3.8	ヘラ切り・施釉(灰釉)	良	淡黄2.5Y8/3	灰白5Y8/2	良	11/12	信楽か伊賀
484	13706	陶器	神物具小椀	F3	SK31	6.5	2.8	4.0	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/2	灰白7.5Y8/2	良	6/12	信楽・トチン
485	13710	陶器	仏飯具	F3	SK31	–	–	5.0	ロクロナデ・糸切痕・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y8/2	良	底部完存	信楽
486	12402	陶器	仏飯具	F4	SK31	7.4	4.5	4.7	ケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	8/12	
487	13905	陶器	仏飯具	F3	SK31	–	–	4.5	糸切痕・施釉	良	灰白7.5Y8/1	灰白7.5Y7/2	良	底部7/12	信楽か伊賀
488	14204	陶器	仏飯具	F4	SK31	7.6	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	オリーブ褐2.5Y4/3	良	杯部完存	トチン
489	14005	陶器	蓋	F3	SK31	6.0	1.8	–	ロクロナデ・糸切痕・施釉	良	灰白2.5Y8/2	暗オリーブ5Y4/3	良	ほぼ完存	
490	12702	陶器	蓋	F3	SK31	4.2	2.5	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3・赤	良	完形	
491	12204	陶器	急須蓋	F3	SK31	5.4	1.4	2.3	ロクロナデ・糸切痕	良	にぶい赤褐5YR4/3	–	良	完存	
492	12703	陶器	茶釜蓋	F3	SK31	9.8	2.8	4.7	ロクロナデ・ロクロケズリ	良	灰白2.5Y8/2	–	良	4/12	素焼き
493	13601	陶器	急須	F3	SK31	4.9	–	–	ロクロナデ・波状文・沈線	良	浅黄橙10YR8/4	–	良	口縁部3/12	
494	13002	陶器	急須	F3	SK31	5.6	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	翡翠	良	5/12	信楽か伊賀・外面煤付着
495	13003	陶器	急須	F3	SK31	–	–	–	ロクロナデ・施釉(鮫肌釉)	良	赤灰2.5YR4/1	黄灰2.5Y5/1	良	注口のみ	万古
496	13602	陶器	急須	F3	SK31	–	–	–	ナデ	良	明赤褐5YR5/6	–	良	注口のみ	素焼き
497	14501	陶器	急須	F4	SK31	6.0	5.8	4.8	ロクロナデ・施釉・貼付ナデ	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	ほぼ完存	底部に刻印「いか」

第７表　出土遺物観察表（6）

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
498	13802	陶器	行平鍋蓋	F3	SK31	–	–	つまみ径3.0	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	つまみ部完存	信楽
499	13803	陶器	行平鍋蓋	F3	SK31	11.4	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2 褐灰10YR4/1	良	口縁部2/12	信楽
500	13505	陶器	蓋	F3	SK31	–	–	つまみ径2.3	ロクロナデ・ハケ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	にぶい赤褐5YR4/4	良	つまみ部完存	信楽か伊賀
501	13506	陶器	蓋	F3	SK31	13.4	–	–	ロクロナデ・ハケ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	にぶい赤褐5YR4/4	良	口縁部1/12	
502	13906	陶器	行平鍋蓋	F3	SK31	12.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉・黒褐10YR3/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
503	13801	陶器	行平鍋蓋	F3	SK31	14.0	3.2	つまみ径4.0	施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y7/2	良	つまみ部完存	信楽
504	14305	陶器	行平鍋蓋	F4	SK31	18.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/1	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	口縁部2/12	信楽か伊賀
505	14101	陶器	把手	F3	SK31	(8.8×2.8)×1.2		–	施釉	良	灰白N8/	灰白7.5Y7/2	良	把手のみ	刻印
506	12903	陶器	行平鍋	F3	SK31	–	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	把手のみ	信楽か伊賀
507	12904	陶器	行平鍋	F3	SK31	–	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y8/2	良	把手のみ	信楽か伊賀
508	12902	陶器	行平鍋	F3	SK31	13.6	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y7/1	良	口縁部5/12	信楽か伊賀
509	12901	陶器	行平鍋	F3	SK31	17.2	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y7/1	良	口縁部2/12	
510	14002	陶器	行平鍋	F3	SK31	(8.3)×3.0×1.4		–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	把手のみ	
511	14303	陶器	土瓶蓋	F4	SK31	5.9	1.7	3.2	ロクロナデ・ロクロケズリ・貼付ナデ・施釉(灰釉)	良	浅黄橙10YR8/3	灰白2.5Y8/2	良	ほぼ完存	信楽か伊賀
512	13904	陶器	土瓶蓋	F3	SK31	7.4	2.1	4.4	ロクロナデ・ロクロケズリ・貼付ナデ	良	淡黄2.5Y8/3	–	良	ほぼ完存	伊賀 素焼き
513	14407	陶器	土瓶蓋	F4	SK31	5.2	2.0	2.4	ロクロナデ・貼付ナデ・糸切痕	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	完存	空気孔・つまみ部分型押
514	14404	陶器	土瓶	F4	SK31	–	–	–	施釉	良	灰白10YR8/2	透明釉	良	注口のみ	
515	14403	陶器	土瓶	F4	SK31	–	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	注口のみ	
516	13001	陶器	土瓶	F3	SK31	7.0	13.2	7.5	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	翡翠	良	7/12	底部に刻印「いか」・外面煤付着・三足・注口3
517	11701	陶器	土瓶	F3	SK31	7.5	8.8	7.2	施釉	良	にぶい黄2.5Y6/3	白・黄・青緑・黄緑・黒・小豆	良	6/12	万古？・外面煤付着
518	12302	陶器	擂鉢	F4	SK31	–	–	15.8	ナデ・施釉(錆釉)・櫛目(4本)	やや良	灰白2.5Y8/2	褐7.5YR4/3	良	底部2/12	
519	12208	陶器	鍋	F4	SK31	24.8	–	–	施釉	良	灰白5Y8/2	透明釉	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
520	12201	陶器	鉢	F3	SK31	–	–	9.3	ナデ・ケズリ・施釉	やや不良	にぶい橙7.5YR7/4	暗赤褐10R3/1	良	底部8/12	
521	14602	陶器	鉢	F3	SK31	–	–	10.5	ロクロナデ・施釉(鉄釉・錆釉)	良	灰黄2.5Y7/2	黒褐7.5YR3/1 褐7.5YR4/3	良	底部6/12	
522	13901	陶器	植木鉢	F3	SK31	–	–	11.0	ロクロナデ・施釉	良	淡橙5YR8/4	黒褐5YR3/1	良	底部完存	信楽か伊賀・穿孔
523	12802	陶器	捏鉢	F3	SK31	20.0	10.8	12.8	ロクロナデ・工具ナデ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y7/2	良	11/12	信楽か伊賀・墨書「ぜに上分」
524	12801	陶器	捏鉢	F3	SK31	28.0	7.5	22.0	ロクロケズリ・板ナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白10YR8/2	良	2/12	信楽か伊賀
525	13101	陶器	捏鉢	F3	SK31	30.0	15.2	20.0	ロクロナデ・工具ナデ・施釉	良	にぶい黄橙10YR7/3	灰白7.5Y7/1	良	ほぼ完存	内面底砂粒痕
526	14601	瓦質土器	火消壺蓋	F3	SK31	22.2	4.5	19.6	ヨコナデ・ナデ・ケズリ・ミガキ	やや良	暗灰N3/	–	良	口縁部3/12	瀬戸美濃
527	12306	瓦質土器	風炉か焜炉	F4	SK31	–	–	14.4	ナデ・ケズリ	やや不良	オリーブ黒5Y3/1	–	良	底部2/12	
528	13301	瓦質土器	風炉	F4	SK31	26.0	–	18.0	ヨコナデ・ミガキ・板ナデ・ロクロナデ	良	黒N2/	–	良	2/12	透孔
529	13603	土師質	七厘	F3	SK31	–	–	–	ナデ	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	五徳1残	
530	12307		さな	F4	SK31	–	–	–	ナデ・ケズリ	やや不良	橙7.5YR7/6	–	良	3/12	
531	12206		さな	F3	SK31	–	–	径14.8	ナデ・ケズリ	やや良	灰黄2.5Y7/2	–	良	2/12	
532	11801	陶器	椀	F3	SK31	3.5	0.8	–	削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/2	朱・緑	良	完存	
533	13604	土製品	人形	F3	SK31	–	–	–	型押	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	–	
534	14802		軒丸瓦	F3	SK31	径15.8	–	–	ナデ・オサエ	やや良	灰N4/	–	良	–	家紋
535	14003	陶器	甕	F3	SK31	27.6	–	–	施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/1	黒褐10YR3/2	良	口縁部1/12	
536	14901	陶器	中甕	F3	SK31	21.2	–	–	施釉(鉄釉)	良	黄灰2.5Y6/1	褐7.5YR4/3	良	口縁部3/12	
537	14801	陶器	中甕	F3	SK31	18.5	23.0	14.3	ロクロナデ・施釉(柿釉)	良	灰白7.5YR8/2	極暗赤褐2.5YR2/2	良	9/12	信楽 内面底部砂粒痕
538	13201	陶器	壺	F3	SK31	18.1	22.0	12.7	ヘラ切り・施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/1	褐7.5YR4/3	良	11/12	信楽か伊賀
539	14401	陶器	中甕	F4	SK31	22.2	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y7/2	良	口縁部7/12	信楽か伊賀
540	12305	陶器	中甕	F4	SK31	22.2	–	–	ナデ・施釉	良	灰白2.5Y7/1	灰褐7.5YR4/2	良	口縁部3/12	
541	12304	陶器	甕	F4	SK31	20.5	–	–	施釉	やや不良	淡黄2.5Y8/3	暗赤褐10YR4/1	良	口縁部1/12	半胴
542	14701	陶器	甕	F3	SK31	–	–	16.2	ロクロナデ・施釉	やや良	灰白2.5Y8/1	にぶい赤褐5YR4/3 黒10YR1.7/1	良	体下部完存	信楽 底部墨書
543	14902	陶器	大甕	F3	SK31	–	–	18.5	施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y7/1	にぶい赤褐5YR4/4	良	体下部9/12	丹波系 墨流し 内面底部砂粒痕
544	12205	陶器	無頸壺	F3	SK31	7.7	–	–	ロクロナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	素焼き
545	13902	陶器	壺か甕	F3	SK31	–	–	15.2	施釉(鉄釉)	良	灰白N8/	暗赤褐5YR3/2	良	底部3/12	
546	12705	陶器	壺か甕	F3	SK31	–	–	24.0	ケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白10Y8/1	良	底部1/12	信楽か伊賀
547	14105	磁器	酒杯	F3	SK31	9.8	3.9	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	6/12	肥前
548	11504	磁器	猪口	F3	SK31	–	–	3.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・水色・朱	良	底部6/12	瀬戸美濃
549	11505	磁器	猪口	F3	SK31	6.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・水色・朱	良	口縁部4/12	瀬戸美濃
550	11506	磁器	猪口	F3	SK31	6.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・水色・朱	良	口縁部2/12	瀬戸美濃
551	11404	磁器	小椀	F3	SK31	7.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・青・朱	良	口縁部3/12	貿易陶磁器・焼継痕
552	11802	磁器	小椀	F3	SK31	7.9	–	–	施釉	良	灰白N8/	灰白10Y8/1	良	口縁部5/12	
553	12607	磁器	小杯	F4	SK31	–	–	3.1	施釉	良	灰白N8/	透明釉・オリーブ灰5GY5/1	良	底部7/12	肥前
554	12103	磁器	小椀	F3	SK31	8.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・翡翠	良	口縁部3/12	瀬戸美濃
555	11702	磁器	小椀	F3	SK31	8.8	4.8	3.8	施釉	良	灰白N8/	朱・黄・薄緑・金泥？	良	ほぼ完存	瀬戸美濃
556	12003	磁器	小椀	F3	SK31	7.5	5.3	3.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	8/12	肥前・半球形
557	12004	磁器	小椀	F3	SK31	7.4	5.4	3.1	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	肥前・半球形
558	12602	磁器	小椀	F4	SK31	8.3	4.6	3.1	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	瀬戸美濃
559	12604	磁器	小椀	F4	SK31	9.1	5.0	3.1	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	5/12	瀬戸美濃
560	11803	磁器	小椀	F3	SK31	7.9	4.4	2.6	施釉	良	灰白N8/	灰白10Y8/1	良	10/12	瀬戸美濃・焼継痕
561	12102	磁器	小椀	F3	SK31	8.4	4.4	3.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・翡翠	良	11/12	瀬戸美濃
562	12101	磁器	小椀	F3	SK31	8.2	4.4	2.9	施釉	良	灰白N8/	透明釉・翡翠	良	11/12	瀬戸美濃
563	11804	磁器	中椀	F3	SK31	9.4	5.2	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・赤褐2.5YR4/6	良	11/12	肥前
564	12605	陶器	中椀	F4	SK31	9.6	5.5	3.8	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・藍	良	4/12	肥前
565	12603	磁器	中椀	F4	SK31	9.8	5.0	4.1	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	瀬戸美濃
566	11902	磁器	椀	F3	SK31	–	–	4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部1/12	肥前
567	12601	磁器	中椀	F4	SK31	9.4	5.0	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	肥前
568	11904	磁器	中椀	F3	SK31	9.7	5.0	4.1	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	10/12	瀬戸美濃
569	11402	磁器	広東椀	F3	SK31	11.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前
570	11501	磁器	広東椀	F3	SK31	11.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前
571	14006	磁器	椀	F3	SK31	–	–	4.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部7/12	肥前・輪禿
572	11502	磁器	広東椀	F3	SK31	11.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前
573	11603	青磁	椀	F3	SK31	–	–	6.6	貼付高台・施釉	良	灰白N8/	オリーブ灰10Y4/2	良	9/12	瀬戸美濃
574	11901	磁器	広東椀蓋	F3	SK31	–	–	つまみ径3.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	つまみ部8/12	肥前
575	11805	磁器	広東椀	F3	SK31	–	–	6.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部3/12	肥前
576	14104	磁器	広東椀	F3	SK31	9.8	3.9	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部6/12	肥前
577	13907	磁器	神酒徳利	F3	SK31	2.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	口縁部7/12	
578	11905	磁器	蕎麦猪口	F3	SK31	7.9	4.3	4.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	5/12	肥前
579	11809	磁器	紅皿	F3	SK31	4.5	1.4	1.5	ナデ・施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	3/12	肥前
580	11807	磁器	紅皿	F3	SK31	4.5	1.5	1.5	ナデ・施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	ほぼ完存	肥前
581	11808	磁器	紅皿	F3	SK31	4.4	1.3	1.4	ナデ・施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	2/12	肥前

第８表　出土遺物観察表（7）

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
582	12406	磁器	望料椀蓋	F4	SK31	9.7	2.6	つまみ径3.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	肥前
583	11903	磁器	広東椀蓋	F3	SK31	9.1	2.4	4.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	肥前
584	12503	磁器	望料椀蓋	F4	SK31	9.6	3.1	つまみ径3.7	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	肥前
585	12403	磁器	蓋	F4	SK31	8.4	2.3	つまみ径3.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	瀬戸
586	12404	磁器	蓋	F4	SK31	8.3	2.3	つまみ径3.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	10/12	瀬戸
587	12405	磁器	蓋	F4	SK31	9.6	3.0	つまみ径3.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	3/12	肥前
588	12502	磁器	望料椀蓋	F4	SK31	9.6	3.1	つまみ径3.7	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前
589	12504	磁器	蓋	F4	SK31	9.0	2.3	つまみ径3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	ほぼ完存	瀬戸美濃
590	12501	磁器	望料椀蓋	F4	SK31	9.6	3.0	つまみ径4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	10/12	肥前
591	12001	磁器	小皿	F3	SK31	12.4	3.0	8.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	8/12	肥前・丸形
592	12002	磁器	五寸皿	F3	SK31	14.2	3.6	8.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	2/12	肥前・焼継痕・丸形
593	11403	磁器	五寸皿	F3 A地区	SK31 包含層	13.6	3.7	7.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前・丸形
594	14103	磁器	筒形椀	F3	SK31	–	–	3.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部7/12	肥前
595	14102	磁器	皿	F3	SK31	–	–	8.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部1/12	肥前
596	11601	磁器	中皿	F3	SK31	22.0	3.5	13.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部3/12	肥前・丸形
597	12606	磁器	鉢	F4	SK31	–	–	6.5	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・藍	良	底部1/12	肥前・八角形
598	11503	磁器	中鉢	F3	SK31	14.4	6.0	6.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍・紅・緑・黄・黒	良	底部6/12	肥前・焼継痕
599	11806	磁器	段重	F3	SK31	7.0	3.1	4.0	ケズリ・施釉	良	灰白N8/	赤・緑・青・茶	良	3/12	肥前
600	11401	磁器	段重	F3	00	14.0	6.7	10.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	肥前・焼継痕
601	11602	磁器	合子蓋	F3 F9	SK31 包含層	10.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前
602	12104	磁器	鉢	F3	SK31	19.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	肥前
603	19401	鉄製品	鎌	F3	SK31	残長15.2	3.1	–	–	–		–	–	–	
604	19402	鉄製品	火打金	F3	SK31	残長9.0	4.3	0.5	–	–		–	–	–	
605	15001	陶器	鉢		SK32	19.2	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白5Y8/1	灰白5Y7/2	良	口縁部2/12	
606	15003	磁器	仏飯具		SK32	–	–	3.2	ロクロナデ・施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部完存	肥前
607	15002	磁器	広東椀		SK32	–	–	6.0	施釉	良	灰白N7/1	透明釉・藍	良	底部3/12	瀬戸
608	15605	土師器	灯明皿		SK33	6.7	1.1	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙10YR8/4	–	良	ほぼ完存	油煙
609	15309	土師器	皿		SK33	7.2	0.8	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	8/12	
610	15302	土師器	皿		SK33	7.6	1.2	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙10YR8/4	–	良	4/12	
611	15307	土師器	皿		SK33	7.6	1.1	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	4/12	
612	15308	土師器	皿		SK33	8.8	1.4	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/4	–	良	5/12	
613	15306	土師器	皿		SK33	7.2	1.1	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	3/12	
614	15301	土師器	皿		SK33	7.2	1.2	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
615	15701	土師器	焙烙		SK33	39.6	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
616	15607	土師器	焙烙		SK33	40.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
617	15303	土師器	焙烙		SK33	–	–	–	ヨコナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部小片	
618	15606	土師器	焙烙		SK33	–	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	にぶい橙10YR7/4	–	良	口縁部小片	外面煤付着
619	15508	陶器	灯明皿		SK33	9.8	1.8	4.4	施釉	良	灰白2.5Y7/1	褐7.5YR4/3	良	6/12	美濃 トチン
620	15603	陶器	灯明皿		SK33	10.9	2.6	4.0	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	8/12	菊文貼付
621	15501	陶器	灯明皿		SK33	12.2	3.1	5.6	ロクロナデ・施釉・櫛目(6本)	良	浅黄5Y7/3	灰白2.5Y7/1	良	2/12	信楽・トチン
622	15402	陶器	中椀		SK33	10.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白7.5Y8/2 オリーブ黒5Y3/1	良	口縁部2/12	
623	15601	陶器	中椀		SK33	–	–	3.7	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/1 黄灰2.5Y4/1	良	底部完存	
624	15401	陶器	花生		SK33	–	–	7.4	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白2.5GY8/1	良	底部4/12	
625	15604	陶器	鉢		SK33	–	–	10.6	ロクロナデ・削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/1	褐7.5YR4/1・黒	良	底部4/12	信楽蒲生
626	15310	陶器	蓋		SK33	8.0	1.2	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y8/2	良	ほぼ完存	信楽か伊賀
627	15507	陶器	植木鉢		SK33	–	–	4.8	施釉	やや良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	底部完存	焼成後穿孔
628	15502	陶器	餌猪口		SK33	4.4	3.1	4.6	ロクロナデ	良	灰白2.5Y8/2		良	6/12	
629	15602	陶器	火鉢		SK33	17.6	–	–	ロクロナデ	良	灰白2.5Y8/1		良	口縁部1/12	焼成前穿孔 内面煤付着
630	15506	陶器	徳利		SK33	3.9	–	–	施釉	良	灰白5Y8/1	黒褐5YR3/1	良	口縁部3/12	
631	15202	陶器	土瓶		SK33	8.8	–	–	施釉	やや良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5GY8/1	良	口縁部3/12	注口3
632	15801	陶器	擂鉢		SK33	34.0	13.7	18.0	ナデ・施釉・櫛目(6本)	やや不良	灰白2.5Y8/2	褐7.5YR4/4	良	4/12	信楽・口縁外帯三段
633	15205	磁器	小猪口		SK33	4.8	3.2	3.3	施釉	良	灰白7.5Y8/1	透明釉・藍	良	5/12	肥前
634	15504	磁器	小杯		SK33	7.4	3.8	2.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	9/12	肥前
635	15103	磁器	中椀		SK33	9.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部5/12	肥前
636	15102	磁器	中椀		SK33	11.8	5.2	4.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前
637	15106	磁器	中椀		SK33	10.2	5.0	4.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前
638	15101	磁器	広東椀		SK33	11.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部4/12	肥前
639	15503	磁器	広東椀		SK33	–	–	6.1	施釉	良	灰白5Y7/1	透明釉・藍	良	底部3/12	瀬戸
640	15207	磁器	広東椀		SK33	–	–	5.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部完存	肥前
641	15208	磁器	広東椀		SK33	–	–	6.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部4/12	肥前
642	15505	磁器	小皿		SK33	9.1	2.3	3.0	ロクロナデ・削り出し高台・施釉(灰釉)	良	灰白N8/	灰白5Y7/2	良	8/12	トチン
643	15104	磁器	望料椀蓋		SK33	–	–	つまみ径3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	つまみ部10/12	肥前
644	15201	磁器	小皿		SK33	12.6	2.8	5.3	ケズリ・施釉	良	灰白5Y8/2	透明釉・灰オリーブ5Y4/2 灰10Y6/1	良	4/12	肥前・トチン
645	15206	磁器	小皿		SK33	13.0	2.7	7.7	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	11/12	肥前
646	15105	磁器	型打皿		SK33	11.0	2.2	6.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	5/12	肥前
647	15204	土製品	ミニチュア		SK33	–	–	–	ロクロナデ	やや良	灰白2.5Y8/2	–	良	小片	
648	15304	土製品			SK33	(2.6×2.8)	–	–	型押	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	小片	
649	15305	土製品			SK33	(2.6×2.0)	–	–	型押	良	橙7.5YR7/6	–	良	小片	
650	15203	土製品	福禄寿		SK33	2.2×1.3×1.2	–	重さ2.1g	型押	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	完存	
651	19503	鉄製品	釘			–	–	–	–	–	–	–	–	–	
652	15901	土師器	皿		SK34	8.0	0.9	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
653	15903	陶器	花生		SK34	–	–	11.6	ロクロナデ・施釉(鉄釉)	良	浅黄橙10YR8/3	暗褐10YR3/3	良	底部2/12	
654	15902	磁器	椀		SK34	–	–	5.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・明緑灰10GY8/1	良	底部2/12	肥前・青磁
655	16001	陶器	擂鉢		SK35	–	–	15.2	ロクロナデ・施釉(錆釉)・櫛目(6本)	良	淡黄2.5Y8/3	暗赤褐5YR3/3	良	底部2/12	信楽
656	16102	土師器	高坏		SK36	–	–	10.6	ヨコナデ・ナデ・オサエ・ハケ	良	橙5YR7/6	–	良	脚部6/12	
657	16103	陶器	紅猪口		SK36	6.8	3.0	2.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	6/12	肥前
658	16104	陶器	椀		SK36	–	–	4.2	削り出し高台・施釉	良	灰白5Y8/1	暗褐7.5YR3/4	良	底部完存	トチン
659	16201	陶器	広東椀		SK36	11.0	6.2	5.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	2/12	肥前
660	16101	陶器	擂鉢		SK36	–	–	12.0	ロクロナデ・施釉(鉄釉)・櫛目(8本)	良	灰白10YR8/2	暗褐7.5YR3/3	良	底部3/12	信楽
661	16301	土師器	灯明皿		SK37	6.8	0.7		ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	3/12	
662	16302	磁器	椀		SK37	–	–	4.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍・朱	良	1/12	瀬戸
663	16401	土製品	不明		SK38	(6.0×3.0×2.4)	–	–	ナデ・オサエ	良	浅黄2.5Y7/3	–	良	–	
664	02601	土師器	甕	E1	SD29	–	–	–	ヨコナデ	やや良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部小片	
665	02604	土師器	灯明皿	E2	SD29	10.0	2.0	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部2/12	油煙
666	02602	土師器	灯明皿	E2	SD29	9.6	2.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部3/12	油煙
667	02802	土師器	灯明皿	F1	SD29	10.0	2.0	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部2/12	油煙
668	02603	土師器	灯明皿	E2	SD29	10.0	1.7	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	油煙
669	02605	陶器	匣	E2	SD29	–	–	12.0	ロクロナデ・ナデ	良	黄灰2.5Y4/1	–	良	底部3/12	三足痕跡・轆轤半筒形
670	02803	陶器	皿	F1	SD29	–	–	4.8	ロクロナデ・施釉・削り出し高台	良	にぶい黄橙10YR7/2	青・緑	良	底部3/12	輪禿皿
671	02804	陶器	火鉢	F1	SD29	19.2	–	–	ロクロナデ・施釉	良	にぶい黄橙10YR6/3	灰白10Y7/1	良	口縁部2/12	内面煤付着
672	02805	陶器	甕	F1	SD29	–	–	12.8	ロクロナデ・施釉(灰釉)・ナデ?	良	淡黄2.5Y8/3	灰白2.5Y8/2	良	底部3/12	

第９表　出土遺物観察表 (8)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
673	02701	陶器	水褄	E2	SD29	25.6	16.7	26.9	施釉・削り出し高台	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y8/1	良	口縁部3/12	
674	02607	磁器	五寸皿	E2	SD29	14.0	3.2	7.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・黄緑・金箔	良	口縁部5/12	近代
675	02801	磁器	小椀蓋	F1	SD29	7.6	2.4	つまみ径3.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	5/12	肥前？
676	02606	陶器	さな	E2	SD29	10.4	1.4	重さ(24.4g)	ケズリ	良	灰白10YR7/2	–	良	2/12	
677	16504	土師器	灯明皿	F11	Pit2	9.3	1.8	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	完存	油煙
678	16505	土師器	灯明皿	F11	Pit2	9.5	1.9	–	ナデ・オサエ	良	灰白2.5Y7/1	–	良	ほぼ完存	油煙
679	16503	土師器	灯明皿	F11	Pit2	9.5	2.4	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/4	–	良	完存	油煙
680	16502	土師器	焙烙	F11	Pit2	32.8	–	–	ヨコナデ・ヘラケズリ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	
681	16501	土師器	焙烙	F11	Pit3	36.4	–	–	ヨコナデ・オサエ・ハケ・ケズリ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部4/12	外面煤付着
682	16506	土製品	西行法師	G14	Pit1	2.3×(2.0)	–	重さ(5.3g)	型押	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	体部のみ	
683	16601	陶器	お歯黒壺	B13	Pit1	5.5	10.5	6.8	ロクロナデ・ロクロケズリ・板ナデ・施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/1	暗褐10YR3/4	良	9/12	信楽か伊賀
684	16602	陶器	お歯黒壺	B13	Pit1	7.7	12.7	8.8	ロクロナデ・ケズリ・施釉(鉄釉)	良	灰白10YR8/2	褐7.5YR4/3	良	8/12	信楽か伊賀・鉄分付着
685	00702	土師器	灯明皿	F13	SD16	9.2	–	–	ナデ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	油煙
686	00701	土師器	皿	F13	SD16	7.4	1.1	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部2/12	
687	00703	土師器	焙烙	F13	SD16	28.0	–	–	ヨコナデ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	口縁部小片	
688	00802		円筒埴輪	F7	SD19	–	–	–	ヨコナデ・ハケ・板ナデ	やや不良	浅黄橙10YR8/4	–	良	体部小片	透孔1
689	00801		円筒埴輪	F8	SD19	–	–	–	ヨコナデ・ハケ・板ナデ	やや不良	浅黄橙10YR8/4	–	良	体部小片	透孔1
690	00704	土師器	皿	F7	SD19	7.2	1.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
691	01103	土師器	皿	F8	SD19	6.8	1.0	–	ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/4	–	良	口縁部2/12	
692	01101	土師器	皿	F8	SD19	7.6	1.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部2/12	
693	01102	土師器	皿	F8	SD19	7.6	0.9	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部2/12	
694	00503	土師器	皿	F7	SD19	7.4	1.2	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部1/12	
695	01302	土師器	皿	F9	SD19	9.6	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部3/12	
696	00705	土師器	焙烙	F6	SD19	30.4	–	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部1/12	外面煤付着
697	00504	陶器	天目茶椀	F12 F11	SD9 SD19	–	–	–	ロクロケズリ・施釉(鉄釉)	やや良	にぶい黄橙10YR7/2	黒褐7.5YR3/1	良	体部6/12	瀬戸美濃
698	00506	陶器	紅猪口	F8	SD19	7.0	4.0	2.8	施釉	良	灰白10Y8/1	灰白2.5GY8/1、藍	良	底部完存	
699	00505	陶器	小椀	F8	SD19	9.0	–	–	施釉	良	灰白5Y7/1	灰白7.5Y7/1	良	口縁部2/12	
700	01306	陶器	小椀	F9	SD19	8.0	–	–	施釉	良	灰白7.5Y8/1	灰白5Y8/1・緑	良	口縁部1/12	信楽
701	01203	陶器	椀	F8	SD19	–	–	3.8	施釉(灰釉)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	底部完存	信楽か伊賀
702	00901	陶器	小椀	F8	SD19	8.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y7/2	良	6/12	信楽か伊賀
703	01202	陶器	大椀	F8	SD19	13.6	–	–	ロクロケズリ・施釉	良	褐灰10YR5/1	灰オリーブ7.5Y6/2 灰白7.5Y8/2	良	口縁部1/12	九州？
704	01301	陶器	灯明受皿	F9	SD19	11.5	2.6	4.2	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白5Y8/1	灰白5Y7/1	良	口縁部8/12	伊賀・油溝半月状
705	01303	陶器	中鉢	F9	SD19	16.5	–	–	施釉(灰釉)	良	淡黄5YR8/3	灰白7.5Y8/1	良	口縁部2/12	信楽か伊賀
706	01201	陶器	行平鍋	F8	SD19	14.0	–	–	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部2/12	信楽か伊賀
707	01402	陶器	行平鍋	F9	SD19	20.8	–	–	ロクロケズリ・施釉	良	灰白10YR8/2	灰黄2.5Y6/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀・外面煤付着
708	01307	陶器	鉢	F9	SD19	–	–	15.6	ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y8/2	良	底部2/12	信楽か伊賀・重ね焼き痕
709	01401	陶器	擂鉢	F9	SD19	28.6	–	–	施釉(鉄釉)・櫛目(5本)	良	灰白5Y8/1	褐7.5YR4/6	良	口縁部1/12	信楽・口縁外帯三段
710	01106	磁器	紅猪口	F8	SD19	5.0	2.3	1.2	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前・丸形
711	01304	磁器	蕎麦猪口	F9	SD19	7.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	口縁部2/12	肥前・桶形
712	01002	磁器	小椀	F7	SD19	8.1	–	–	施釉(氷割文)	良	灰白N8/	明緑灰10GY8/1	良	口縁部2/12	肥前・線刻
713	01003	磁器	広東椀	F7	SD19	9.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前
714	00903	磁器	中椀	F6	SD19	11.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前
715	01105	磁器	大椀	F8	SD19	12.0	–	–	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・端反形
716	00902	磁器	中椀	F8 F3	SD19 SK31	9.6	5.1	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部完存	肥前
717	01305	磁器	小鉢	F9	SD19	11.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前
718	00904	磁器	中椀	F6	SD19	11.5	6.4	4.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部完存	肥前
719	01107	磁器	望料椀蓋	F8	SD19	–	–	つまみ径4.0	施釉・削り出し	良	灰白N8/	透明釉・藍・薄緑	良	つまみ完存	肥前
720	01108	磁器	皿	F8	SD19	–	–	8.4	施釉・削り出し高台	良	灰白7.5Y8/1	透明釉・藍	良	底部4/12	肥前・蛇の目高台
721	01001	磁器	鉢	F6	SD19	–	–	6.0	ロクロケズリ・施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部9/12	肥前・十角形
722	01104	磁器	水滴	F8	SD19	(3.9)×3.5×2.4		–	施釉	良	灰白7.5YR8/1	灰白7.5Y8/2	良	–	内面墨・形押
723	01502	須恵器	杯蓋	F9	SD20	17.0	–	–	ロクロナデ	良	灰N5/	–	良	口縁部1/12	
724	02101	埴輪		F8	SD20	–	–	–	ナデ・ハケ	やや不良	浅黄2.5Y7/3	–	良	体部小片	
725	01907	土師器	皿	F8	SD20	8.0	1.1	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部2/12	
726	01901	土師器	皿	F7	SD20	7.3	1.3	–	ナデ・オサエ	やや良	橙5YR7/6	–	良	9/12	
727	01905	土師器	皿	F8	SD20	7.2	0.9	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	口縁部2/12	
728	01902	土師器	皿	F7	SD20	7.3	1.1	–	ナデ・オサエ	やや良	橙5YR7/6	–	良	6/12	
729	01906	土師器	皿	F8	SD20	7.9	–	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部1/12	
730	02402	陶器	灯明皿	F9	SD20	6.8	1.5	3.2	ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/1	良	口縁部2/12	信楽
731	01909	陶器	小皿	F8	SD20	7.4	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	口縁部3/12	信楽
732	01913	陶器	皿	F8	SD20	9.2	2.3	3.8	施釉・削り出し高台	良	灰白5Y8/2	灰白5Y8/2	良	1/12	信楽
733	02001	陶器	皿	F8	SD20	10.0	1.9	–	施釉・ケズリ	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	口縁部2/12	伊賀
734	00607	陶器	灯明皿	F9	SD20	9.7	1.9	4.8	ロクロナデ・施釉・櫛目(4本)	良	灰黄2.5Y7/2	灰白7.5Y8/1	良	2/12	信楽・トチン
735	02401	陶器	灯明受皿	F9	SD20	6.0	1.0	2.6	ロクロケズリ・施釉	良	にぶい黄橙10YR7/2	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	口縁部3/12	信楽か伊賀
736	01903	陶器	灯明受皿	F7	SD20	8.0	2.3	5.0	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	口縁部1/12	信楽
737	02501	陶器	小鉢	F9	SD20	6.7	2.9	4.3	ロクロケズリ・施釉	良	浅黄2.5Y7/3	淡黄2.5Y8/3	良	1/12	信楽
738	01908	陶器	小杯	F8	SD20	6.8	–	–	施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y7/2	良	口縁部3/12	伊賀
739	02403	陶器	小椀	F9	SD20	9.2	5.1	2.4	施釉・削り出し高台	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y8/1	良	7/12	伊賀
740	01912	陶器	小椀	F8	SD20	9.0	4.8	2.9	施釉(氷割文)・削り出し高台	良	灰白2.5Y8/1	明オリーブ灰2.5GY7/1	良	2/12	伊賀
741	01910	陶器	小椀	F8	SD20	8.4	4.6	3.0	施釉(氷割文)・削り出し高台	良	灰白N8/	灰白7.5Y7/2	良	10/12	伊賀
742	00605	陶器	小椀	F9	SD20	9.4	–	–	施釉(氷割文)	良	灰白7.5Y8/1	灰白7.5Y7/1	良	口縁部1/12	信楽
743	00603	陶器	小椀	F9	SD20	9.0	4.7	2.8	施釉(氷割文)	良	灰白N8/	灰白5Y7/2	良	10/12	伊賀
744	00604	陶器	小椀	F9	SD20	8.7	4.8	2.4	施釉(氷割文)	良	灰白N8/	灰白5Y7/2	良	9/12	伊賀
745	01911	陶器	小椀	F8	SD20	8.3	4.7	3.0	施釉(氷割文)・削り出し高台	良	灰白5Y8/2	灰白5Y8/2	良	11/12	伊賀
746	02003	陶器	小椀	F8	SD20	8.4	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2・緑	良	口縁部1/12	信楽
747	00606	陶器	小椀	F9	SD20	8.0	4.4	2.0	施釉(氷割文)	良	灰白N8/	灰白7.5Y7.2	良	6/12	信楽
748	01914	陶器	中椀	F8	SD20	10.0	–	–	施釉	良	灰白2.5GY8/1	灰白2.5GY8/1	良	口縁部2/12	伊賀
749	02302	陶器	土鍋	F9	SD20	12.1	5.4	6.1	ロクロケズリ・施釉(鉄釉)・キザミ	良	浅黄橙7.5YR8/4	褐灰7.5YR4/1	良	ほぼ完存	紐状双耳
750	01602	陶器	徳利	F9	SD20	2.8	–	–	施釉	良	灰白10YR8/2	灰白5Y8/1	良	口縁部5/12	信楽か伊賀
751	02102	陶器	広東椀	F8 A	SD20 包含層	–	–	5.8	施釉	良	灰白2.5Y8/1	透明釉・藍	良	9/12	瀬戸・口縁部研磨痕跡
752	02005	陶器	蓋	F8	SD20	–	–	–	施釉	良	灰白5Y8/2	黒褐2.5Y3/1	良	つまみのみ	
753	00608	陶器	行平蓋	F9	SD20	13.5	2.8	つまみ径3.4	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y8/2	良	3/12	信楽
754	02009	陶器	蓋	F8	SD20	–	–	–	施釉	良	黄灰2.5Y6/1	灰オリーブ5Y6/2	良	1/12	

第 10 表　出土遺物観察表 (9)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
755	02305	陶器	土瓶	F9	SD20	–	–	–	ロクロナデ・施釉	良	淡黄2.5Y8/3	灰白7.5Y8/2	良	注口のみ	信楽
756	02304	陶器	たばこ盆	F9	SD20	15.6	–	–	ロクロナデ・施釉(鉄釉)	良	灰白10YR8/1	褐灰7.5YR4/1 灰白10Y7/1	良	口縁部 6/12	信楽か伊賀
757	01605	陶器	行平鍋	F9	SD20	14.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/2	良	口縁部 2/12	
758	01603	陶器	行平鍋	F9	SD20	14.0	–	–	ロクロナデ・キザミ	良	灰白2.5Y8/1	黒褐7.5YR3/1 灰白5Y7/1	良	口縁部 1/12	信楽
759	02303	陶器	行平鍋	F9	SD20	14.0	–	–	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/1	良	口縁部 6/12	信楽か伊賀 無足
760	02201	陶器	行平鍋	F9	SD20	20.0	12.0	8.2	ロクロケズリ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白2.5Y8/2	良	5/12	信楽か伊賀・三足
761	02202	陶器	行平鍋	F9	SD20	14.8	7.8	–	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部 5/12	信楽 無足
762	02008	陶器	行平鍋	F8	SD20	19.9	–	–	施釉	良	灰白5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部 1/12	
763	01501	陶器	練鉢	F8	SD20	34.6	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄5Y8/3 オリーブ灰10Y4/2	良	口縁部 3/12	瀬戸
764	01601	陶器	擂鉢	F9	SD20	31.8	–	–	施釉・櫛目	良	にぶい橙5YR7/4	灰褐5YR4/2	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀・口縁外帯三段
765	01801	陶器	擂鉢	F8	SD20	34.2	13.9	17.8	施釉・ヘラ切り・櫛目(9本)	良	灰白2.5Y8/1	褐10YR4/4	良	4/12	信楽か伊賀・口縁外帯三段
766	01607	磁器	小椀	F9	SD20	7.0	5.5	3.6	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前・筒丸形
767	01604	磁器	小椀	F9	SD20	7.0	5.5	3.5	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前・筒丸形
768	02006	磁器	小椀	F8	SD20	7.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	1/12	肥前・半筒形
769	02002	磁器	小椀	F8	SD20	7.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 2/12	
770	01606	磁器	中椀	F9	SD20	10.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 1/12	瀬戸
771	02301	磁器	中椀	F9	SD20	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部 7/12	肥前
772	01701	磁器	中椀	F9	SD20	10.4	6.0	4.4	施釉・削り出し高台	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	6/12	肥前
773	01505	磁器	中椀	F9	SD20	11.2	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・緑	良	口縁部 2/12	瀬戸
774	02004	磁器	椀	F8	SD20	–	–	4.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部 5/12	肥前
775	01904	土製品	魚	F7	SD20	(4.6×3.8)	–	–	型押	やや不良	浅黄橙7.5Y8/4	–	良	–	
776	01504	土製品	不明	F9	SD20	(1.7×1.6)	–	–	型押	良	橙5YR7/6	–	良	小片	
777	01503	陶器	ミニチュア土瓶	F9	SD20	2.2	–	–	ナデ・オサエ・貼付ナデ	良	浅黄橙10YR8/4	–	良	体部片	
778	01702	石製品	硯	F9	SD20	(8.9×6.5×1.0)	–	–	–	良	–	–	–	–	
779	01703	石製品	硯	F9	SD20	(11.4×7.0×0.9)	–	–	–	良	–	–	–	–	
780	19502	鉄製品	釘	F9	SD20	17.0	1.0	0.5	–	–	–	–	–	–	
781	16702	土師器	壺	C14	包含層	10.0	–	–	ヨコナデ・ナデ	やや良	灰黄2.5Y7/2	–	良	口縁部 1/12	
782	18006	土師器	高坏	G8	包含層	–	–	–	ナデ・ハケ・工具痕	やや良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	杯部一部のみ	
783	16701	土師器	高坏	C14	包含層	–	–	–	風化	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	脚柱部完存	
784	18703	須恵器	直口壺	G11	東壁	–	–	–	ロクロナデ・波状文	良	灰N5/	–	良	小片	
785	17603	土師器	灯明皿	F3	包含層	6.4	1.5	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	2/12	
786	17502	土師器	灯明皿	F2	包含層	7.2	1.2	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
787	16703	土師器	皿	A地区	包含層	6.8	1.1	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	4/12	
788	18803	土師器	皿	F9	カクラン	7.4	1.1	–	オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/2	–	良	5/12	
789	17204	土師器	皿	E9	包含層	7.6	–	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 3/12	
790	16705	土師器	皿	A地区	包含層	7.6	1.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	2/12	
791	17501	土師器	灯明皿	F2	包含層	7.6	–	–	ナデ・オサエ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 1/12	
792	16704	土師器	皿	A地区	包含層	7.6	1.0	–	ナデ・オサエ	良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	3/12	
793	18203	土師器	皿	G11	包含層	9.6	1.6	–	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/4	–	良	口縁部 2/12	
794	18201	土師器	皿	G11	包含層	8.8	1.1	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR7/6	–	良	2/12	
795	18202	土師器	皿	G11	包含層	9.7	–	–	ナデ・オサエ	良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部 1/12	
796	18702	土師器	皿	G11	東壁	9.4	1.2	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	浅黄橙7.5YR8/6	–	良	1/12	
797	17207	土師器	焙烙	E9	包含層	–	–	–	ヨコナデ	良	にぶい黄橙10YR6/4	–	良	口縁部 小片	
798	17403	土師器	焙烙	E13	包含層	–	–	–	ヨコナデ	やや良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
799	17902	土師器	鍋	F12	包含層	–	–	–	ヨコナデ	やや良	にぶい橙7.5YR7/4	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
800	18302	土師器	焙烙	G12	包含層	–	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
801	18303	土師器	焙烙	G12	包含層	–	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
802	18704	土師器	焙烙	G11	東壁	–	–	–	ヨコナデ・ナデ・オサエ	良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部 小片	外面煤付着
803	18705	土師器	焙烙	G12	東壁 包含層	29.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部 1/12	内外面煤付着
804	18706	土師器	焙烙	G12	東壁	31.4	–	–	ヨコナデ・ナデ	良	橙7.5YR7/6	–	良	口縁部 1/12	外面煤付着
805	18207	土師器	焙烙	G11	包含層	37.2	–	–	ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや良	橙7.5YR6/6	–	良	口縁部 1/12	外面煤付着
806	17805	土師質	ろうそく立て	F9	包含層	径6.5	–	–	ヘラ切り・ロクロナデ	良	浅黄橙10YR8/3	–	良	完存	銅芯
807	18804	土師器	凉炉		排土	14.5	–	–	ナデ・ケズリ	やや良	灰白2.5Y8/2	–	良	口縁部 1/12	
808	17901	土師質	凉炉	F12	包含層	–	–	14.0	ロクロナデ・ナデ	良	にぶい橙7.5YR6/4	–	良	底部 1/12	穿孔1
809	18402	陶器	天目茶椀	G12	包含層	9.8	–	–	施釉((鉄釉)	良	橙7.5YR7/6	黒褐10YR3/2	良	口縁部 2/12	瀬戸美濃
810	18805	陶器	天目茶椀	F9	カクラン溝	10.1	–	–	ケズリ・施釉	やや良	黄灰2.5Y6/1	にぶい赤褐5YR4/3	良	口縁部 2/12	美濃
811	17903	陶器	天目茶椀	F12	包含層	–	–	4.4	ロクロケズリ・削り出し高台・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	黒褐7.5YR3/1	良	底部完存	瀬戸
812	16805	陶器	小杯	A地区	包含層	7.6	–	–	施釉(氷割文)	良	灰白5Y8/1	灰白10Y7/1	良	口縁部 3/12	
813	17904	陶器	小椀	F12	包含層	6.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y7/1	灰白7.5Y8/2	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀・腰張形
814	17509	陶器	小椀	F2	包含層	–	–	2.4	削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白7.5Y7/2	良	底部完存	伊賀
815	16710	陶器	小椀	A地区	包含層	–	–	2.9	削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白10Y8/1	良	底部完存	信楽か伊賀
816	17907	陶器	小椀	G3	包含層	–	–	2.3	削り出し高台・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白2.5GY8/1	良	底部完存	伊賀
817	17804	陶器	小椀	F9	包含層	8.3	4.8	2.4	削り出し高台・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白5Y7/2	良	5/12	信楽か伊賀
818	16804	陶器	小椀	A地区	包含層	8.2	–	–	施釉(灰釉・氷割文)	良	灰白2.5Y8/1	灰白5Y8/2	良	口縁部 4/12	信楽か伊賀
819	18701	陶器	椀	G12	東壁	–	–	5.6	施釉	良	灰白2.5Y8/2	にぶい黄褐10YR5/4	良	底部 2/12	
820	18204	陶器	椀	G11	包含層	–	–	4.6	ロクロナデ・削り出し高台・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y7/2	良	底部 9/12	
821	17102	陶器	中椀	E8	包含層	9.2	–	–	施釉	良	灰白5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	口縁部 2/12	
822	17605	陶器	中椀	F3	包含層	12.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀
823	16803	陶器	中椀	A地区	包含層	9.4	–	–	施釉(緑釉・氷割文)	良	灰白5Y8/1	オリーブ灰10Y6/2	良	口縁部 2/12	信楽か伊賀
824	19103	陶器	緑釉椀	A地区	表土掘削	12.2	5.7	4.4	削り出し高台・施釉	やや良	灰白2.5Y8/1	緑	良	底部完存	瀬戸
825	18503	陶器	皿	H14	包含層	12.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	透明釉	良	口縁部 1/12	
826	16709	陶器	小皿	A地区	包含層	8.6	2.8	2.8	削り出し高台・施釉	良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	良	6/12	信楽か伊賀・トチン
827	18502	陶器	皿	H14	包含層	–	–	–	ロクロナデ・施釉(灰釉)	良	灰白5Y8/1	灰白7.5YR8/2	良	小片	信楽か伊賀・トチン
828	18005	陶器	皿	G8	包含層	–	–	–	ロクロナデ・施釉・櫛目(3本)	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y8/1	良	口縁部 小片	
829	17802	陶器	皿	F9	包含層	–	–	2.9	削り出し高台・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白2.5Y8/2	良	底部完存	信楽か伊賀 トチン
830	16802	陶器	小皿	A地区	包含層	10.8	–	–	ロクロケズリ・施釉(緑釉)	良	灰白5Y7/1	灰オリーブ7.5Y6/2	良	口縁部 3/12	信楽か伊賀・菊文
831	17604	陶器	皿か盤	F3	包含層	24.0	–	–	施釉	良	淡黄2.5Y8/3	灰白5Y8/1	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀
832	18003	陶器	灯明皿	G4	包含層	10.4	2.4	4.0	ロクロナデ・ヘラ切り・施釉・櫛目(8本)	良	にぶい黄橙10YR7/3	灰黄2.5Y7/2	良	6/12	
833	19005	陶器	灯明皿		表土	6.1	3.2	2.4	ケズリ・施釉	良	灰白5Y7/1	灰白5Y7/2	良	5/12	外面煤付着
834	17508	陶器	灯明皿	F2	包含層	8.6	1.8	4.0	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	4/12	信楽か伊賀・トチン
835	17906	陶器	灯明皿	G3	包含層	8.8	–	–	ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5GY8/1	良	口縁部 3/12	信楽か伊賀
836	18002	陶器	灯明皿	G4	包含層	10.3	2.2	4.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・ヘラ切り・施釉	良	にぶい黄橙10YR7/3	灰黄2.5Y7/2	良	1/12	トチン
837	18103	陶器	灯明皿	G10	包含層	11.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	良	口縁部 1/12	信楽か伊賀
838	17807	陶器	灯明受皿	F10	包含層	6.4	1.2	2.8	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰黄2.5Y7/2	良	4/12	信楽か伊賀・油溝半月状
839	18101	陶器	灯明受皿	G9	包含層	5.8	1.2	2.2	ロクロナデ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白5Y7/2	良	2/12	

第 11 表　出土遺物観察表 (10)

報告番号	実測番号	種別	器種	地区	遺構番号	計測値			調整技法の特徴	胎土(素地)	色調		焼成	残存	備考
						口径(cm)	器高(cm)	その他(cm)			素地	釉色			
840	18908	陶器	灯明受皿	F9	カクラン	9.0	1.7	3.4	ロクロケズリ・施釉(灰釉)	良	灰白5Y7/1	灰白7.5Y8/1	良	5/12	信楽か伊賀・油溝半月状
841	17702	陶器	灯明受皿	F3	包含層	11.0	2.1	5.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰黄2.5Y7/2	灰白2.5Y8/2	良	5/12	信楽か伊賀・油溝半月状
842	17803	陶器	蓋	F9	包含層	–	–	11.6	ロクロナデ・ハケ・施釉	良	にぶい橙7.5YR7/4	褐灰7.5YR4/1 灰白5Y8/1	良	口縁部1/12	
843	18504	陶器	行平鍋蓋	H14	包含層	12.4	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y7/2	良	口縁部1/12	
844	16708	陶器	行平鍋蓋	A地区	包含層	15.8	–	–	施釉	良	淡黄2.5Y8/3	–	良	口縁部2/12	
845	18004	陶器	行平鍋蓋	G5	包含層	–	–	–	施釉	良	灰白5Y8/1	浅黄5Y7/3	良	口縁部小片	
846	18007	陶器	蓋	G8	包含層	6.4	–	–	ロクロナデ	良	黄灰2.5Y4/1	白・黄・茶	良	6/12	二次焼成せず
847	17801	陶器	仏飯器	F9	包含層	5.6	–	–	施釉(施釉)	良	灰白5Y8/1	灰白2.5GY8/1・緑	良	杯部5/12	信楽か伊賀
848	17808	陶器	仏飯器	F11	包含層	–	–	5.2	糸切痕・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白7.5Y8/1	良	台部6/12	
849	17305	陶器	徳利	E11	包含層	2.0	–	–	ロクロナデ・施釉	良	灰白2.5Y8/1	褐7.5YR4/4	良	口～肩部7/12	美濃
850	17504	陶器	徳利?	F2	包含層	–	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	黒褐10YR3/2	良	小片	信楽か伊賀・墨書
851	17103	陶器	小壺	E8	包含層	2.0	–	–	ロクロナデ	良	灰白10YR8/2	–	良	口～肩部6/12	素焼
852	17806	陶器	円形加工品	F10	包含層	2.45×2.3	–	重さ4.7g	施釉・ズリ	良	灰白2.5Y8/2	黒2.5Y2/1	良	完存	瀬戸
853	17908	陶器	小杯	G3	包含層	4.6	3.4	2.8	ロクロナデ・糸切り・施釉(鉄釉)	良	灰白5Y8/1	黒褐10YR2/2	良	6/12	信楽か伊賀・楠形
854	16706	土製品	不明	A地区	包含層	(5.3×2.3)	–	重さ(7.4g)	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	–	
855	16707	土製品	不明	A地区	包含層	(2.3×1.4)	–	重さ(1.8g)	ナデ・オサエ	良	にぶい黄橙10YR7/3	–	良	–	
856	17503	陶器	急須	F2	包含層	6.0	–	–	ロクロナデ	良	灰白2.5Y8/2	–	良	口縁部2/12	伊賀
857	17104	陶器	壺	E8	包含層	3.2	–	–	赤漆・黒漆・金箔	良	黄灰2.5Y7/1	–	良	口～肩部3/12	近現代
858	18205	陶器	灰吹	G12	包含層	–	–	8.6	ロクロナデ・施釉	やや良	黄灰2.5Y6/1	灰白7.5Y8/1	良	底部4/12	信楽か伊賀・内面黒化
859	17306	陶器	鉢	E11	包含層	–	–	4.4	ケズリ・削り出し高台・施釉	やや良	浅黄橙10YR8/3	灰10Y6/1	良	底部6/12	近現代
860	18501	陶器	不明	H14	包含層	(4.8)×3.3	–	–	ナデ・オサエ	良	暗褐7.5YR3/3	–	良	小片	備前
861	17505	陶器	土瓶蓋	F2	包含層	9.2	2.8	5.2	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5GY8/1	良	8/12	信楽か伊賀
862	18801	陶器	土瓶	F9	カクラン	7.0	7.4	6.5	施釉(氷割文)	良	黄灰2.5Y6/1	灰白2.5GY8/1	良	ほぼ完存	外面底部煤付着 墨書
863	17602	陶器	香炉	F2	包含層	11.2	6.1	7.6	ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	2/12	信楽か伊賀
864	19104	陶器	香炉	A地区	表土掘削	–	–	7.2	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	にぶい橙7.5YR7/4	灰オリーブ7.5Y6/2	良	底部6/12	
865	17205	陶器	甕	E9	包含層	20.4	–	–	ロクロナデ・施釉	良	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい赤褐5YR4/3	良	口縁部2/12	
866	18001	陶器	甕	G3	包含層	15.6	–	–	施釉	良	灰白5Y7/1	暗褐7.5YR3/3	良	口縁部2/12	
867	19001	陶器	火鉢		表土	–	–	19.9	ロクロナデ・施釉・型押	やや不良	灰白5Y8/1	緑	良	底部4/12	
868	17606	陶器	練鉢	F3	包含層	19.0	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y8/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
869	17101	陶器	練鉢	E8	包含層	21.0	–	–	施釉(灰釉)	良	灰白5Y7/1	灰白7.5Y7/1	良	口縁部2/12	信楽か伊賀
870	17402	陶器	鉢	E13	包含層	16.0	–	–	施釉	良	灰白10YR8/2	浅黄橙10YR8/4	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
871	19101	陶器	擂鉢	A地区	表土掘削	–	–	13.2	ナデ・櫛目(7本)	やや不良	褐10YR4/4	–	良	底部3/12	信楽
872	19102	陶器	鉢	A地区	表土掘削	–	–	14.0	ロクロナデ・ロクロケズリ・施釉	良	灰白2.5Y8/2	灰白5Y7/2	良	底部6/12	信楽か伊賀
873	18104	陶器	擂鉢	G9	包含層	–	–	15.2	ロクロナデ・施釉	やや不良	にぶい黄橙10YR7/3	暗赤褐5YR3/2	良	底部2/12	信楽
874	18304	陶器	擂鉢	G12	包含層	–	–	–	ロクロナデ・櫛目(8本)	やや不良	にぶい褐7.5YR5/4	–	良	口縁部小片	信楽
875	18301	陶器	擂鉢	G13	包含層	37.6	–	–	施釉・櫛目(6本)	やや良	にぶい橙7.5YR7/3	黒褐5YR3/1	良	口縁部1/12	信楽
876	16806	陶器	擂鉢	E8	包含層	36.4	–	–	施釉(鉄釉)・櫛目(9本)	良	灰白10YR8/2	黒褐7.5YR3/2	良	口縁部1/12	信楽
877	17905	陶器	甕	G2	包含層	–	–	–	施釉(鉄釉)	良	灰白2.5Y8/1	褐7.5YR4/3	良	口縁部小片	
878	17601	陶器	甕	F2	包含層	–	–	–	ロクロナデ	良	灰褐5YR4/2		良	口縁部小片	信楽か伊賀
879	18401	陶器	甕	G12	包含層	–	–	15.6	ロクロナデ	不良	灰白5Y7/1	灰褐5YR4/2	良	底部2/12	信楽か伊賀・砂粒痕
880	18105	陶器	甕	G10	包含層	–	–	21.6	ナデ・オサエ	不良	橙5YR6/6	–	良	底部2/12	
881	17701	陶器	甕	F5	包含層	48.0	–	–	施釉	良	灰白5Y7/1	灰白5Y7/2 黒褐2.5Y3/2	良	口縁部1/12	信楽か伊賀
882	18907	磁器	小椀	F10	カクラン	7.3	3.2	2.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	5/12	肥前・丸形
883	19202	磁器	小椀	A地区	表土掘削	7.8	5.5	3.8	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・藍	良	2/12	肥前・筒丸形
884	17607	磁器	小椀	F3	包含層	8.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・紅	良	口縁部2/12	瀬戸美濃
885	19203	磁器	小椀	A地区	表土掘削	7.2	5.9	3.5	施釉	良	灰白N8/	透明釉・茶	良	完存	瀬戸美濃・近現代
886	18906	磁器	広東椀	F10	カクラン	9.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部3/12	肥前
887	19002	磁器	椀		表土	–	–	4.0	施釉	良	灰白7.5Y8/1	透明釉・藍	良	底部完存	肥前・重ね焼き痕
888	18106	磁器	小椀	G11	包含層	9.0	5.5	3.0	施釉	良	灰白5Y7/1	透明釉・藍	良	3/12	肥前・丸形
889	17206	磁器	小椀	E9	包含層	8.0	5.3	4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・緑・茶	良	4/12	瀬戸美濃・近現代
890	18102	磁器	皿	G9	包含層	–	–	4.4	ロクロナデ・削り出し高台・施釉	良	灰白5Y8/1	灰白N8/	良	底部1/12	肥前
891	18802	磁器	椀	F10	カクラン	–	–	4.1	施釉	良	灰白N7/	透明釉・藍	良	底部8/12	肥前
892	17506	磁器	中椀	F2	包含層	9.6	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	瀬戸美濃
893	19204	磁器	中椀	A地区	表土掘削	11.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	口縁部1/12	肥前・丸形
894	19105	磁器	小椀	A地区	表土掘削	8.0	5.4	3.4	施釉	良	灰白N7/	透明釉・緑・茶	良	8/12	瀬戸美濃・近現代
895	18904	磁器	小椀	F9	カクラン	6.9	5.4	3.3	施釉	良	灰白7.5Y8/1	透明釉・藍	良	11/12	肥前・半筒形
896	17303	磁器	椀	E9	包含層	11.2	6.1	3.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・黒・藍	良	4/12	瀬戸美濃・近現代
897	17003	磁器	中椀	A地区	包含層	11.6	–	–	施釉	良	灰白N7/	透明釉・藍	良	4/12	肥前・丸形・焼継痕
898	17002	磁器	広東椀	A地区	包含層	9.8	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	透明釉・藍	良	口縁部6/12	肥前・丸形
899	18107	磁器	中椀	G11	包含層	9.8	–	–	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・丸形
900	17507	磁器	広東椀	F2	包含層	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	肥前・丸形
901	19006	磁器	中椀		表土	11.3	5.8	4.3	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	5/12	肥前・丸形
902	17105	磁器	望料椀	E8	包含層	11.0	6.0	4.4	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	肥前・腰張形
903	18903	磁器	皿	F9	カクラン	11.9	4.0	4.6	施釉	良	灰白2.5Y8/1	透明釉・藍	良	4/12	肥前・浅丸形
904	17608	磁器	中椀	F3	包含層	10.8	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部2/12	瀬戸
905	18108	磁器	広東椀	G11	包含層	11.9	–	–	施釉	良	灰白7.5Y8/1	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・丸形
906	17202	磁器	中椀	E8	包含層	10.6	5.4	4.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	3/12	肥前・丸形
907	17201	磁器	望料椀	E8	包含層	10.4	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部3/12	肥前・半球形
908	16901	磁器	広東椀蓋	A地区	包含層	9.2	2.6	つまみ径5.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・淡青	良	9/12	肥前
909	18901	磁器	合子蓋	E9	カクラン溝	10.1	2.2	–	ケズリ・施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	2/12	瀬戸美濃
910	19003	磁器	広東椀		表土	–	–	5.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部4/12	肥前
911	18601	陶器	広東椀		№1(範)	–	–	5.4	施釉	良	灰白7.5Y8/1	透明釉・藍	良	底部9/12	肥前 重ね焼き痕
912	18905	磁器	広東椀	F9	カクラン	10.5	6.7	5.4	施釉	良	灰白10Y8/1	透明釉・藍	良	4/12	肥前
913	17001	磁器	小皿	A地区	包含層	12.2	3.3	7.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	底部3/12	肥前・丸形
914	18206	磁器	小皿	G12	包含層	9.8	2.9	5.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	輪花
915	17304	磁器	小皿	E9	包含層	12.4	3.0	8.0	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	1/12	瀬戸美濃
916	19004	磁器	小皿		表土	11.9	2.3	7.8	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	3/12	肥前・丸形
917	19302	磁器	五寸皿	A地区	表土掘削	15.8	3.1	9.6	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	4/12	肥前・輪花
918	17203	磁器	神酒徳利	E8	包含層	2.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口～肩部7/12	肥前
919	16801	磁器	小瓶	A地区	包含層	–	–	4.4	施釉	良	灰白5Y7/1	灰白5Y7/1	良	底部2/12	肥前
920	16711	磁器	鉢	A地区	包含層	–	–	–	施釉	良	灰白N8/	灰白5Y8/1	良	口縁部小片	肥前・多角形
921	17401	磁器	鉢	E11	包含層	16.0	–	–	施釉	良	灰白N8/	透明釉・藍	良	口縁部1/12	肥前・青磁
922	18902	磁器	鉢	E9	カクラン溝	17.7	–	–	施釉	良	灰白2.5Y8/1	透明釉・藍	良	口縁部1/12	美濃
923	19301	磁器	香炉	A地区	表土掘削	10.0	5.8	7.8	施釉	良	灰白5Y8/1	透明釉	良	5/12	瀬戸
924	19201	磁器	水滴	A地区	表土掘削	(7.4)×6.5×3.0	–	–	布目痕・ナデ・施釉	良	灰白N8/	透明釉	良	–	肥前

第 12 表　出土遺物観察表 (11)

第Ⅴ章　まとめ

1　古墳時代について

(1) 古墳について

今回の調査において大きな意義は、上野市市街地で円墳３基を確認したことである。それぞれの規模は、１号墳が直径 15 m（墳丘基底部からの計測値）、２号墳は、直径 13 m、３号墳は、直径６mである。上野市街地の台地上において古墳そのものの存在は、昭和 35 年に発掘調査のメスが入った伊予ノ丸古墳群が知られている。調査では、円筒埴輪列・鉄剣・鏡が出土しており、古墳が存在したと推測される。

そして、今回の調査地から西方約 700 mの伊予ノ丸古墳群に至るまでの範囲は、古墳が造営されていたと考えられる。また、それを裏付けるように上野城下町遺跡（第１～４次）[①]の発掘調査において円筒埴輪片が出土している点からも妥当な想定であろう。おそらく現在の市街地の台地には、５世紀後半から６世紀半ばにかけての群集墳が形成されていたと考えられる。

(2) ２重状の周溝について

今回、調査した１号墳及び２号墳の周溝の内側にもう一重周溝が巡らされていたことを確認した。しかしながら内側の周溝からは、土師器・須恵器などの古墳に伴うような遺物の出土はなく、同時期もしくは、外側の周溝掘削以前に掘削されていることが判断できる。従って古墳の周溝が埋没してからも古墳の墳丘を墳墓として認識し、ある時期に再度掘削された可能性は、ないと考えられる。このような周溝の類例としては、松阪市（旧嬉野町島田）所在の天保古墳群１号墳[②]がある。この古墳の周溝と同様に墳丘を築くさいに何らかの役割を果たしたか、造営における何らかの基準を示している可能性もあろう。

2　江戸時代について

(1) 出土遺物について

今回出土した遺物は、非常に数多くバラエティーに富んでいる。その内容は、陶磁器をはじめとして土器・土製品・石製品・銭貨・鉄製品に及ぶものである。

最初に陶器についてみておきたい。陶器は、伊賀信楽産の製品がほとんどである。一部において瀬戸・備前・万古の製品が含まれている。陶器は、遺跡の立地性を鑑みると内陸部であることと陶器の窯業生産地に近いことから伊賀信楽産の製品が多くを占める理由であろう。

また、陶器の急須（報告書番号以下略）（497）・土瓶（516）には、ひらがなで「いか」の刻印が底部に押されているものが含まれており、今後伊賀焼についての良好な研究資料である。

さらに、磁器は、肥前の製品が圧倒的多数を占める。しかし、貿易陶磁器（福建省産）のものが１点（551）含まれている。上野城下町遺跡のこの地点から出土したことに大きな意義があろう。

最後に、磁器は焼継痕跡を留めるものが多い。それらは、磁器の中でも良品のものが主体であり、磁器を大切に扱ってきた証である一方、磁器の流通が大きく影響していたと思われる。

(2) 屋敷地について

今回は、調査区内において建物を検出することは、できなかった。しかしながら、溝２条（ＳＤ 19・20）を確認することができた。これらは、南北方向に平行して掘削されていた。つまり城下町の屋敷地を細かく区画していた溝と考えられ、長細い区画がなされていたと思われる。

また、屋敷地の主は、遺物の時期が 18 世紀後半以降であること、調査地が城下町の絵図面から「農人（農民）」と記載されていることが判明している。しかしながら、遺物の多彩さからすると「農人」という身分が藤堂藩においてどのような立場であるのかを含めて今後の課題としたい。

[註]

① 三重県埋蔵文化財センター「上野城下町遺跡発掘調査報告－東ノ竪町筋（第１～４次）－」（三重県埋蔵文化財報告 273　2006 年）

② 三重県埋蔵文化財センター「天保古墳群」『近畿自動車道（久居～勢和）埋蔵文化財調査報告　第３分冊』（三重県埋蔵文化財調査報告 87-9　1991 年）

写　真　図　版

図版 1

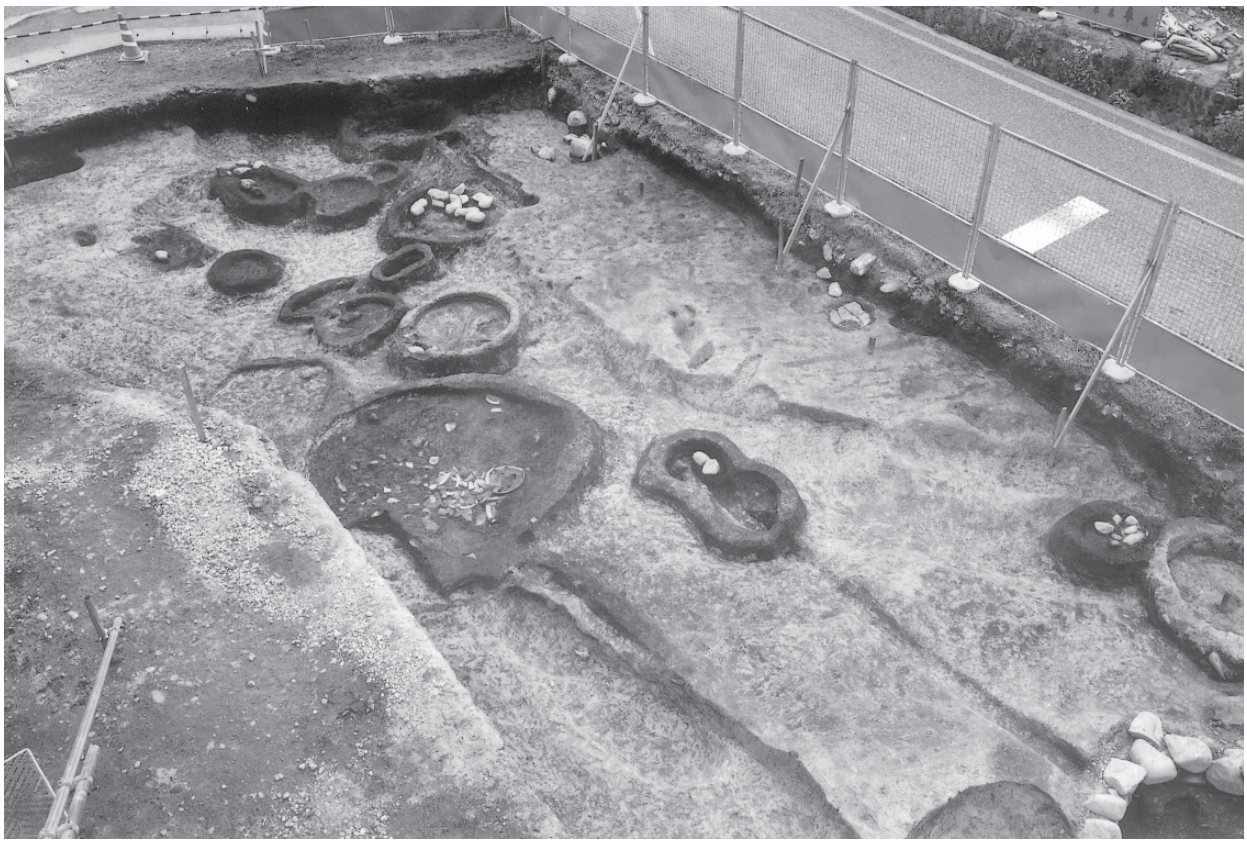
調査前風景（南から）

調査前風景（南西から）

図版２

調査区全景（北から）

調査区全景（南から）



1号墳全景（北東から）

２・３号墳全景（南東から）

図版4

SK11 遺物出土状況（東から）

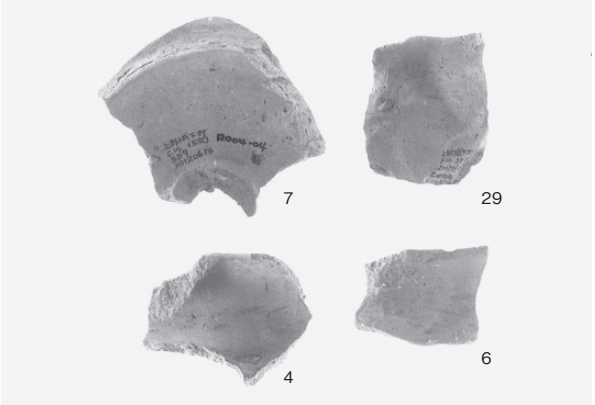
B 地区調査区全景（南西から）

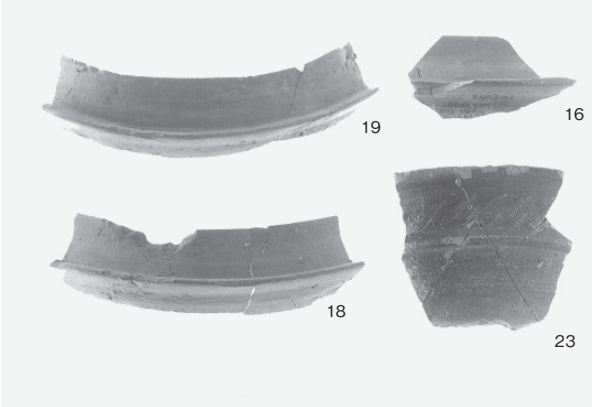
図版5

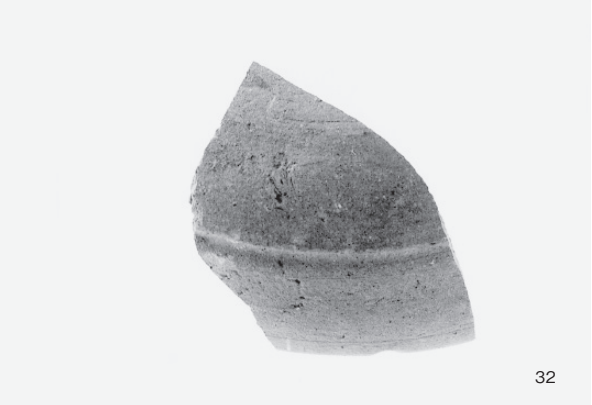
工事立会調査区全景（北から）

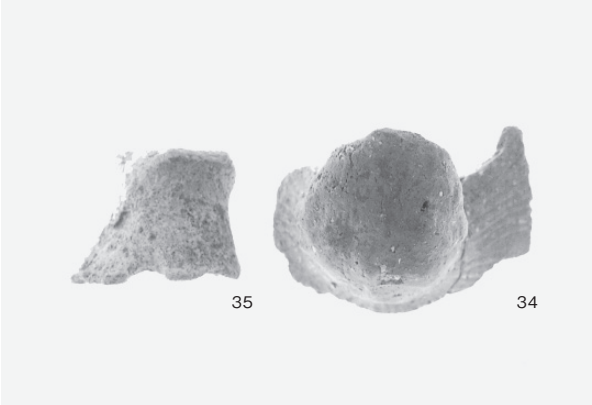
工事立会調査区全景（南から）

図版６ 出土遺物

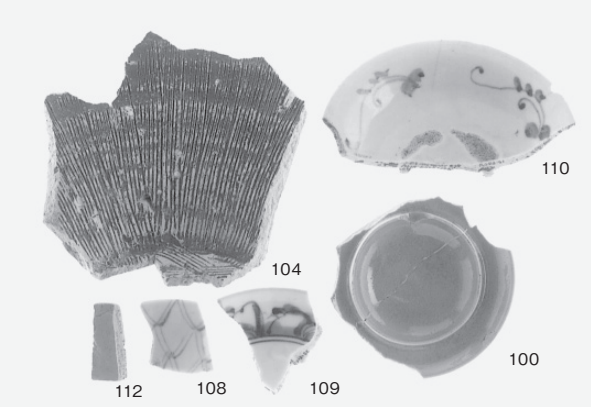


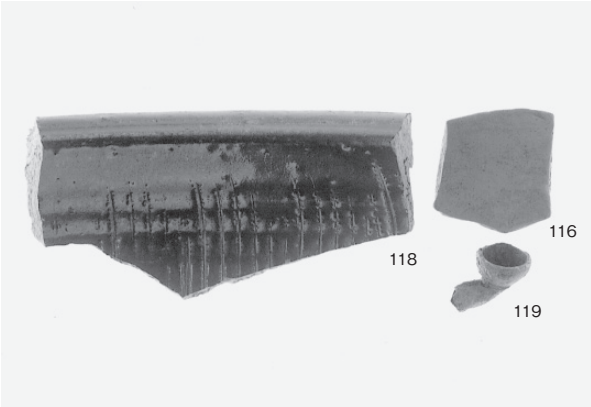




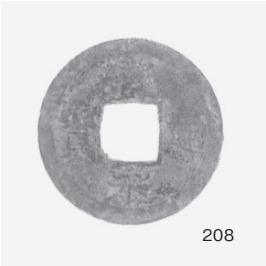


63

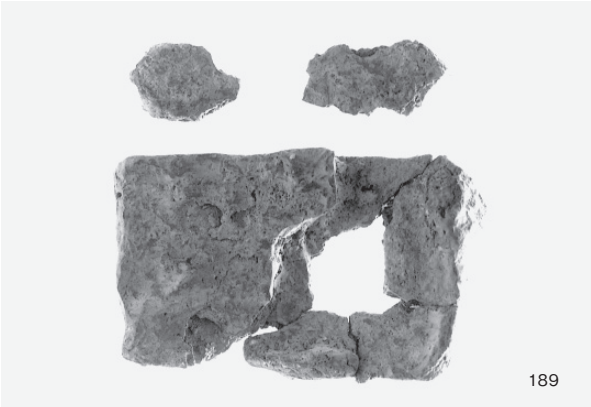

110
104
100
112
108
109

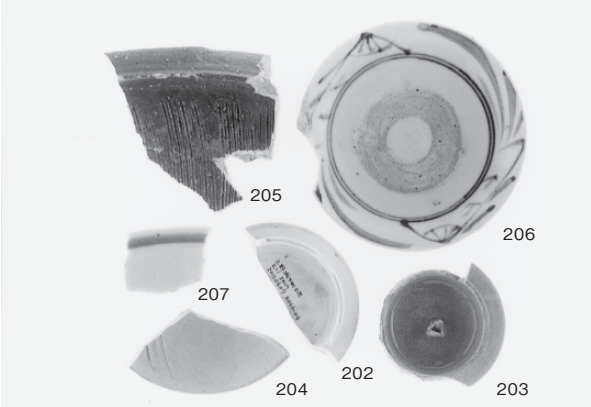

116
118
119

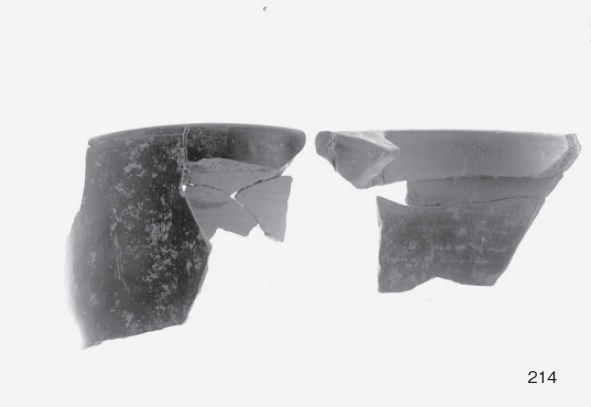
81


208

121


189


205
206
207
202
204
203


214

図版８ 出土遺物

220

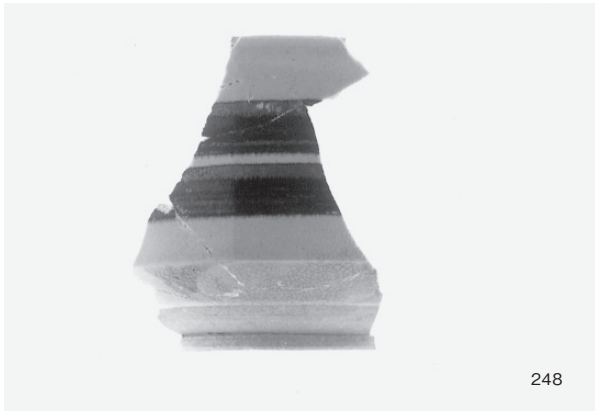
221

224

227

234

247


248

255

256

271

273

275

278

280

304

309

図版 10 出土遺物

312

313

314

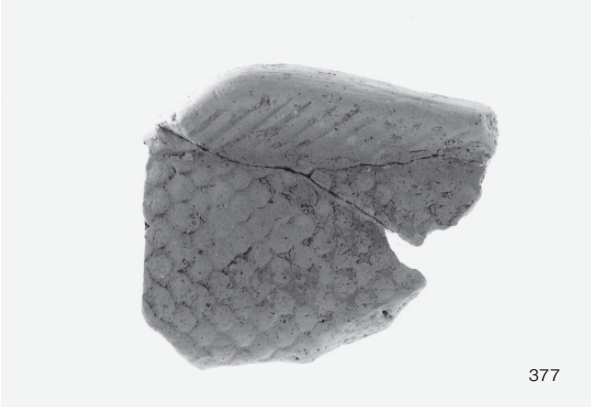
320

321

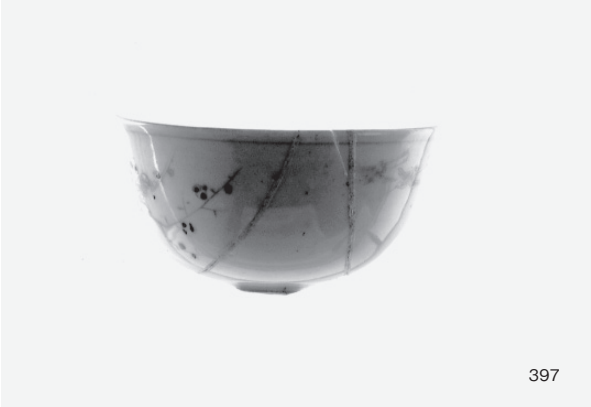
323

327

374


377

379


397

409

412

418

436

446

図版 12 出土遺物

358

359

467

450

465

466

468

473

475

476

479

483

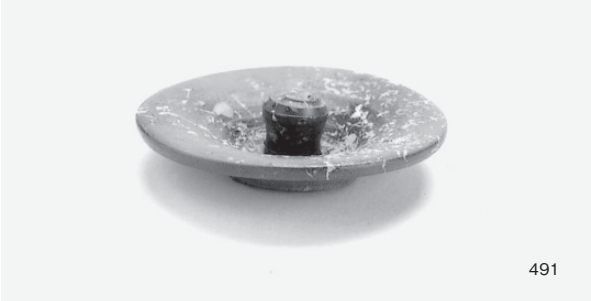
486

489

494

490

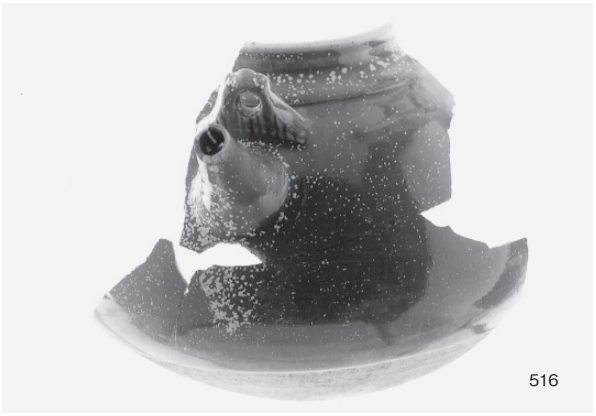
497

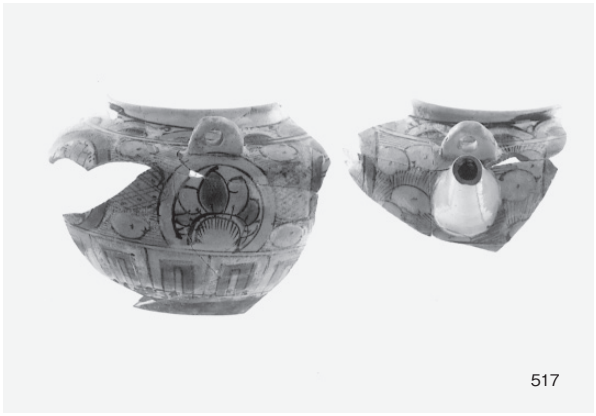

491

図版 14 出土遺物

505

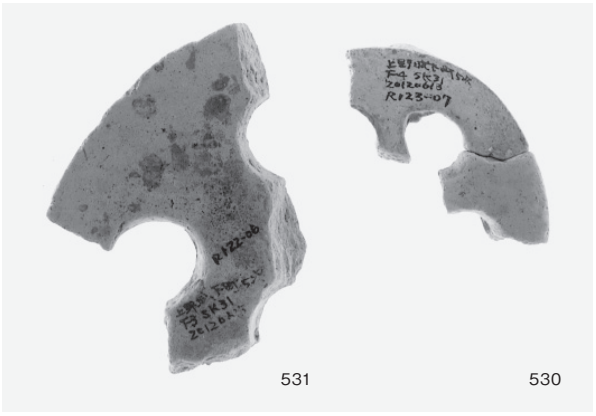
511


516


517

523

525


531 530

513

533

536

537

538

555

557

558

560

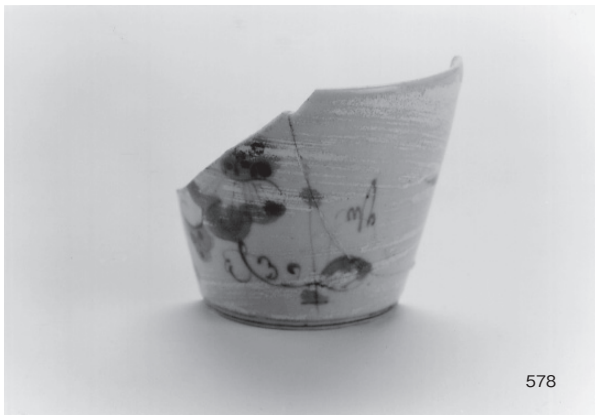
562

563

図版 16 出土遺物

567

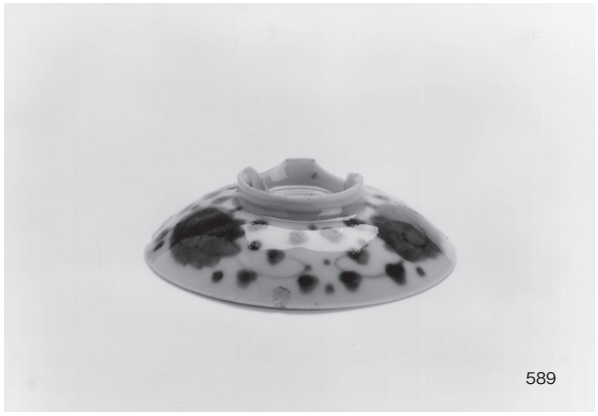
568


578

580

582

588


589

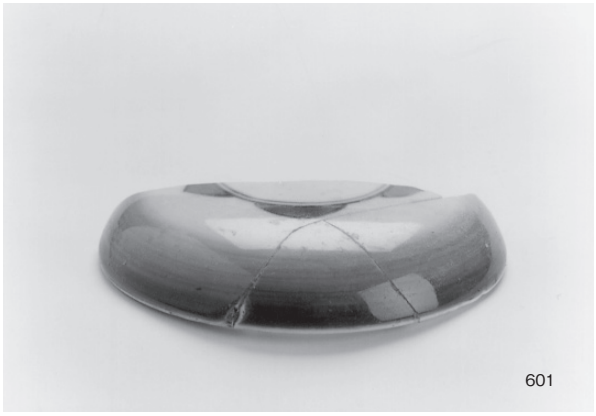
583

590

591

599

600


601

604

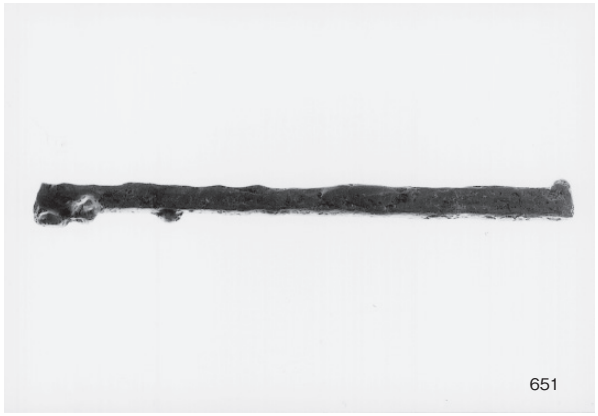
608

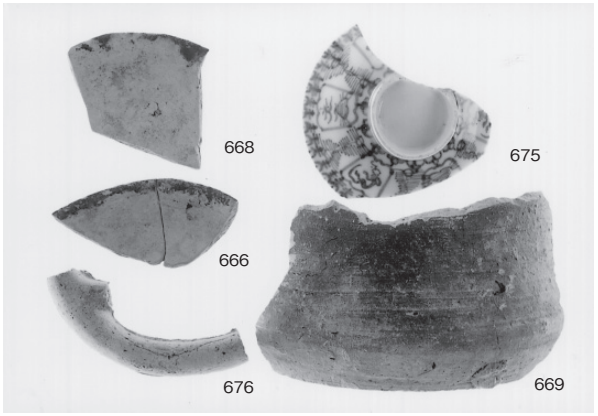
620

図版 18 出土遺物

633

645


651


668
675
666
676
669

677

678

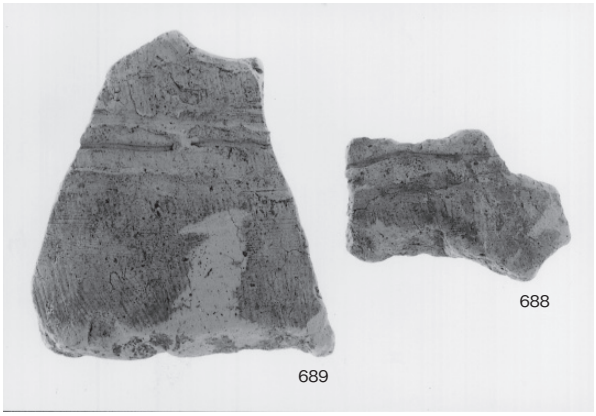
679

650

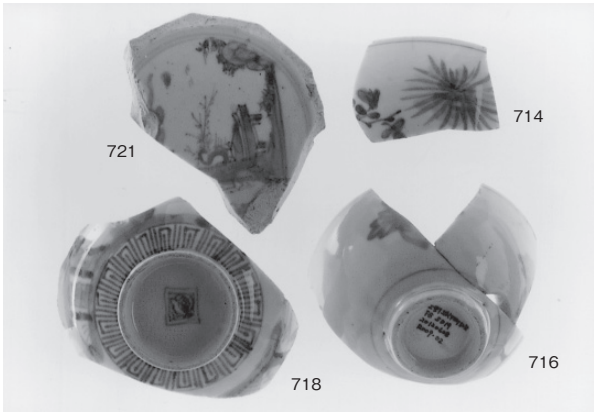
682

683

684


689

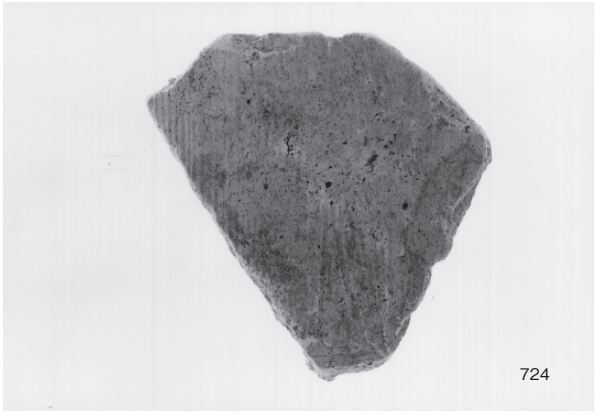
688


721

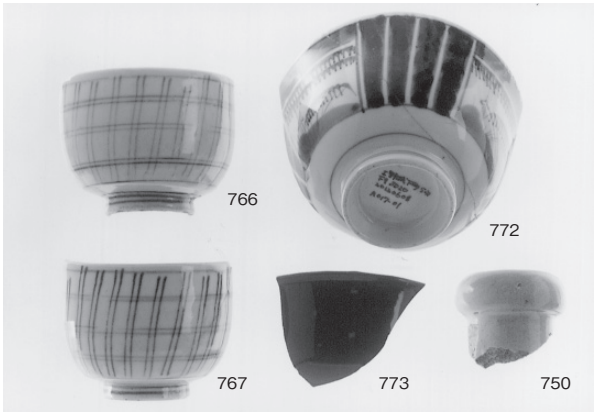
714

718

716


724

749

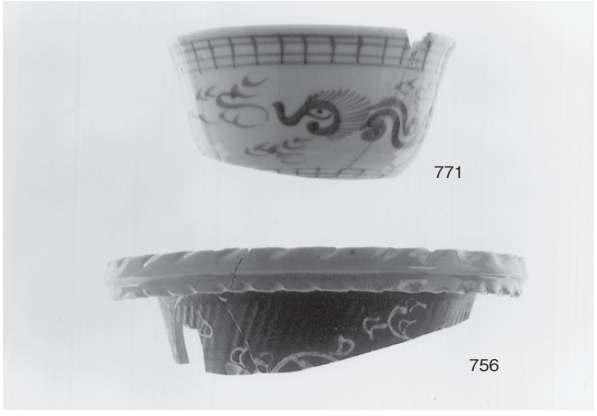

766

772

767

773

750


771

756

図版 20 出土遺物

778

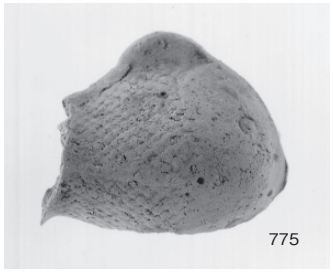
806

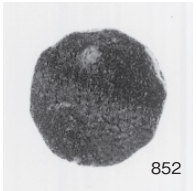
846

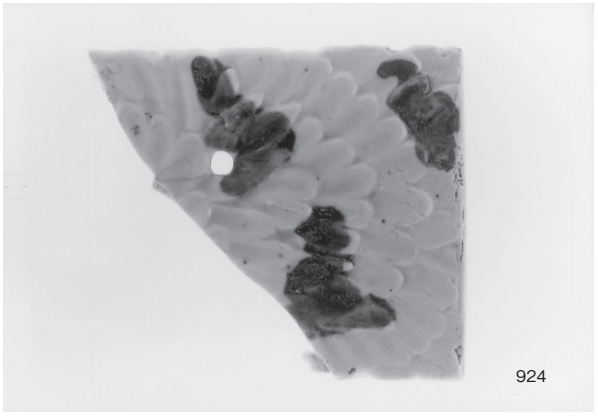
853

867

895


775


852


924

報　告　書　抄　録

ふりがな	うえのじょうかまちいせき（だい５じ）はっくつちょうさほうこく
書 名	上野城下町遺跡（第５次）発掘調査報告
副 書 名	伊賀市上野農人町所在
巻 次	
シリーズ名	
シリーズ番号	352
編 著 者 名	萩原義彦
編 集 機 関	三重県埋蔵文化財センター
所 在 地	〒515－0325　三重県多気郡明和町竹川５０３　　℡0596－52－1732
発行年月日	西暦2014年3月20日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
うえのじょうかまちいせき 上野城下町遺跡（第５次）	みえけんいがしうえのうにんちょう 三重県伊賀市上野農人町	24 216	a 1230	34° 46′ 08″	136° 08′ 13″	2012/5/23 ～ 2012/7/19 2013/5/21 ～ 2013/5/22	386㎡	（国）25号国補道路改築事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上野城下町遺跡（第５次）	城館跡	古墳時代 江戸時代	古墳・土坑・溝	須恵器・土師器・陶磁器・金属製品・土製品	コンテナバット50箱 （187.2kg）

要旨	上野城下町遺跡では、古墳時代後期の古墳３基、江戸時代後期の土坑・溝が確認された。こうした発掘調査の成果から上野市街地の台地上には古墳群が形成されていたことや江戸時代後期において城下町であったことが判明した。遺物は、須恵器をはじめ円筒埴輪などの古墳時代のものや江戸時代後期の土製品を含む陶磁器などが出土した。

三重県埋蔵文化財調査報告 352

上野城下町遺跡（第５次）発掘調査報告

～伊賀市上野農人町所在～

２０１４年３月

編集・発行　　三重県埋蔵文化財センター
印　刷　　㈲ミフジ印刷